

日野病院組合 日野病院

事業年報

(平成25年度)

平成 25 年度日野病院組合日野病院事業年報発刊によせて

病院長 櫃田 豊

平成 25 年は第 2 次安倍内閣によるアベノミクスがスタートし、円安株高のおかげで景気回復の兆しが見えてきた年でした。また、この年は豪雨と台風に見舞われた年であり、異常気象が日常的なものになりました。

日野病院は 9 月 12 日と 13 日に日本医療機能評価機構による 2 回目の病院機能評価を受審し、12 月 6 日付けで同機構による認定病院の更新が認められました。平成 19 年の初回の審査と同様、留保されることのない一発合格でした。多くの評価項目のうち 6 割以上は A（適切に行われている）との判定をいただきました。特に「褥創の予防・治療」と「必要な患者に在宅などで継続した診療・ケアを実施」の 2 項目については S（秀でている）と判定されました。従来より私どもが中山間地の中核病院には必須と考え力を入れてきたこれらの機能が高く評価されたことは快挙であり、大きな喜びを覚えました。

11 月 1 日には新しい MRI 装置が本稼動しました。旧装置に較べて質の高い鮮明な画像が得られるようになったことは勿論、検査時間が大幅に短縮されました。また、可動式の撮像テーブルにより患者さんの安全、迅速な移動が可能となりました。

MRI 装置を更新するか否かについては、長い間様々な議論が重ねられてきました。そのなかで、日野病院に設置されることで得られる利便性や救急医療への貢献などの利点が評価され、最終的には日野病院組合議会で更新を認めていただきました。多大なご支援を賜りました構成 3 町に対して、心よりお礼申し上げます。

本年度の日野病院職員表彰は佐々木健二医療技術局長が受賞されました。佐々木局長は診療放射線技師として長年日野病院の放射線業務に従事されています。また、鳥取県診療放射線技師会の役員として、当会の様々な事業において指導的な役割を果たされています。さらに、鳥取大学医学部が企画した研究である「衛生利用在宅医療（モバイル・ホスピタル）の実証実験」や「衛星と地上通信融合によるデジタルデバインド解消実験」の有力なメンバーであり、重要な実験を遂行されました。佐々木局長のこれまでの業績に心より敬意を表するとともに、今後のさらなる発展を望みます。

日野病院の基本理念

平成8年3月策定

- 1 地域住民のニーズにあった良質な医療、保健、福祉のサービスを行い、山間地中核病院として信頼される病院を目指す。**
- 2 自治体病院の職員としての自覚と使命感をもって、より良い患者サービスに努める。**

目 次

巻 頭 言		1
1、概要		5
主な出来事		6
組織図	日野病院組合組織図	9
	日野病院組織図	10
施設の状況	施設規模等・主な医療機器	12
	施設基準	13
日野病院組合議会開催状況		15
職員の状況	部署別職員数	19
	年度別職員数推移	20
	職員表彰	
経営状況（平成25年度日野病院組合事業会計決算）		
	事業別内訳	22
	概略	23
	1年の歩みと今後のあり方	34
	主な事業	35
施設・設備等整備状況		36
委員会活動状況	日野病院委員会（ワーキング）構成表	39
	各委員会開催状況	40
	院内研修会開催状況	69
2、統計		71
患者統計	患者数統計（外来・入院）	72

入院患者疾病統計	疾病別（大分類）・診療科別統計	76
	疾病別・診療科・男女別統計	77
	疾病別・年令階層別・男女別統計	88
	疾病別・在院期間別・男女別統計	96
	上位疾病別統計	104
部門別統計	手術件数・内視鏡検査・超音波診断検査 薬局状況・人工透析状況・放射線室状況 検診実施状況	106
	栄養管理室状況・検査室状況・理学療法状況 作業療法状況・言語聴覚療法状況 訪問看護状況・訪問リハビリ状況 居宅支援(介護・予防)状況 メディカルソーシャルワーカー活動状況	107 108
3、業績		109
誌上発表		110
学会等発表（出席）		115
4、新聞記事		118
ご近所のお医者さん（櫃田 豊 病院長）		119
ご近所のお医者さん（玉井 嗣彦 名誉病院長）		127
その他新聞記事		136
5、広報誌 せせらぎ		139
日野病院組合だよりせせらぎ 第 47 号（平成 25 年 5 月発行）		140
日野病院組合だよりせせらぎ 第 48 号（平成 25 年 9 月発行）		150
日野病院組合だよりせせらぎ 第 49 号（平成 26 年 1 月発行）		161
編集後記		170

1、概 要

主な出来事

平成 25 年

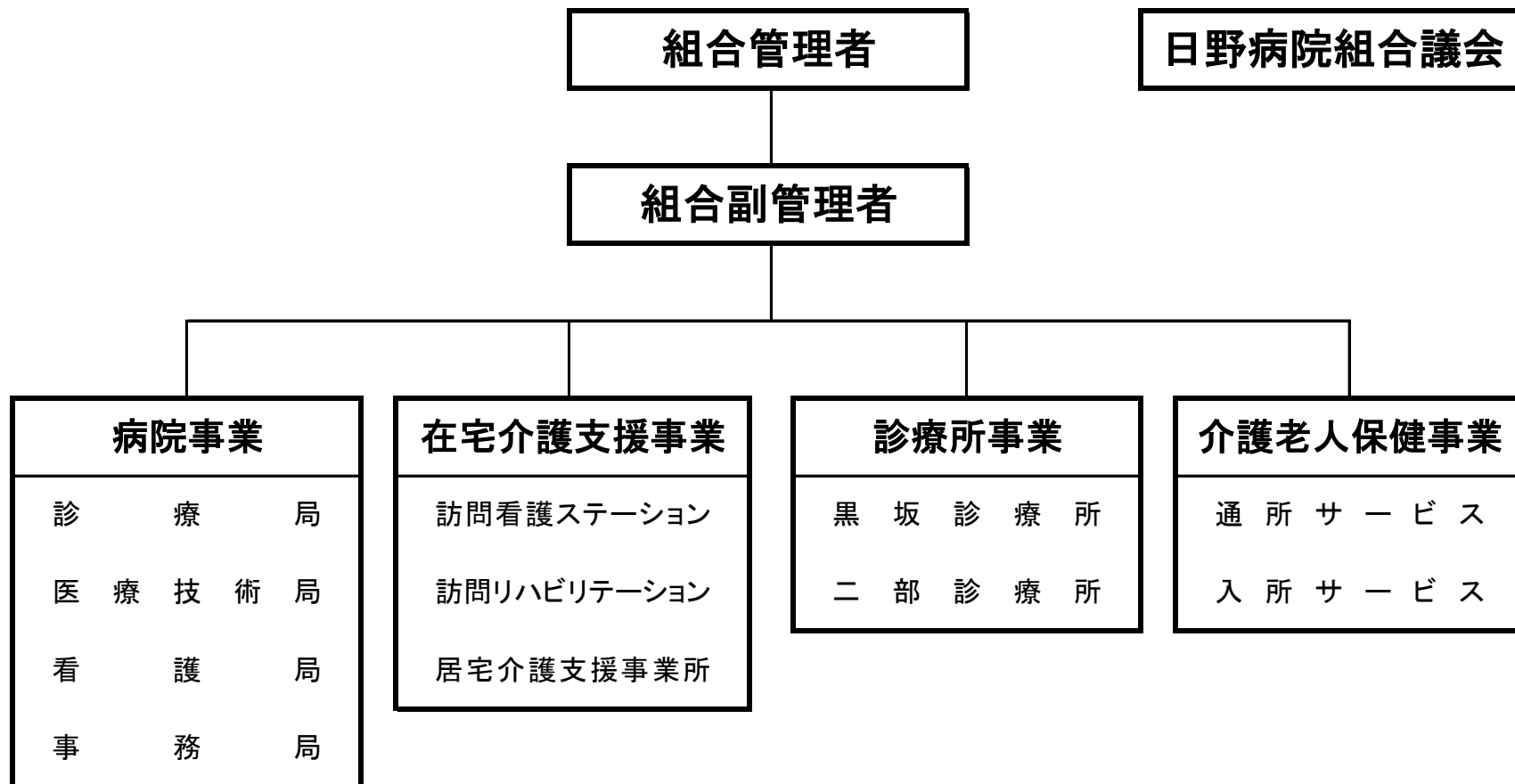
- 4 月 1 日 新規採用職員オリエンテーション
- 4 月 15 日 総合診療内科の新設
- 5 月 10 日 看護の日イベント（記念植樹）
- 8 月 2 日 夕涼みイベント
- 8 月 30 日 平成 24 年度日野病院組合事業会計決算認定
病院 3 事業：収益的収支で 38,560 千円の黒字、資金収支で
7,785 千円の黒字
介護老人保健事業：収益的収支で 5,176 円の黒字、資金収支で
5,176 千円の黒字
- 9 月 12、13 日
日本医療機能評価機構による病院機能評価訪問審査（2 回目）
- 10 月 5 日 日野病院災害対策訓練
- 11 月 1 日 1.5 テスラ MRI（Optimal MR 360 1.5T システム、GE）の新規導入
- 12 月 6 日 日本医療機能評価機構による認定病院に合格（2 回目）
- 12 月 20 日 クリスマスイベント
- 12 月 27 日 仕事納め

平成 26 年

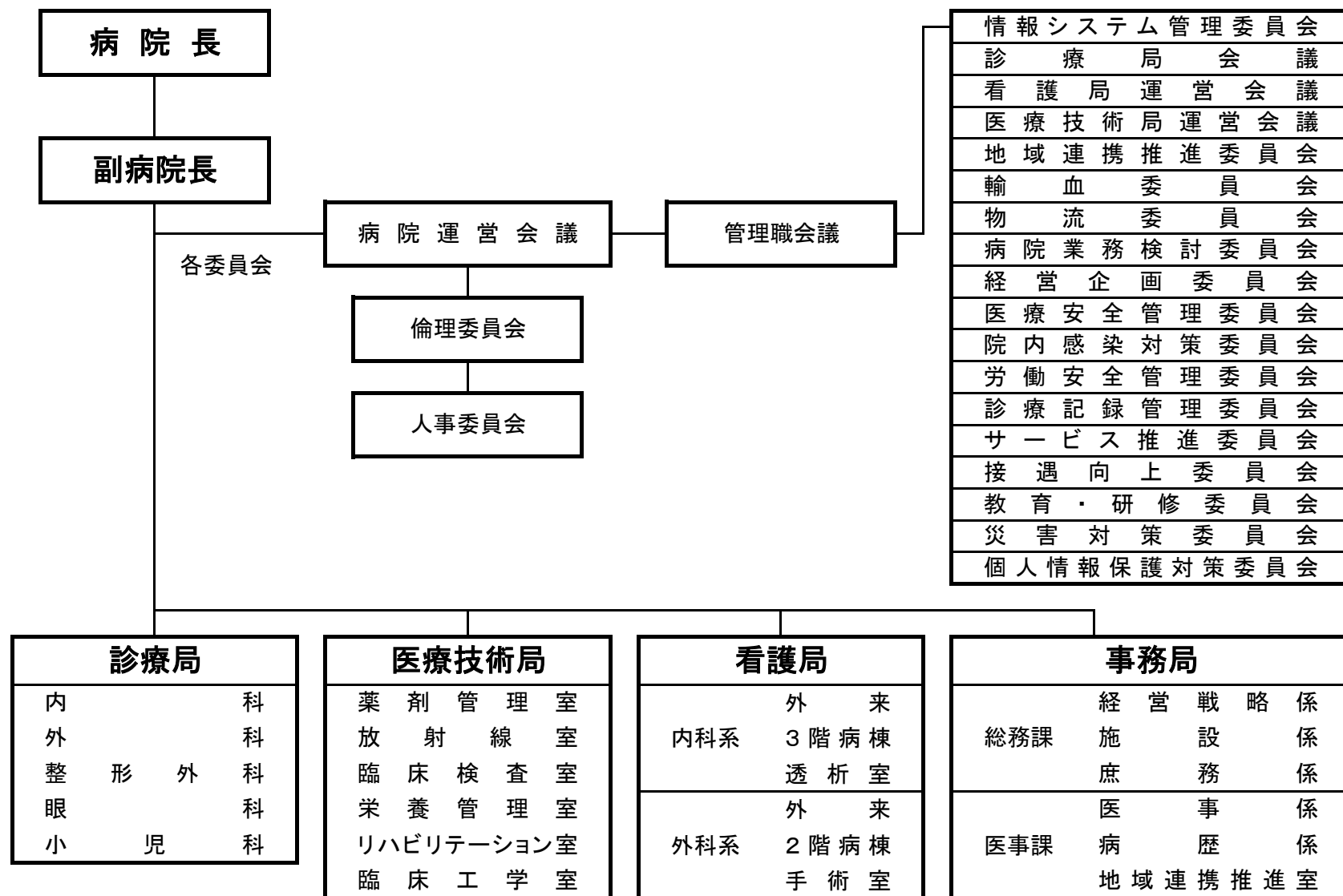
- 1 月 6 日 仕事始め
- 2 月 4 日 景山享弘日野町長が管理者に再任
- 3 月 27 日 佐々木健二医療技術局長が日野病院職員表彰を受賞

組織図

日野病院組合組織図(平成26年3月現在)



日野病院組織図(平成26年3月現在)



施設の状況

施設規模等

- (1) 病 床 数 99床 (一般 74床・亜急性期 25床)
(2) 病 室 数 51部屋 (1人部屋35、4人部屋16)
(3) 敷 地 面 積 11,045.27㎡
(4) 延べ床面積 8,247.16㎡
(5) 建 設 費 31億1,209万9千円

＜主な内訳＞	建築費	23億6,250万円
	用地費及び補償費	1億8,254万7千円
	医療機器及び備品購入費	4億2,195万6千円
＜財源内訳＞	補助金	5億2,791万1千円
	病院事業債	25億6,610万円
	一般財源	1,808万8千円

主な医療機器

気管支ファイバースコープ	十二指腸ファイバースコープ
大腸ファイバースコープ	画像診断用超音波装置
MR I 装置 (1.5テスラ)	レーザーメス
長時間心電図分析装置	生化学自動分析装置
血液ガス測定装置	脳波計
人工腎臓装置	人工呼吸器
マンモグラフィー装置	手術用顕微鏡
上部消化管ファイバースコープ	骨塩定量測定装置
ヘリカルCT装置 (16列)	光凝固装置

施設基準

一般病棟入院基本料 10：1（99床）
薬剤管理指導料
麻酔管理料
ペースメーカー移植術・ペースメーカー交換術（電池交換を含む）
検体検査管理加算（Ⅰ）（Ⅱ）
入院時食事療養費（Ⅰ）
一般病棟療養環境加算
呼吸器リハビリテーション科（Ⅰ）
運動器リハビリテーション科（Ⅰ）
脳血管疾患等リハビリテーション科（Ⅱ）
医師事務作業補助体制加算
一般病棟看護必要度加算
急性期看護補助体制加算
小児科外来診療科
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
診療録管理体制加算
無菌製剤処理加算
重症者等療養環境特別加算
救急医療管理加算・乳幼児救急医療管理加算
医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6に掲げる手術
地域連携診療計画退院時指導料（1）
ニコチン依存症管理料
亜急性期入院医療管理料（25床）
在宅療養支援病院
在宅時医学総合管理料及び特定施設入居時等医学管理料
在宅末期医療総合診療料
外来化学療法加算 2
感染防止対策加算 2
夜間休日救急搬送医学管理料
救急搬送患者地域連携紹介加算

救急搬送患者地域連携受入加算

がん性疼痛緩和指導管理料

時間内歩行試験

CT 撮影及び MR 撮影（16 列以上のマルチスライス CT）

（指定等） 生活保護法指定医療機関

救急告示病院

結核予防法指定医療機関

労災保険指定医療機関

原爆被爆者一般疾病医療機関

病院群輪番制病院

身体障害者福祉法指定医療機関

へき地医療拠点病院

初期被ばく医療機関

日野病院組合議会開催状況

平成25年度日野病院組合議会開催状況

会議名	開催年月日	議案	内 容
臨時会	H25.7.25	第 9号 第10号	専決処分の承認を求めることについて (日野病院組合職員の退職手当に関する条例の一部改正について) 日野病院組合監査委員の選任について 議案以外の協議・報告事項 ・MRI購入について ・整形外科休診について(8月・9月毎週水曜日)
定例会	H25.8.30	第11号 第12号	平成24年度日野病院組合事業会計決算の認定について 平成25年度日野病院組合病院事業会計補正予算(第1号) 議案以外の協議・報告事項 ・平成24年度以降の決算にかかる病院事業等の累積剰余金の処分方法について ・退職給与引当金の実施及び長期見込み、負担金の考え方について(あやめ)
定例会	H25.11.22	第13号 第14号	日野病院組合の休日を定める条例の一部改正について 平成25年度日野病院組合病院事業会計補正予算(第2号) 議案以外の協議・報告事項 ・直近の経営状況について ・日野病院夜間施設について(12月～) ・介護老人保健施設あやめの指定管理の申請について
定例会	H26.2.27	第 1号 第 2号 第 3号 第 4号 第 5号 第 6号 第 7号 第 8号	専決処分の承認を求めることについて (日野病院組合職員の給与に関する条例の一部改正について) 日野病院組合行政財産の使用料に関する条例等の一部改正について (消費税率改正関係) ・日野病院組合行政財産の使用料に関する条例 ・日野病院使用料及び手数料条例 ・日野病院組合介護老人保健施設使用料及び手数料条例 日野病院組合職員の給与に関する条例の一部改正について 日野病院組合訪問看護ステーションの設置及び管理運営に関する条例の一部改正について 平成25年度日野病院組合病院事業会計補正予算(第3号) 平成25年度日野病院組合在宅介護支援事業会計補正予算(第1号) 平成25年度日野病院組合診療所事業会計補正予算(第1号) 平成25年度日野病院組合介護老人保健施設事業会計補正予算(第1号)

	第 9号	平成26年度日野病院組合病院事業会計予算
	第10号	平成26年度日野病院組合在宅介護支援事業会計予算
	第11号	平成26年度日野病院組合診療所事業会計予算
	第12号	平成26年度日野病院組合介護老人保健施設事業会計予算
		議案以外の協議・報告事項 ・平成25年度日野病院組合病院事業等の決算見込みについて ・平成25年度日野病院組合介護老人保健施設事業の決算見込みについて ・地方公営企業法改正による平成26年度当初予算への影響について ・平成26年度日野病院組合病院事業等の概況について ・日野病院組合職員の異動及び採用について

職員の状況

部署別職員数（平成26年3月31日現在）

（１） 病院事業

- ・診療局 常勤医師8名（うち嘱託医師1名）
（内科4名、小児科1名、外科1名、整形外科1名、眼科1名）

- ・看護局 76名 (人)

区 分	看 護 師			准看護師			看護助手			合 計			ク ラ ク
	正 職	嘱 託	臨 時	正 職	嘱 託	臨 時	正 職	嘱 託	臨 時	正 職	嘱 託	臨 時	
看護局長	1									1			
外 来	3	2			2					3	4		2
2階病棟	16			3	4		1	4		20	8		1
3階病棟	17	1		4	2		1	6		22	9		1
手 術 室	1			2			1			4			
透 析 室	1									1			
合 計	39	3		9	8		3	10		51	21		4

- ・医療技術局 25名
臨床検査室 3名（臨床検査技師 3名）
薬剤管理室 4名（薬剤師 3名、嘱託事務 1名）
放射線室 3名（診療放射線技師 2名、診療エックス線技師 1名）
リハビリテーション室 11名
（理学療法士 6名、作業療法士 1名、言語聴覚士 2名（うち在宅
介護支援事業所兼務 2名）、マッサージ師 1名、看護助手 1名）
栄養管理室 3名（管理栄養士 3名（うち嘱託職員 1名））
臨床工学室 1名（臨床工学技士 1名）

- ・事務局 14名
事務局長 1名
総 務 課 6名（うち嘱託職員 1名）
医 事 課 7名（うち嘱託職員 3名）

（２） 在宅介護支援事業所

- ・所長 1名（病院と兼務）
- ・看護師 5名（病院と兼務 1名）（介護支援専門員と兼務 1名）
- ・理学療法士 2名
- ・作業療法士 1名

- ・言語聴覚士 2 名（病院と兼務）
- ・介護支援専門員 4 名（看護師と兼務 1 名）
- ・事務職員 1 名（嘱託職員）

（３）診療所事業

- ・医師 1 名（病院と兼務）
- ・看護師 1 名（病院と兼務）
- ・事務職員 1 名（病院と兼務）

年度別職員数推移（平成 2 6 年 3 月 3 1 日現在）

病院事業

（人）

区 分		20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
診療局		8	8	8	9	8	8
看護局		67	74	74	77	76	76
医療技術局	薬剤	4	4	4	4	4	4
	栄養	2	2	2	2	3	3
	検査	3	3	3	3	3	3
	放射線	3	2	3	3	3	3
	リハビリ	12	13	13	14	14	11
	臨床工学						1
事務局		19	19	18	17	16	14
合 計		118	125	125	129	127	123

在宅介護支援事業所

（人）

区 分	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
医師（病院と兼務）	1	1	1	0	1	1
看護職（病院と兼務含）	5	5	5	4	4	4
リハビリ（病院と兼務含）	2	4	4	5	5	3
事務職	2	4	4	4	4	4
合 計	10	14	14	13	14	12

職員の表彰（平成 2 5 年度中）

受賞年月日	職 員 名	職 名	表 彰 名
平成 25 年 11 月 30 日	佐々木 健二	医療技術局長	鳥取県知事表彰
平成 26 年 3 月 27 日	佐々木 健二	医療技術局長	日野病院職員表彰

経営状況

平成25年度日野病院組合決算(事業別内訳)

〈収益的収支〉

(単位:千円)

区 分		病院事業(イ)	在宅介護支援事業(ロ)	診療所			(イ)+(ロ)+(ハ)	24年度	増減
				計(ハ)	黒坂	二部			
医業収益	入院収益	761,575		0			761,575	755,900	5,675
	外来収益	327,934		3,025	2,679	346	330,959	332,543	△ 1,584
	室料差額収益	24,068		0			24,068	24,878	△ 810
	保健予防活動収益	22,148		284	270	14	22,432	23,754	△ 1,322
	その他医業収益	14,777		0			14,777	17,805	△ 3,028
	事業間負担金	16,497		0			16,497	16,089	408
計		1,166,999		3,309	2,949	360	1,170,308	1,170,969	△ 661
介護サービス収益	介護サービス収益		57,758	0			57,758	56,579	1,179
	事業間負担金			0			0	0	0
	計	0	57,758	0			57,758	56,579	1,179
医業外収益	預金利息	472		0			472	519	△ 47
	国県等補助金	37,770		0			37,770	38,083	△ 313
	負担金交付金	297,058	14,600	14,378	7,292	7,086	326,036	344,922	△ 18,886
	負担金交付金(本部費)	454		0			454	421	33
	その他医業外収益	5,852	0	0			5,852	6,411	△ 559
	計	341,606	14,600	14,378	7,292	7,086	370,584	390,356	△ 19,772
収益合計		1,508,605	72,358	17,687	10,241	7,446	1,598,650	1,617,904	△ 19,254
医業費用	給与費	819,528	50,800	0			870,328	868,956	1,372
	退職給与引当金(通常)	54,627		0			54,627	56,607	△ 1,980
	退職給与引当金(追加分)			0			0	50,000	△ 50,000
	材料費	239,726	18	116	89	27	239,860	218,570	21,290
	経費	89,517	2,318	763	539	224	92,598	91,180	1,418
	委託費	116,450	246	15	14	1	116,711	123,093	△ 6,382
	減価償却費(A)	117,643	423	470	178	292	118,536	111,966	6,570
	資産減耗費			0			0	0	0
	資産減耗費(現金を伴わない)(B)	4,947	15	0			4,962	736	4,226
	研究研修費	5,190	256	0			5,446	5,513	△ 67
	本部費	454		0			454	421	33
	事業間負担金	0	7,315	9,182	6,182	3,000	16,497	16,089	408
	計	1,448,082	61,391	10,546	7,002	3,544	1,520,019	1,543,131	△ 23,112
医業外費用	企業債償還金(利子)・支払利息	32,278		0			32,278	34,018	△ 1,740
	その他医業外費用	2,855		0			2,855	2,195	660
	その他医業外費用(不納欠損分)	1,192		0			1,192	0	1,192
	事業間負担金(調整分)			0			0	0	0
	計	36,325	0	0	0	0	36,325	36,213	112
予備費	予備費			0			0	0	0
費用合計		1,484,407	61,391	10,546	7,002	3,544	1,556,344	1,579,344	△ 23,000
収益的収支(決算額)		24,198	10,967	7,141	3,239	3,902	42,306	38,560	3,746
年度末累積剰余金・累積欠損金		△ 78,926	76,020	75,781			72,875	30,569	42,306

〈資本的収支〉

区 分		病院事業(イ)	在宅介護支援事業(ロ)	診療所			(イ)+(ロ)+(ハ)	24年度	増減
				計(ハ)	黒坂	二部			
企業債	企業債	65,200		0			65,200	98,300	△ 33,100
負担金	負担金	32,400		0			32,400	0	32,400
補助金	補助金	67,960		0			67,960	29,256	38,704
固定資産売却代金	固定資産売却代金			0			0	0	0
借入金	借入金			0			0	0	0
貸付金償還	貸付金償還	966		0			966	666	300
資本的収入計		166,526	0	0	0	0	166,526	128,222	38,304
建設改良費	固定資産購入費	165,768		0			165,768	127,826	37,942
企業債償還金	企業債償還金(元金)	167,962		0			167,962	142,673	25,289
貸付金	奨学金貸付金	2,200		0			2,200	1,200	1,000
借入金償還	借入金償還			0			0	0	0
資本的支出計		335,930	0	0	0	0	335,930	271,699	64,231
資本的収支		△ 169,404	0	0	0	0	△ 169,404	△ 143,477	△ 25,927

(単年度資金収支)

現金を伴わない費用(A)+(B)		122,590	438	470	178	292	123,498	112,702	10,796
単年度資金収支		△ 22,616	11,405	7,611	3,417	4,194	△ 3,600	7,785	△ 11,385

資金不足負担金発生までの額	現金預金等残高(引当金除)(A)	年度末流動負債残高(B)		資金不足負担金発生までの額((A)-(B))	
	577,842	80,314		497,528	501,614

退職給与引当金残高	前年度引当金残高	退職給与引当金	退職給与金	引当金残高
	250,403	54,627	4人 68,470	236,560

平成 2 5 年度日野病院組合事業会計決算について (概 略)



1. 医業収支について

平成25年度の決算の中から、収入については構成町からの負担金・補助金等、支出については起債償還額等を除いた医業収支については…

医業収支…診療報酬等を収入とし、医業にかかる給与費・経費等を支出とした収支

(平成19年度から実施している退職給与引当ては、本来は給与費として医業収支に含めるべきものであるが、前年度との比較や他病院との比較を分かりやすくするため、この表においては除外している。)

収益について、外来収益は、一人あたりの単価は増加したが患者数が減少したため減収となった。また、入院患者数は微増となり入院収益は増加した。

在宅事業の介護サービス収益は訪問リハビリの増により増加したが、診療所事業は患者数の減少により減収となった。全体では110千円の増収となった。

費用について、委託費が減少したものの、給与費、材料費及び経費が増加したため、全体で17,664千円の増となった。

以上から、平成24年度と比較し17,554千円の収支の減となった。

(医業収入)

病院事業について、外来収益は、一人あたりの診療単価が8,669円となり173円増加したが、患者数が37,829人で、平成24年度と比較し784人の減となったため、収益は105千円の減収となった。

入院収益は、患者数が25,689人で、平成24年度と比較し21人増加した。一人あたりの診療単価も29,646円で、平成24年度と比較して197円増加したため、5,675千円の増収となった。

在宅介護支援事業については、訪問看護利用者が277人の減となったが、訪問リハビリ利用者が478人増加したため、全体で1,179千円の増収となった。

診療所事業については、患者数が黒坂診療所が256人の減少、二部診療所が17人の減少となったため、1,479千円の減収となった。

その他の医業収益については、室料差額810千円の減収、保健予防活動収益1,322千円の減収、その他医業収益3,028千円の減収となった。

(医業費用)

職員給与費については、非常勤医師の増加により1,372千円の増、材料費が21,290千円の増、経費が1,418千円の増となったが、委託費は6,382千円の減となった。

平成25年度決算 医業収支(介護・診療所含)年度比較表

(収益)

(単位:千円)

内訳		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	差引	備 考
外 来 収 益	病 院	304,773	320,706	309,136	315,063	315,215	308,719	328,039	327,934	△ 105	年間外来患者数 37, 829人(1人あたり 8, 669円)
	在 宅	44,512	35,935	35,698	47,758	49,602	51,221	56,579	57,758	1,179	訪問看護17, 088千円・訪問リハビリ25, 786千円・居宅介護等14, 884千円
	診 療 所	4,879	5,400	8,575	6,062	5,276	4,685	4,504	3,025	△ 1,479	黒坂(2, 679千円)・二部(346千円)
入院収益		775,986	788,250	769,926	843,754	784,437	795,516	755,900	761,575	5,675	年間入院患者数 25, 689人(1人あたり29, 646円)
室料差額		30,840	30,055	27,028	27,847	25,313	25,643	24,878	24,068	△ 810	稼働率(特別室 22. 2%・個室A 54. 2%・個室B 74. 8%)
保健予防		24,406	25,559	23,782	30,900	24,545	23,926	23,754	22,432	△ 1,322	ドック・各種検診
そ の 他		12,820	12,952	16,743	17,163	18,283	18,269	17,805	14,777	△ 3,028	文書料等
計(A)		1,198,216	1,218,857	1,190,888	1,288,547	1,222,671	1,227,979	1,211,459	1,211,569	110	

(費用)

(単位:千円)

内訳	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	差引	備 考
給 与 費	756,266	748,930	765,375	814,170	838,471	845,625	868,956	870,328	1,372	給与(331,076千円)・手当(214,712千円)・賃金(201,420千円)・法定福利費(123,120千円)
退職給与金等	142,922	91,974	87,955	123,765	102,250	55,900	106,607	54,627	△ 51,980	通常分 54, 627千円(給与費 * 165/1000)
材 料 費	225,476	249,847	232,142	270,647	228,200	232,206	218,570	239,860	21,290	医薬品費・薬品費・診療材料費等
経 費	76,010	75,981	78,208	76,716	77,119	83,386	91,180	92,598	1,418	消耗品・光熱水費等
委 託 費	110,874	107,408	104,852	109,140	108,711	115,214	123,093	116,711	△ 6,382	給食・寝具・検査委託等
減価償却費等	134,909	110,461	100,956	105,455	102,247	109,899	112,702	123,498	10,796	減価償却費(118, 536千円)・資産減耗費(4, 962千円)
そ の 他	3,546	4,027	4,193	5,150	5,981	6,590	5,934	5,900	△ 34	研究研修費(5, 446千円)・本部費(454千円)
計(B)	1,450,003	1,388,628	1,373,681	1,505,043	1,462,979	1,448,820	1,527,042	1,503,522	△ 23,520	

(収支)

(単位:千円)

内訳	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	差引	備 考
計(A)―(B)	△ 251,787	△ 169,771	△ 182,793	△ 216,496	△ 240,308	△ 220,841	△ 315,583	△ 291,953	23,630	医業収益計(A)―医業費用計(B)
(前年度との比較)	△ 61,589	82,016	△ 13,022	△ 33,703	△ 23,812	19,467	△ 94,742	23,630		

* 医業収支以外の主なもの

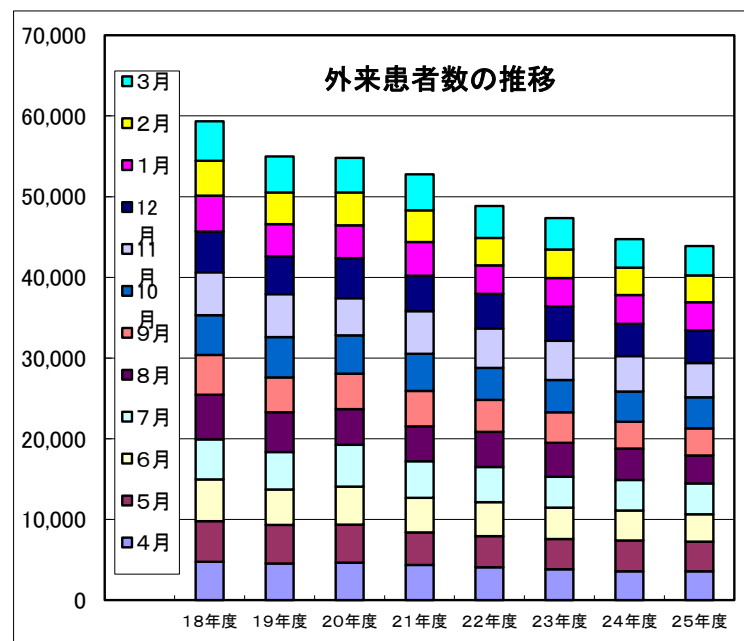
(単位:千円)

(収入)	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	差引	備 考
負 担 金	182,794	202,261	218,825	313,784	332,612	344,362	344,922	326,036	△ 18,886	交付税措置額(不採算地区病院・へき地医療 含む) * 本部費・MRI町村負担金(32, 400千円)除く
補 助 金	42,552	41,218	40,990	38,620	38,967	38,234	38,083	37,770	△ 313	建設費にかかる支払利子の1/2・医師等環境改善補助金・輪番制補助金 等
(支出)	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	差引	備 考
起償償還等	142,499	126,056	129,792	135,149	147,996	163,786	176,691	200,240	23,549	元金 151, 462千円・繰上償還 16, 500千円・利子 32, 278千円

(外来患者数の推移)

(単位:人)

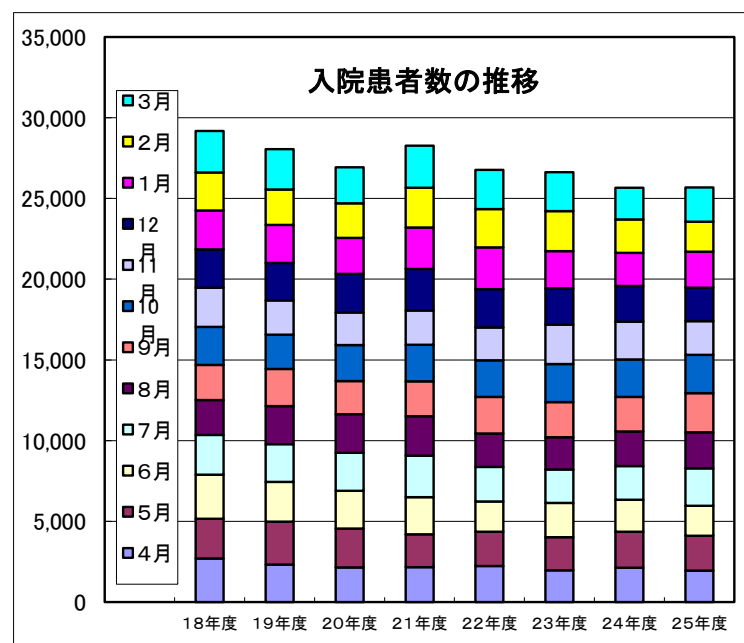
患者数	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	差引
4月	4,750	4,522	4,629	4,342	4,073	3,806	3,582	3,569	△ 13
5月	5,028	4,780	4,718	4,050	3,855	3,780	3,815	3,697	△ 118
6月	5,194	4,405	4,730	4,288	4,216	3,889	3,717	3,367	△ 350
7月	4,959	4,655	5,179	4,536	4,334	3,807	3,789	3,818	29
8月	5,524	4,924	4,400	4,299	4,376	4,214	3,861	3,461	△ 400
9月	4,945	4,330	4,418	4,399	3,974	3,792	3,324	3,376	52
10月	4,901	4,980	4,735	4,612	3,932	3,984	3,761	3,842	81
11月	5,323	5,339	4,616	5,274	4,904	4,850	4,388	4,261	△ 127
12月	5,058	4,663	4,944	4,414	4,297	4,252	4,011	4,021	10
1月	4,430	4,011	4,082	4,157	3,511	3,542	3,565	3,500	△ 65
2月	4,346	3,926	4,058	3,935	3,415	3,540	3,375	3,339	△ 36
3月	4,866	4,447	4,289	4,449	3,967	3,870	3,535	3,616	81
計	59,324	54,982	54,798	52,755	48,854	47,326	44,723	43,867	△ 856



(入院患者数の推移)

(単位:人)

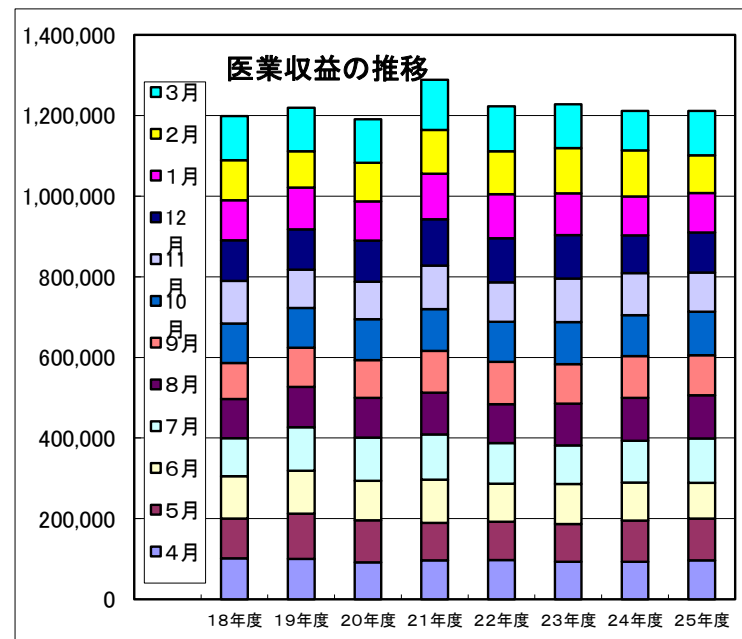
患者数	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	差引
4月	2,701	2,314	2,149	2,158	2,233	1,960	2,131	1,953	△ 178
5月	2,456	2,671	2,406	2,041	2,132	2,056	2,225	2,158	△ 67
6月	2,736	2,454	2,340	2,304	1,872	2,129	1,977	1,856	△ 121
7月	2,453	2,338	2,359	2,559	2,134	2,062	2,085	2,318	233
8月	2,166	2,352	2,387	2,450	2,062	2,006	2,153	2,234	81
9月	2,179	2,303	2,053	2,161	2,284	2,172	2,140	2,425	285
10月	2,351	2,122	2,230	2,266	2,252	2,363	2,323	2,362	39
11月	2,435	2,126	2,014	2,128	2,035	2,436	2,323	2,093	△ 230
12月	2,359	2,325	2,393	2,571	2,379	2,246	2,220	2,079	△ 141
1月	2,424	2,355	2,235	2,568	2,583	2,304	2,057	2,220	163
2月	2,355	2,197	2,136	2,452	2,373	2,487	2,070	1,864	△ 206
3月	2,557	2,500	2,225	2,603	2,423	2,410	1,964	2,127	163
計	29,172	28,057	26,927	28,261	26,762	26,631	25,668	25,689	21



(収益の推移)

(単位:千円)

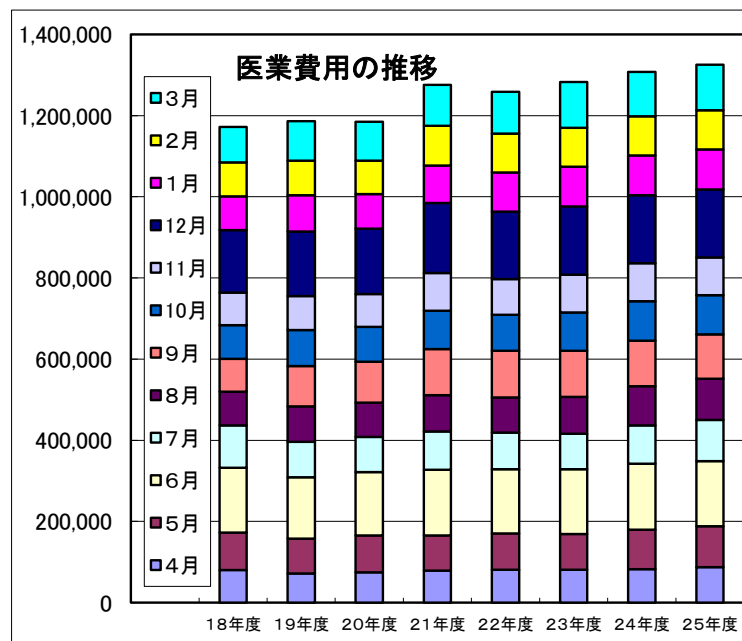
収益	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	差引
4月	101,890	99,881	91,893	96,799	97,222	93,129	93,388	96,962	3,574
5月	98,274	112,525	104,315	92,480	94,933	93,323	101,644	103,053	1,409
6月	105,148	106,685	97,832	107,721	94,857	99,813	94,693	88,846	△ 5,847
7月	94,254	107,544	106,994	111,804	100,710	95,533	103,445	109,755	6,310
8月	97,405	100,296	98,338	103,986	96,379	103,533	106,746	107,556	810
9月	89,425	97,191	93,858	103,118	104,669	98,115	103,541	99,282	△ 4,259
10月	97,387	98,426	101,600	103,635	99,669	104,143	101,154	107,655	6,501
11月	105,766	95,240	92,625	108,052	97,871	108,031	104,203	97,611	△ 6,592
12月	101,110	99,879	102,124	115,017	109,497	107,397	93,570	98,976	5,406
1月	98,980	103,921	97,724	113,249	109,363	104,209	96,464	98,197	1,733
2月	99,838	89,362	95,433	108,316	106,083	112,044	114,722	93,144	△ 21,578
3月	108,739	107,907	108,152	124,049	111,418	108,709	97,889	110,532	12,643
計	1,198,216	1,218,857	1,190,888	1,288,226	1,222,671	1,227,979	1,211,459	1,211,569	110



(費用の推移)

(単位:千円)

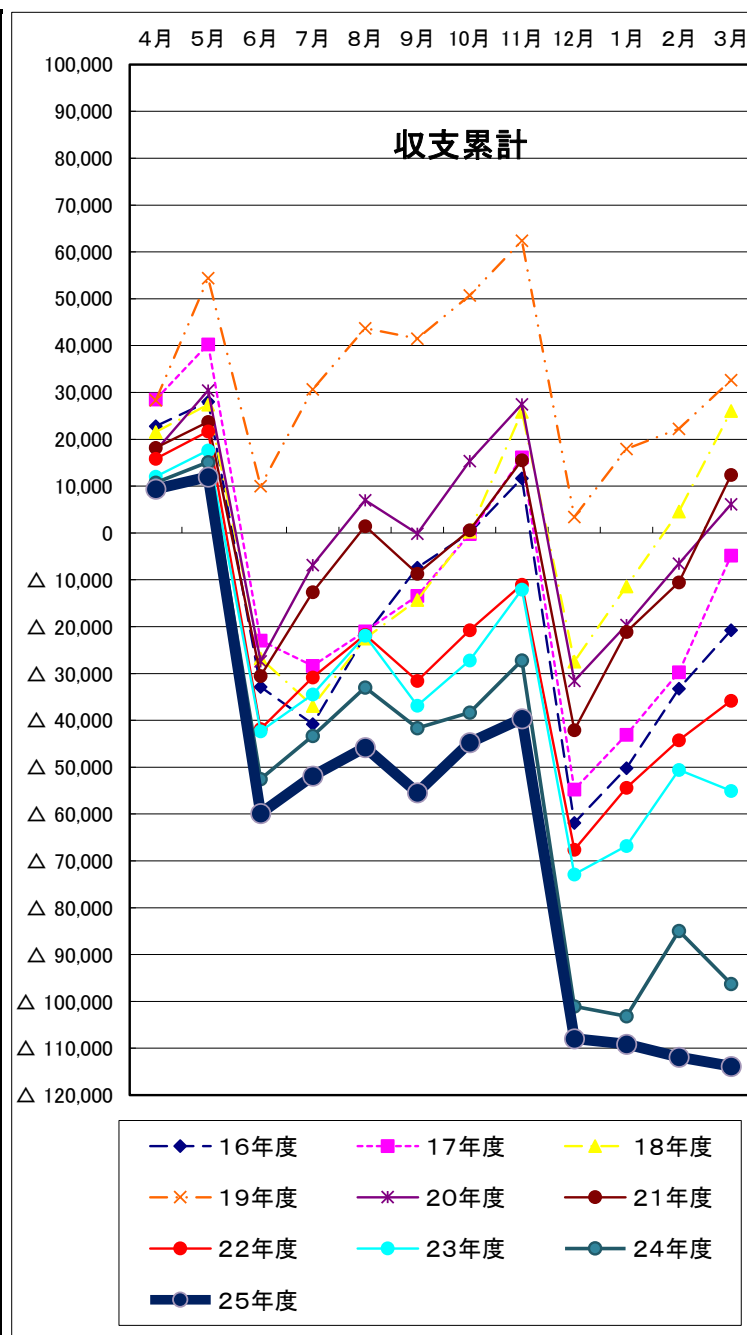
費用	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	差引
4月	80,309	71,533	74,291	78,617	81,334	81,080	82,630	87,539	4,909
5月	92,432	86,445	91,471	86,941	89,124	87,717	97,260	100,489	3,229
6月	159,308	151,121	155,669	161,942	158,360	159,770	162,381	160,669	△ 1,712
7月	104,428	86,826	86,463	93,921	89,738	87,686	94,179	101,757	7,578
8月	83,040	87,285	84,455	89,883	87,267	90,964	96,462	101,467	5,005
9月	81,184	99,424	101,027	113,308	114,517	113,095	112,177	108,969	△ 3,208
10月	82,783	89,167	86,110	94,328	88,825	94,450	97,820	96,935	△ 885
11月	80,170	83,580	80,512	93,135	88,133	92,950	93,123	92,535	△ 588
12月	154,433	158,862	161,136	172,614	166,105	168,168	167,413	167,309	△ 104
1月	82,957	89,378	85,800	92,276	96,127	98,122	98,571	99,331	760
2月	83,803	85,084	82,330	97,735	95,935	95,861	96,524	95,939	△ 585
3月	87,325	97,488	95,506	101,117	103,017	113,158	109,193	112,458	3,265
計	1,172,172	1,186,193	1,184,770	1,275,817	1,258,482	1,283,021	1,307,733	1,325,397	17,664



(収支の推移)

(単位:千円)

収支	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	差引
4月	21,581	28,348	17,602	18,182	15,888	12,049	10,758	9,423	△ 1,335
5月	5,842	26,080	12,844	5,539	5,809	5,606	4,384	2,564	△ 1,820
6月	△ 54,160	△ 44,436	△ 57,837	△ 54,221	△ 63,503	△ 59,957	△ 67,688	△ 71,823	△ 4,135
7月	△ 10,174	20,718	20,531	17,883	10,972	7,847	9,266	7,998	△ 1,268
8月	14,365	13,011	13,883	14,103	9,112	12,569	10,284	6,089	△ 4,195
9月	8,241	△ 2,233	△ 7,169	△ 10,190	△ 9,848	△ 14,980	△ 8,636	△ 9,687	△ 1,051
10月	14,604	9,259	15,490	9,307	10,844	9,693	3,334	10,720	7,386
11月	25,596	11,660	12,113	14,917	9,738	15,081	11,080	5,076	△ 6,004
12月	△ 53,323	△ 58,983	△ 59,012	△ 57,597	△ 56,608	△ 60,771	△ 73,843	△ 68,333	5,510
1月	16,023	14,543	11,924	20,973	13,236	6,087	△ 2,107	△ 1,134	973
2月	16,035	4,278	13,103	10,581	10,148	16,183	18,198	△ 2,795	△ 20,993
3月	21,414	10,419	12,646	22,932	8,401	△ 4,449	△ 11,304	△ 1,926	9,378
計	26,044	32,664	6,118	12,409	△ 35,811	△ 55,042	△ 96,274	△ 113,828	△ 17,554



各種統計数値の推移

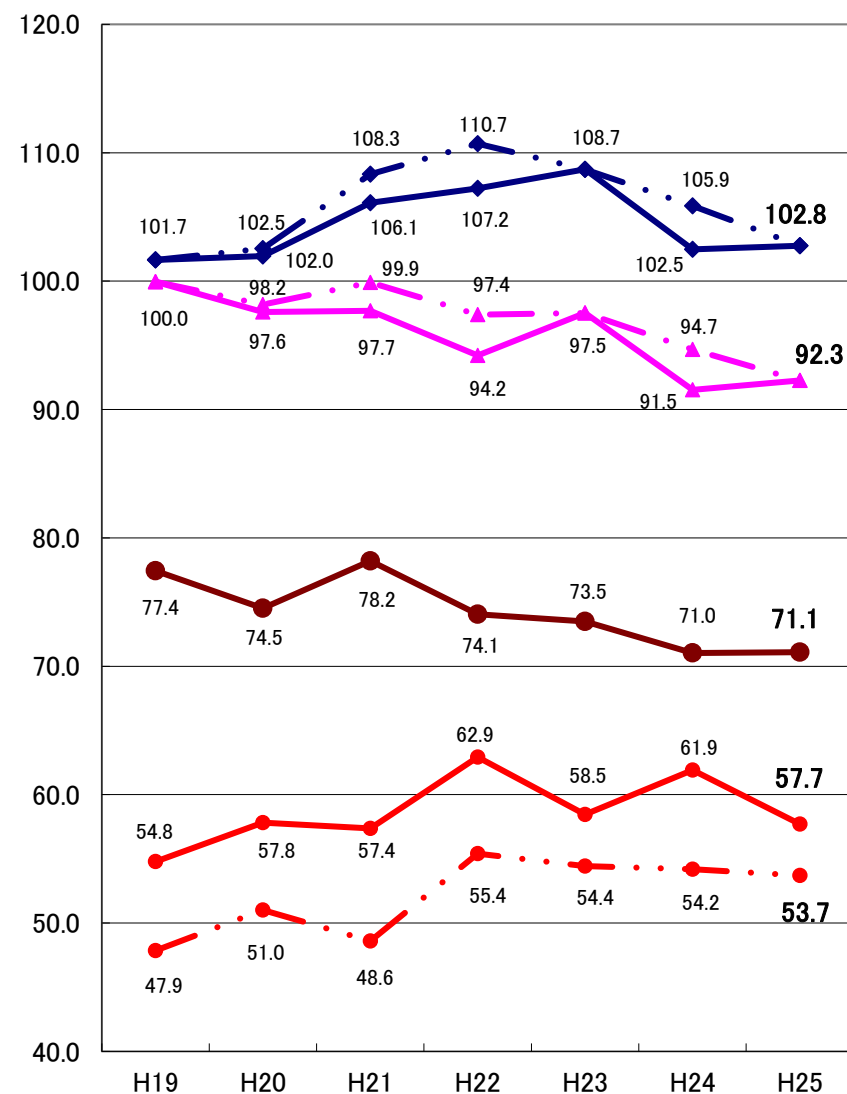
(単位: 千円)

項目	決算統計	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
医業収益 (A)	20表(2)	1,327,131	1,294,736	1,411,715	1,359,287	1,392,512	1,378,182	1,366,854
医業外収益 (B)	20表(15)	141,065	161,547	234,784	247,427	220,851	220,877	212,060
医業費用 (C)	20表(24)	1,327,780	1,326,718	1,445,214	1,442,771	1,427,809	1,505,721	1,481,548
医業外費用 (D)	20表(37)	116,571	101,661	106,675	55,582	56,267	54,778	55,060
職員給与費 (E)	20表(25)	727,069	748,513	809,819	855,347	813,925	853,402	788,720
材料費 (F)	20表(26)	237,753	220,924	257,591	213,502	221,220	208,079	228,454
うち薬品費 (G)	21表(22)	144,695	138,025	147,332	120,517	112,711	113,224	120,188
年延入院患者数 (H)	27表(6)	28,057	26,927	28,261	26,762	26,631	25,668	25,689
うち一般患者数 (I)	27表(1)	28,057	26,927	28,261	26,762	26,631	25,668	25,689
うち療養患者数 (J)	27表(2)	0	0	0	0	0	0	0
年延病床数 (K)	27表(12)	36,234	36,135	36,135	36,135	36,234	36,135	36,135
うち一般病床数 (L)	27表(7)	36,234	36,135	36,135	36,135	36,234	36,135	36,135
うち療養病床数 (M)	27表(8)	0	0	0	0	0	0	0

(単位: %)

項目		H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
経常収支比率	$\frac{(A)+(B)}{(C)+(D)}$	101.7	102.0	106.1	107.2	108.7	102.5	102.8
医業収支比率	$\frac{(A)}{(C)}$	100.0	97.6	97.7	94.2	97.5	91.5	92.3
職員給与費対医業収益比率	$\frac{(E)}{(A)}$	54.8	57.8	57.4	62.9	58.5	61.9	57.7
材料費対医業収益比率	$\frac{(F)}{(A)}$	17.9	17.1	18.2	15.7	15.9	15.1	16.7
うち薬品費対医業収益比率	$\frac{(G)}{(A)}$	10.9	10.7	10.4	8.9	8.1	8.2	8.8
病床利用率	$\frac{(H)}{(K)}$	77.4	74.5	78.2	74.1	73.5	71.0	71.1
うち一般病床	$\frac{(I)}{(L)}$	77.4	74.5	78.2	74.1	73.5	71.0	71.1
うち療養病床	$\frac{(J)}{(M)}$	-	-	-	-	-	-	-

- 経常収支比率 (引当金追加分除く)
- 医業収支比率 (引当金追加分除く)
- 給与費対医業収益比率 (退職給与引当金除く)
- 病床利用率



平成25年度 外来患者(介護・診療所含)分析

(単位:人)

収益

(単位:千円)

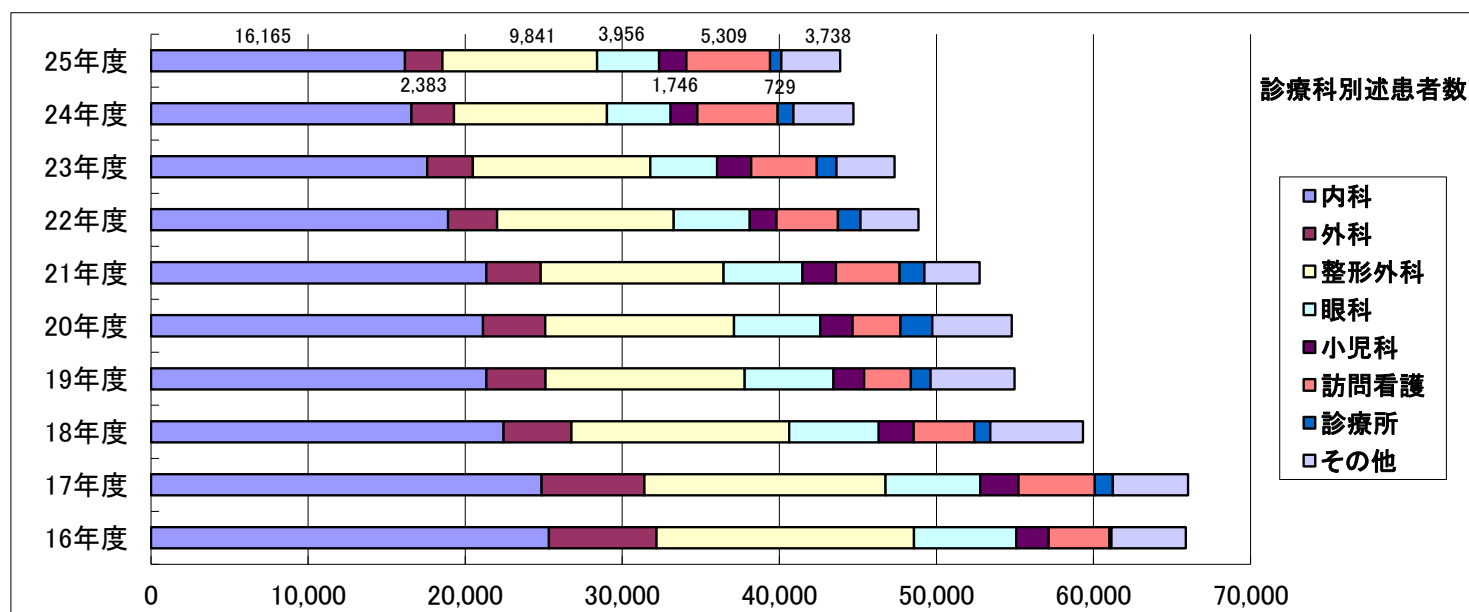
患者数	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	差引	稼働	平均	病院	訪問	診療所
4月	5,599	5,369	4,750	4,522	4,629	4,342	4,073	3,806	3,582	3,569	△ 13	23	155.2	27,894	5,391	322
5月	5,201	5,445	5,028	4,780	4,718	4,050	3,855	3,780	3,815	3,697	△ 118	23	160.7	25,499	5,335	329
6月	5,659	5,828	5,194	4,405	4,730	4,288	4,216	3,889	3,717	3,367	△ 350	22	153.0	26,574	5,073	216
7月	5,917	5,726	4,959	4,655	5,179	4,536	4,334	3,807	3,789	3,818	29	24	159.1	28,226	5,063	264
8月	5,820	6,396	5,524	4,924	4,400	4,299	4,376	4,214	3,861	3,461	△ 400	22	157.3	26,527	4,765	228
9月	5,748	5,528	4,945	4,330	4,418	4,399	3,974	3,792	3,324	3,376	52	21	160.8	24,828	4,508	257
10月	5,436	5,368	4,901	4,980	4,735	4,612	3,932	3,984	3,761	3,842	81	24	160.1	27,381	4,977	238
11月	5,660	5,940	5,323	5,339	4,616	5,274	4,904	4,850	4,388	4,261	△ 127	21	202.9	25,966	4,531	277
12月	5,492	5,232	5,058	4,663	4,944	4,414	4,297	4,252	4,011	4,021	10	21	191.5	26,080	4,357	248
1月	4,835	4,827	4,430	4,011	4,082	4,157	3,511	3,542	3,565	3,500	△ 65	21	166.7	26,548	4,531	282
2月	4,807	4,949	4,346	3,926	4,058	3,935	3,415	3,540	3,375	3,339	△ 36	21	159.0	30,304	4,654	155
3月	5,700	5,416	4,866	4,447	4,289	4,449	3,967	3,870	3,535	3,616	81	22	164.4	32,107	4,573	209
計	65,874	66,024	59,324	54,982	54,798	52,755	48,854	47,326	44,723	43,867	△ 856	265	165.5	327,934	57,758	3,025

(内訳)

(単位:人)

(単位:千円)

診療科	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	差引	稼働	平均	収益	診療単価	備考
内 科	16,081	18,198	19,464	18,602	18,405	18,328	16,242	14,928	14,738	14,732	△ 6	265	55.6	173,138	11,753	月～土
循環器内科	1,746	997	842	727	616	810	922	770	0	0	0	0	—	0	—	
消化器内科	960	712	803	712	818	955	851	868	804	683	△ 121	47	14.5	5,846	8,559	水
脳神経内科	6,550	4,953	1,334	1,307	1,300	1,261	900	1,010	1,043	750	△ 293	48	15.6	5,752	7,669	木
外 科	5,797	5,960	3,803	3,302	3,497	3,078	2,751	2,580	2,410	2,095	△ 315	242	8.7	11,288	5,388	月～金
脳神経外科	258	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	0	—	
整形外科	16,380	15,350	13,855	12,683	12,019	11,640	11,251	11,302	9,736	9,841	105	238	41.3	74,924	7,613	月～金
心臓血管外科	797	597	528	463	456	386	367	326	300	288	△ 12	23	12.5	2,236	7,764	第2・4土
眼 科	6,508	6,018	5,703	5,654	5,488	5,006	4,832	4,255	4,053	3,956	△ 97	235	16.8	20,589	5,204	月～金
耳鼻咽喉科	1,151	950	917	845	922	727	698	760	731	723	△ 8	48	15.1	2,394	3,311	木
泌尿器科	1,660	1,462	1,505	1,391	1,350	1,304	1,438	1,495	1,598	1,420	△ 178	41	34.6	19,629	13,823	月
皮膚科	594	479	466	430	476	522	565	451	411	519	108	34	15.3	1,578	3,040	火
婦人科	483	566	285	445	174	167	78	68	147	191	44	60	3.2	854	4,471	火・第1水
小児科	2,076	2,443	2,220	1,955	2,069	2,142	1,702	2,161	1,702	1,746	44	265	6.6	4,864	2,786	月～土
心療内科	538	951	828	756	653	716	799	766	806	753	△ 53	50	15.1	4,482	5,952	金
アレルギー科	112	90	64	62	93	88	107	153	134	132	△ 2	265	0.5	360	2,727	月～土
居 宅 管 理	194	298	1,824	1,415	1,394	0	0	0	0	0	0	0	—	0	—	月～金
訪問看護・リハ	3,873	4,858	3,854	2,967	3,043	4,051	3,912	4,182	5,108	5,309	201	289	18.4	57,758	10,879	随時
黒坂診療所	116	1,142	1,029	1,042	1,814	1,442	1,311	1,157	905	649	△ 256	100	6.5	2,679	4,128	火・木
二部診療所	0	0	0	224	211	132	128	94	97	80	△ 17	50	1.6	346	4,325	水
計	65,874	66,024	59,324	54,982	54,798	52,755	48,854	47,326	44,723	43,867	△ 856	—	—	388,717	8,861	



平成25年度 入院患者分析（請求ベース）

（単位：人・円）

患者数	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	差引	稼働	平均	稼働率（%）	入院収益
4月	2,806	3,065	2,701	2,314	2,149	2,158	2,233	1,960	2,131	1,953	△ 178	30	65.1	65.8	60,255
5月	2,563	2,660	2,456	2,671	2,406	2,041	2,132	2,056	2,225	2,158	△ 67	31	69.6	70.3	67,474
6月	2,709	2,689	2,736	2,454	2,340	2,304	1,872	2,129	1,977	1,856	△ 121	30	61.9	62.5	53,314
7月	2,683	2,796	2,453	2,338	2,359	2,559	2,134	2,062	2,085	2,318	233	31	74.8	75.5	71,731
8月	2,819	2,359	2,166	2,352	2,387	2,450	2,062	2,006	2,153	2,234	81	31	72.1	72.8	70,634
9月	2,992	2,277	2,179	2,303	2,053	2,161	2,284	2,172	2,140	2,425	285	30	80.8	81.6	64,441
10月	2,658	2,661	2,351	2,122	2,230	2,266	2,252	2,363	2,323	2,362	39	31	76.2	77.0	69,425
11月	2,609	2,553	2,435	2,126	2,014	2,128	2,035	2,436	2,323	2,093	△ 230	30	69.8	70.5	59,877
12月	2,669	2,589	2,359	2,325	2,393	2,571	2,379	2,246	2,220	2,079	△ 141	31	67.1	67.7	62,585
1月	2,799	2,815	2,424	2,355	2,235	2,568	2,583	2,304	2,057	2,220	163	31	71.6	72.3	62,747
2月	2,936	2,434	2,355	2,197	2,136	2,452	2,373	2,487	2,070	1,864	△ 206	28	66.6	67.2	54,274
3月	3,297	2,870	2,557	2,500	2,225	2,603	2,423	2,410	1,964	2,127	163	31	68.6	69.3	64,818
計	33,540	31,768	29,172	28,057	26,927	28,261	26,762	26,631	25,668	25,689	21	365	70.4	71.1	761,575

（内訳）

（単位：人）

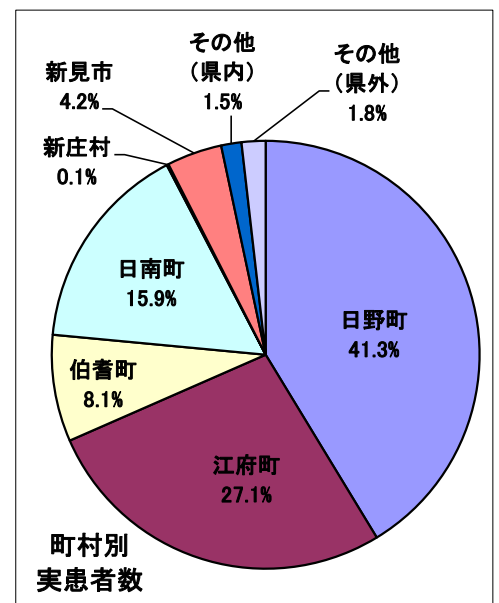
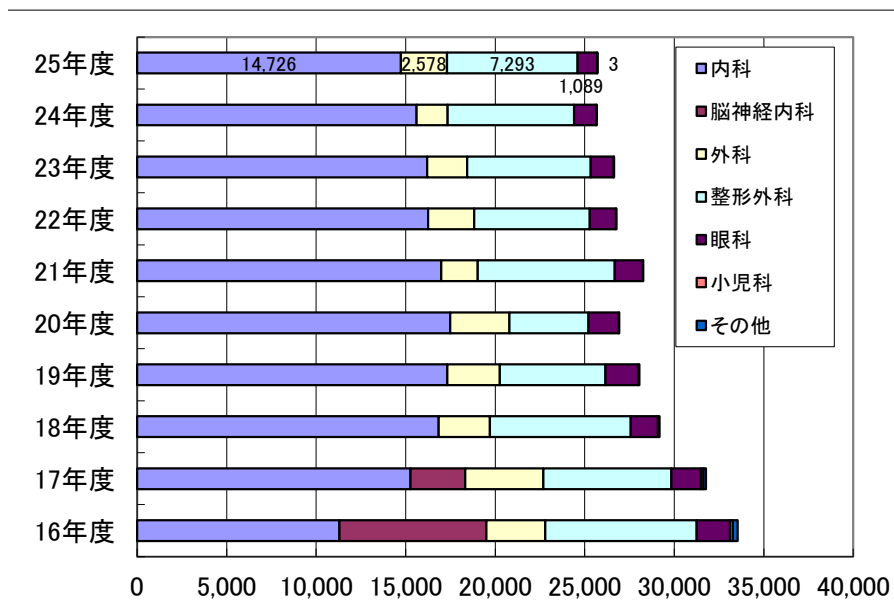
（単位：千円）

診療科	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	差引	稼働	平均	収益（千円）	単価（円）
内 科	11,296	15,274	16,847	17,330	17,481	16,977	16,256	16,204	15,601	14,726	△ 875	365	40.3	385,145	26,154
脳神経内科	8,206	3,048	0	0	0	0	0	0	0	0	0	365	0.0	0	—
外 科	3,297	4,365	2,854	2,929	3,316	2,048	2,563	2,236	1,748	2,578	830	365	7.1	83,582	32,421
整形外科	8,450	7,152	7,859	5,904	4,411	7,655	6,464	6,895	7,060	7,293	233	365	20.0	249,002	34,143
眼 科	1,855	1,636	1,533	1,842	1,706	1,566	1,467	1,291	1,236	1,089	△ 147	365	3.0	43,777	40,199
小児科	165	152	79	52	13	15	12	5	23	3	△ 20	365	0.0	69	23,000
その他	271	141	0	0	0	0	0	0	0	0	0	365	0.0	0	—
計	33,540	31,768	29,172	28,057	26,927	28,261	26,762	26,631	25,668	25,689	21	365	70.4	761,575	29,646
平均患者数	91.9	87.0	79.9	76.7	73.8	77.4	73.3	72.8	70.3	70.4	平成18年8月以前（一般病床101床・療養病床16床）				
稼働率	78.5	74.4	76.1	77.4	74.5	78.2	74.1	73.5	71.0	71.1	平成18年8月以後（一般病床99床）				

（内訳）

（単位：人・%）

町村別患者数	日野町	江府町	伯耆町	構成町（小計）	日南町	新庄村	新見市	その他（県内）	その他（県外）	構成町以外（小計）	合計
実患者数*	297	195	58	550	114	1	30	11	13	169	719
割合（%）	41.3	27.1	8.1	76.5	15.9	0.1	4.2	1.5	1.8	23.5	100.0



2、在宅介護支援事業について

訪問看護収益については、延べ利用者数が277人減少したことにより2,097円の減収、訪問リハビリ事業は利用者数が478人増加し、2,595千円の増収、居宅支援収益は80件増加したため、681千円の増収となった。全体では1,179千円の増収となった。

3、診療所事業について

黒坂診療所は火曜日と木曜日の週2日の診療、二部診療所については水曜日のみの週1日の診療を行った。患者数は黒坂診療所が256人の減少、二部診療所は17人の減少となり、1,479千円の減収となった。

4、単年度資金収支について

平成25年度の単年度資金収支（現金）は、3,600千円の減となった。この額が運転資金（留保資金）から減額されることになる。

5、負担金（追加分）発生の状況について

平成20年度に構成町の負担金（追加分）について発生の条件を、単年度資金収支の減による補てん（赤字補てん）から、運転資金（留保資金）不足の補てんへ変更した。

このことにより、留保資金が病院の運営をしていく上での運転資金を下回った（資金不足を生じた）場合に限り、その額を負担金（追加分）として受けることになった。

したがって、仮に単年度において単年度資金収支（留保資金）が減少しても、運転資金を下回らない限り構成町からの負担金（追加分）が発生することとはなくなった。

平成25年度末時点で、資金不足発生までの額は497,528千円となり、当分の間負担金（追加分）は発生することはない状況である。

6、退職手当引当金の実施について

平成19年度から実施している退職給与引当てについて、平成25年度は通常率（165/1000）による引当て54,627千円を実施した。（平成24年度は50,000千円の追加引当てを行ったが、平成25年度においては追加引当てを実施しなかった。）

4名の退職者に対し総額68,470千円の退職給与金の支払いを行い、残高は236,560千円となった。

7、病院事業等に対する地方交付税措置について

普通交付税について、1床あたりに対する措置額は増加したが、経過措置が終了し99床の措置（平成24年度以前は117床）となったため、12,117千円の減となった。全体では192,025千円の措置額となり、11,575千円の減となった。

特別交付税については、平成19年度から不採算地区病院の対象となっており、また平成20年度からはへき地医療に対する措置も対象となっている。

平成24年度決算において累積剰余金が発生したため、基礎年金拠出金に対する措置（6,565千円）がなくなったため、措置額は8,639千円減少し、148,271千円となった。

交付税措置額は全体で340,296千円となり、20,214千円の減額となった。

8、累積剰余金の処分について

平成18年度に約6億円あった累積欠損金が、平成19年度以降の黒字決算の継続により、平成24年度決算終了時点で累積剰余金に転じている。

平成25年度決算終了時点で、累積剰余金は72,875千円となった。

剰余金の処分方法については、条例の定めによるか議会の議決を要することとされているが、平成25年度決算において発生した累積剰余金については、未処分利益剰余金として処分する。（平成25年8月30日開催の日野病院組合議会全員協議会において協議したとおり処分）

9、日野病院経営計画プラン（公立病院改革プラン）の策定及び評価について

日野病院は平成20年度に「日野病院安定経営プラン」を策定し、現在は平成24年度に策定した「日野病院経営計画プラン」により目標数値を設定している。

1 年の歩みと今後のあり方

1、病院事業

高齢化率の高い中山間地における中核病院として、CT、MRI などの診療機器や、無菌手術の可能な手術室を備え、常勤医師8名と大学からの非常勤医師で22診療科の診療に加え訪問診療を行った。

2、「出かける医療・近づいていく医療と福祉」

構成3町の交通手段は限られ、高齢者の通院を阻む要素になっている。

通院の利便性を図るため、公共交通機関のない地域に患者送迎車(ワゴン車)を走らせ、日野病院や診療所の間で運行させた。

また、訪問診療(週3日)に加え、在宅支援事業(訪問看護と訪問リハビリ)の充実を図り、可能な限り在宅での生活(療養)を支援している。(訪問診療と在宅支援事業は構成3町だけでなく県境を越え岡山県にも出かけている。)

(ア) 訪問診療

訪問診療の延べ患者数は、平成25年度で679人(平成24年度は553人)となり、在宅での生活(療養)を推進している。

平成16年度に購入した携帯型のレントゲン撮影装置、超音波断層装置及び心電計の導入により、質の高い在宅医療が行えるようになり、訪問診療の充実を図っている。

(イ) 在宅介護支援事業

訪問看護、訪問リハビリ(理学療法士2名・作業療法士1名・言語聴覚士2名)、訪問服薬指導を行った。(作業療法士は平成23年度から)

平成25年度で訪問した延べ患者数は、訪問看護 1,785名(277名減)、訪問リハビリ 3,524名(478名増)、服薬指導 81名(13名減)となっている。

(ウ) 診療所事業

無医地区の黒坂(日野町)と二部(伯耆町)に診療所を開所し診療を行った。

黒坂診療所は毎週火・木曜日、二部診療所は毎週水曜日に開所した。

平成25年度延べ患者数は729名となった。(平成24年度延べ患者数は1,002名)

病院事業等の運営については、在宅での療養の推進を図りながら現在の病院機能を維持していくことが必要と考えている。今後ますます周辺人口の減少や患者数が減少する状況を踏まえ、日野病院のあり方や機能(診療科や病床のあり方と病床数等)について、常に検討しておく必要がある。

平成25年度主な事業

・磁気共鳴診断装置（MRI）更新事業について

整形外科をはじめ神経内科や心療内科の認知症診断等、各診療科での画像診断に欠かすことのできない医療機器であり、高齢化が進むこの地域には必要不可欠の医療機器である磁気共鳴診断装置（MRI）の更新を行った。

平成12年度に購入したMRIは0.5テスラであったが、現在の画像診断にはそれ以上が必要であるため、1.5テスラのMRIを更新した。

更新事業にあたり構成町からの負担金をお願いした。（財源内訳は下記のとおり）

購入額 93,870千円

（財源）28,825千円 地域医療再生基金事業補助金（定額）

32,400千円 構成町負担金

（日野町負担率 80% 26,000千円）

（江府町負担率 15% 4,800千円）

（伯耆町負担率 5% 1,600千円）

32,600千円 病院事業債

45千円 病院自己負担額

・病院機能評価受審（9月12日・13日）

平成20年4月21日付けで認定病院（Ver.5.0）となっていたが、平成25年9月12日と13日の2日間にわたり訪問審査を受け、平成25年12月6日付けで、再度認定病院（機能種別版評価項目3rdG：Ver.1.0）となった。

・夜間施錠の開始について（平成25年12月～）

職員で行っていた夜間管理業務を、民間委託し夜間の施錠を開始した。

これにより、夜間の患者及び来院者の出入りが管理でき、夜間の管理（警備）業務の強化を図ることができた。

施設・設備等整備状況

施設・設備等整備状況

1、施設

購入物件(整備事業名)	契約金額	契約年月日	契約の相手方
相談室間仕切り工事	643,100 円 (内消費税 30,623円)	平成25年6月10日	(株)先本組 (株)備中屋本店

2、設備

購入物品名	契約金額	契約年月日	契約の相手方
X線一般撮影システム	21,000,000 円 (内消費税 1,000,000円)	平成25年5月27日	(株)島津製作所
外科用X線TVシステム	5,670,000 円 (内消費税 270,000円)	平成25年5月27日	(株)島津製作所
ベッドサイドモニタ	1,417,500 円 (内消費税 67,500円)	平成25年5月29日	村中医療器(株)
輸液ポンプ	135,000 円 (内消費税 6,750円)	平成25年5月29日	村中医療器(株)
サージェアトーム・Ⅱ	651,000 円 (内消費税 31,000円)	平成25年5月30日	小西医療器(株)
視力検査装置	325,500 円 (内消費税 15,500円)	平成25年6月24日	小西医療器(株)
超音波診断装置 1式	5,460,000 円 (内消費税 260,000円)	平成25年7月31日	宮野医療器(株)
マット付プラットホーム	472,500 円 (内消費税 22,500円)	平成25年7月18日	村中医療器(株)
昇降フラップテーブル	104,296 円 (内消費税 4,966円)	平成25年8月20日	オフィスオートメーションシステム(株)
財務・給与システム	2,077,950 円 (内消費税 98,950円)	平成25年9月3日	(株)サンメディア
遠心機 1式	346,500 円 (内消費税 16,500円)	平成25年9月25日	村中医療器(株)
ハイブリッドグラフィックプリンター 1式	396,900 円 (内消費税 18,900円)	平成25年9月25日	(株)島津製作所
日野病院夜間入口出入管理システム1式	361,200 円 (内消費税 17,200円)	平成25年11月14日	セコム株式会社
医療用カーテン 1式	2,625,000 円 (内消費税 125,000円)	平成25年12月19日	アイカム株式会社
筋電計 1式	3,097,500 円 (内消費税 147,500円)	平成26年2月4日	小西医療器(株)
血液ガス分析装置 1式	1,890,000 円 (内消費税 90,000円)	平成26年2月4日	小西医療器(株)
電解質分析装置 1式	837,900 円 (内消費税 39,900円)	平成26年2月4日	村中医療器(株)
全自動血液凝固測定装置 1式	2,268,000 円 (内消費税 108,000円)	平成26年2月6日	成和産業(株)
呼吸機能検査測定装置 1式	1,522,500 円 (内消費税 72,500円)	平成26年2月14日	村中医療器(株)
脳波計 1式	3,780,000 円 (内消費税 180,000円)	平成26年2月14日	村中医療器(株)
万能型実習モデル	472,500 円 (内消費税 22,500円)	平成26年2月21日	村中医療器(株)

委員会活動状況

日野病院委員会(ワーキング)構成表

番号	会議・委員会	ワーキング
	管理者会議	幹事会
1	病院運営会議	人事委員会 倫理委員会
2	管理職会議	病院機能評価受審委員会
3	情報システム管理委員会	電子カルテ検討委員会 医療連携ネットワーク委員会
4	診療局会議	
5	看護局運営会議	外来業務委員会 病棟運営委員会 手術室運営委員会 透析室運営委員会
6	医療技術局運営会議	リハビリ運営委員会 放射線室運営委員会 検査室運営委員会 薬剤管理室運営委員会
7	地域連携推進委員会	
8	輸血委員会	
9	物流委員会	薬事審議委員会 SPD委員会 委託業者連絡委員会
10	病院業務検討委員会	病院機能検討委員会 医師負担軽減対策委員会 医療機器購入検討委員会
11	経営企画委員会	保険診療委員会 クリニカルパス委員会 褥瘡委員会・NST委員会 がん研究及び対策委員会 生活習慣病対策委員会 ドック検診委員会 栄養管理委員会
12	医療安全管理委員会	医薬品安全管理委員会 医療機器安全管理委員会 医療ガス安全管理委員会 診療記録開示検討委員会
13	院内感染対策委員会	ICT委員会
14	労働安全衛生委員会	
15	診療記録管理委員会	
16	サービス推進委員会	
17	接遇向上委員会	
18	教育・研修委員会	図書委員会 BLS委員会
19	災害対策委員会	
20	個人情報保護対策委員会	

1. 病院運営会議

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第86回	H25.4.19	7名	平成25年度各委員会及びワーキングの委員編成について 平成24年度部門別目標の評価及び平成25年度部門別目標の提出について （部署4/26まで・委員会5/31まで） 地域連携連絡会の開催について(5/1予定) 病院機能評価自己評価調査票の入力及び提出について 看護の日イベント記念植樹について(5/10予定) 5月1日付辞令交付について 患者さまの声について その他 ・平成24年度年報作成に係る、委員会活動報告・学会発表・業績等 の入力について(お願い)
第87回	H25.5.24	6名	平成24年度病院事業等の決算概況について 全館停電に対する対応について(6/2) 岡山県北部の医療施設の状況について 病院機能評価受審の日程について(9/12～13予定) MRI購入にかかる特定業者の選定と今後の予定について 6月1日付辞令交付について 患者さまの声について その他 ・久住・下黒坂方面の送迎中止について(黒坂診療所) ・鶴の池マラソンの開催について(6/9) ・「未来の医療人を地域でいっしょに育てよう」ー地域医療を感じる シンポジウムー開催について ・相談室の移動について ・高齢者肺炎球菌ワクチンの料金変更について ・時間内歩行試験の施設基準取得について ・がん性疼痛緩和指導管理料の担当医師変更について
第88回	H25.6.19	7名	8月からの診察体制について 平成24年度決算分析における各種統計数値について 7月1日付辞令交付について 平成25年度サマーセミナーについて 風しん予防接種の取り扱いについて ドック健診時の胃透視の体制について MRIの保守契約について(8月末まで) 患者さまの声について その他 ・職員の夏季休暇について ・漏電による電子カルテシステムダウンについて(6/13) ・相談室の設置について ・看護必要度の状況について ・北谷医師の研修について ・日野病院災害対策訓練について ・平成23年度鳥取県公営企業会計決算(病院事業)の状況について
第89回	H25.7.24	7名	日野病院組合議会臨時会について(7/25) 日野病院組合議会定例会の開催について(8/30) 平成25年度医療施設等施設整備費補助金(へき地拠点病院に係る)要望機器 の決定について 外来診察変更(8月～) 病院機能評価受審について 看護必要度について 8月1日付辞令交付について 患者さまの声について その他 ・日野病院夕涼み会開催について(8/2) ・職員のコンプライアンスについて ・7月9日発生 of システム障害について(報告)

			・人工呼吸器の必要台数について ・災害発生時(交通規制等)のメール発信体制について
第90回	H25.8.23	7名	日野病院組合議会定例会の開催について(8/30) 病院機能評価受審について(9/12・13) 職員説明会の実施について(9/18・19) 9月1日付辞令交付について 患者さまの声について その他 ・倫理審査申請について
第91回	H25.9.20	7名	夜間(施錠時間)の体制について 基本理念・基本方針等の見直しについて 病院機能評価における講評について MRI検査依頼について(米子医療センター・博愛病院) 日野病院災害対策訓練の実施について(10/6) 10月1日付辞令交付について 患者さまの声について その他 ・整形外科(毎週水曜日)診察再開について ・皮膚科(毎週火曜日)診察について(11月～) ・土曜日休診の検討について ・インフルエンザ代金の決定について ・人工呼吸器台数について
第92回	H25.10.25	6名	日野病院組合議会定例会の開催について(11/22) 外来診察変更(11月～)・土曜日休診・透析の変更について 夜間管理(夜間施錠)に対する対応について 病院機能評価サーベイや指摘事項について 日野病院組合人事評価の実施について 平成24年度年報について インフルエンザ予防接種(職員含む)に実施について 地域医療学講座体験実習及び総合診療育成事業について 11月1日付辞令交付について 患者さまの声について その他 ・地域医療功労者知事表彰について ・金持開運ウォーキングの開催について(11/9)
第93回	H25.11.15	5名	平成26年度当初予算要求及び各部局活動計画について 日野病院職員表彰の推薦について 日野病院組合議会定例会の開催について(11/22) 12月1日付辞令交付について 患者さまの声について その他 ・職員互助会忘年会の開催について(12/14) ・日野病院クリスマスイベントの開催について(12/20)
第94回	H25.12.20	6名	土曜日休診に伴う対応予定について(平成26年4月～) 消費税率改正に伴う手数料等の改正について 負担金(地方交付税)の確定について 日野病院職員表彰の推薦について 奨学生の募集について 1月1日付辞令交付について 仕事納め式及び仕事始め式(辞令交付式)について 患者さまの声について その他 ・病院機能評価認定について(平成25年12月6日付) ・診療支援医師の派遣について(米子医療センター) ・死亡時の画像診断依頼について ・厚生局による施設基準等に係る適時調査結果について ・日野病院クリスマスイベントの開催について(12/20)
第95回	H26.1.24	7名	日野病院組合議会定例会について(2/27) 平成25年度決算見込み及び平成26年度当初予算状況について 医療機器購入検討委員会の結果について(平成26年度購入予定) 地域医療学による医療支援について(鳥取大学サテライトセンター) 2月1日付辞令交付について(臨床工学技士採用等) 仕事納め式及び仕事始め式(辞令交付式)について 患者さまの声について その他 ・平成26年度自治医科大学卒業医師の派遣について

			・臨床研修医の受入れについて ・平成26年度鳥取大学からの派遣医師の状況について ・「平成26年度診療報酬改定の概要と対策」研修会の参加について
第96回	H26.2.21	7名	日野病院組合議会定例会について(2/27) 2014診療報酬改定の対応について(研修会3/26) 日野病院職員表彰について 外来診察体制の変更について 4月1日付け人事異動について 3月1日付辞令交付について 患者さまの声について その他 ・感染症に罹患した職員の取扱について ・米子医療センターからの診療支援について ・子供予防接種週間の実施について(3/1～7) ・インシデント報告
第97回	H26.3.19	6名	3月31日及び4月1日付け辞令交付について 新入職員オリエンテーションの実施について(4/1) 外来診察の変更について(4月～) 鳥取大学サテライトセンターについて(地域医療学) 平成26年度各委員会及びワーキングの編成について 平成25年度部門別目標の評価及び平成26年度部門別目標の提出について 卒後臨床研修医及びスプリングセミナーの受入れについて 患者さまの声について その他 ・日野病院組合議会定例会(2/27開催)の結果について ・おしどりネット2について(4月～) ・セルフひののバザー中止について

(2)倫理委員会 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H25.4.19	7名	承認(2013-1) 終末期癌患者が抱えるトータルペインに対する訪問理学療法 の効果の検討
第2回	H25.7.31	7名	承認(2013-2) 手洗いに関する意識調査について
第3回	H25.10.25	6名	承認(2013-3) 両変形性足関節症に対する徒手理学療法
第4回	H25.12.20	6名	承認(2013-4) 足趾握力と変形性膝関節症に関する調査
第5回	H26.1.24	7名	承認(2013-5) 人工関節置換術前後の訪問リハビリ介入

2. 管理職会議 開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H25.4.24	11名	3月末経営概況について 3月分各種統計について 各種委員会の議事録について 5月1日付辞令交付について 研修医の受入について 平成24年度年報作成に係る委員会活動報告及び業績の入力について 平成25年度各委員会及びワーキングの編成について 平成24年度部門別目標の評価及び平成25年度部門別目標の提出について 病院機能評価自己評価調査票の入力及び提出について 患者様の声について 看護の日イベントについて 地域連携連絡会の開催について
第2回	H25.5.29	11名	4月末経営概況について 4月分各種統計について 各種委員会の議事録について 6月1日付辞令交付について 臨床実習の予定について（6/17～6/21） 平成24年度病院事業等の決算概要について 全館停電に対する対応について（6/2） 病院機能評価受審の日程について 総合診療内科診察日変更に伴う相談室の移動について 患者様の声について 鵜の池マラソンの開催について（6/9） 地域連携連絡会の開催について 地域医療を感じるシンポジウムの開催について（6/2） 時間内歩行試験の施設基準に係る届出の受理について
第3回	H25.6.26	11名	5月末経営概況について 5月分各種統計について 各種委員会の議事録について 7月1日付辞令交付について 平成24年度決算分析における各種統計数値について ドック健診時の胃透視の体制について 8月からの診察体制について 風疹予防接種の取扱いについて MRIの購入について 患者様の声について 職員の夏季休暇について 相談室の設置について
第4回	H25.7.31	9名	6月末経営概況について 6月分各種統計について 各種委員会の議事録について 8月1日付辞令交付について 日野病院組合議会臨時会の開催について 日野病院組合議会定例会の開催について 平成25年度医療施設等設備整備費補助金（へき地医療拠点病院に係る） 要望器機の決定について

			8月からの診察体制について 病院機能評価受審（9月12・13日）について 患者様の声について 日野病院夕涼み会開催（8／2）
第5回	H25.8.28	12名	7月末経営概況について 7月分各種統計について 各種委員会の議事録について 9月1日付辞令交付について 日野病院組合議会定例会の開催について 病院機能評価受審（9月12・13日）について 職員説明会の開催について 患者様の声について 病院機能評価受審（9月12・13日）について 患者様の声について MRI更新に伴う装置の使用停止について 人工呼吸器設置台数について
第6回	H25.9.25	11名	8月末経営概況について 8月分各種統計について 各種委員会の議事録について 10月1日付辞令交付について 夜間（夜間入口施錠時間）の体制について 基本理念・基本方針等の見直しについて 病院機能評価における講評について MRI検査依頼について（米子医療センター・博愛病院） 日野病院災害対策訓練の実施について 外来診察の変更について 患者様の声について 火曜日の人員配置について インフルエンザ予防接種について 各種監査について
第7回	H25.10.30	9名	9月末経営概況について 9月分各種統計について 各種委員会の議事録について 11月1日付辞令交付について 平成24年度年報作成に係る委員会活動報告等の入力について 日野病院組合議会定例会の開催について 夜間管理（夜間施錠）に対する対応について 人事評価の実施について インフルエンザ予防接種（職員含む）について 外来診察の変更について（11月～） 患者様の声について 鳥取県西部自治体病院看護研究発表会の案内 厚生局適時調査の指摘事項について チューリップの球根植えについて MRI導入報告 医療センター連絡委員会の出席報告
第8回	H25.11.28	11名	10月末経営概況について 10月分各種統計について 各種委員会の議事録について 12月1日付辞令交付について

			平成26年度当初予算要求について 日野病院組合議会定例会の開催について 患者様の声について 日野病院組合互助会忘年会の開催について 被ばく医療機関に係る資機材等について 医療監視について 医療安全委員会の議事録についての質問等 医療廃棄物、廃液の処理等について
第9回	H25.12.25	11名	1 1月末経営概況について 1 1月分各種統計について 各種委員会の議事録について 1月1日付辞令交付について 仕事納め・仕事始め式について 看護師育成奨学生募集について 病院機能評価の審査結果について 施設基準等に係る適時調査結果について 外来診察の変更について（4月～予定） 消費税率改正に伴う手数料等の改正について 患者さまの声について 死亡時画像診断依頼書の取扱について 看護実習講習について 看護宅配便の取材について
第10回	H26.1.29	11名	1 2月末経営概況について 1 2月分各種統計について 各種委員会の議事録について 2月1日付辞令交付について 自治医科大学卒業医師人事異動について 卒後臨床プログラム研修医の受入について 日野病院組合議会定例会について 平成25年度決算見込み及び平成26年度当初予算状況について 患者さまの声について 診療報酬改正の研修会の参加について 平成26年4月からの診療報酬改正について 医療機器購入検討委員会の結果について
第11回	H26.2.26	12名	1 月末経営概況について 1 月分各種統計について 各種委員会の議事録について 3月1日付辞令交付について 職員表彰について 卒後臨床プログラム研修医の受入について 日野病院組合議会定例会について 医師及び外来診療体制の変更について 患者さまの声について 感染症に罹患した職員の休暇等の取扱について
第12回	H26.3.27	10名	2 月末経営概況について 2 月分各種統計について 各種委員会の議事録について 3月31日及び4月1日付辞令交付について 職員表彰について 卒後臨床プログラム研修医の受入について

			新規採用職員オリエンテーションの実施について 医師及び外来診療体制の変更について 平成25年度部門別目標評価及び平成26年度部門別目標について 患者さまの声について 消費税率の改正について
--	--	--	--

(1) 病院機能評価受審委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H25.4.26	13名	自己評価票の説明について
第2回	H25.5.15	17名	訪問審査日の決定について 自己評価票の説明について
第3回	H25.5.24	9名	自己評価票の説明について
第4回	H25.6.14	18名	自己評価票の説明について
第5回	H25.7.11	19名	自己評価票の説明について
第6回	H25.7.26	15名	訪問審査で必要な書類一覧の配布 自己評価票の説明について
第7回	H25.8.16	14名	訪問審査日当日の役割等について
第8回	H25.8.23	13名	訪問審査日当日の役割等の確認について 訪問審査で準備する書類の確認について
第9回	H25.9.11	21名	訪問審査日当日の役割等の最終確認について 訪問審査で準備する書類の確認について
第10回	H25.11.5	14名	中間的な結果報告について

活動報告

平成25年9月12日（木）～13日（金） 病院機能評価受審
平成25年12月《認定》（平成25年12月6日付け財日医機評第629-12号の審査結果通知による）

4. 診療局会議

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H25.5.28	10名	薬剤管理室より電子カルテシステムに係る連絡事項について 救急搬送の依頼について
第2回	H25.6.25	12名	入院診療計画書に追加項目について 電子カルテ指示入力について
第3回	H25.7.23	9名	訪問看護計画書・報告書の確認について 水曜日のリハビリ受付について
第4回	H25.9.24	9名	インフルエンザ予防接種について 総合診療内科の患者数について 日南病院の小児科医退職に伴う連絡事項について
第5回	H25.10.29	11名	輸血委員会より感染症検査に係る連絡事項について 放射線室からMRI撮影本稼働に向けての連絡事項について インフルエンザ予防接種について 栄養管理計画書について（厚生局からの指摘あり） 臨床における倫理方針について（機能評価で指摘あり）
第6回	H25.11.26	10名	議会結果の報告（土曜休診等）について 検査室より新規採用項目について
第7回	H26.1.28	10名	医療機器購入について 人事異動について 診療報酬改訂について
第8回	H26.3.4	12名	検査室機器更新にかかる変更・検討事項について リハビリテーション室より言語聴覚士不在のお知らせ 国立病院機構、中山間地へ医療支援について
第9回	H26.4.22	10名	谷口教授より地域医療教育サテライトセンターについて レントゲンの廃棄処分について 地域連携連絡会の開催について 看護必要度について

5. 看護局運営会議

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H25.4.12	9名	平成25年度 看護局活動方針(スローガン・重点目標) 平成25年度 目標管理について 各委員会活動メンバー決定 各委員会から活動報告 慶弔規約の改定 病棟間のリリーフ体制について検討 「看護の日」イベントについて(5/10) 看護フェアについて(5/12) ホームページリニューアルについて
第2回	H25.5.31	8名	「看護の日」イベント終了報告 「鳥取県実践が活きる看護診断研究会」開催について 「第10回 鳥取県西部自治体病院看護研究発表会」開催について 各委員会活動報告 平成24年度 看護局会計報告・監査報告 平成25年度 各委員会活動報告発表
第3回	H25.6.28	8名	各委員会からの活動報告 病院業務委員会各ワーキングの活動報告 病院機能評価について
第4回	H25.7.12	7名	人事について(退職・復職) 各委員会からの活動報告 コンプライアンスについて 病院機能評価に向けての指導について 仮眠室のシーツ交換について
第5回	H25.8.9	7名	各委員会からの活動報告 病院業務委員会各ワーキングの活動報告 病院機能評価について 病棟間、当直者による入院患者食事介助について 看護局服務規程改定 病棟間リリーフ体制について 日当直者による食事介助依頼について
第6回	H25.9.20	6名	病院機能評価による評価につて 夜間施錠体制について 各委員会からの活動報告 病院業務委員会各ワーキングの活動報告 災害対策訓練について 医療監査・厚生局医療監視に向けて
第7回	H25.10.11	8名	各委員会活動報告 病院業務委員会各ワーキングの活動報告 米子北高専攻科1年生 老年看護実習 中間評価について
第8回	H25.11.8	8名	人事異動・嘱託職員の継続雇用の判定について 夜間施錠に伴う夜警業務、連絡体制取り決め事項の周知徹底 鳥取県実践が活きる看護診断研究会開催会について 第10回鳥取県西部自治体病院看護研究発表について 各委員会活動報告 病院業務委員会ワーキングの活動報告 人事評価について 看護局長面談について
第9回	H25.12.13	7名	雑誌「看護」の取材について

			各委員会活動報告 病院業務委員会各ワーキングの活動報告 看護管理者研修終了報告
第10回	H26.1.17	8名	人事について(臨床工学士採用による透析室リリース体制について) 雑誌「看護」の取材について 各委員会活動報告 病院業務委員会各ワーキングの活動報告 入院時の対応について 看護協会報告
第11回	H26.2.14	8名	人事評価について(定年退職・自己都合退職) 各委員会活動報告 病院業務委員会各ワーキングの活動報告
第12回	H26.3.7	11名	人事について(看護助手異動) 各委員会活動報告 病院業務委員会各ワーキングの活動報告 平成25年度 看護局成果報告会(各部署・各委員会) ・・・パワーポイントにてプレゼンテーション

活動報告

- ・平成25年度 看護局運営方針 スローガン:チームの仕事力で、信頼される看護の探求と実践
～気づく・応える・広げる～
- ・「看護の日」イベント:クヌギの木植樹祭(5/10)
- ・「看護の宅配便」取材:NHKTV東京(タドキネットワーク)5/21
- ・「看護の宅配便」毎月実施・・・雑誌「看護」6月号・3月号投稿
- ・看護局教育・研修プログラムの企画運営
- ・鳥大研修会参加(感染対策コース・褥創ケアコース・下肢救済コース・救急・災害コース・がん看護・緩和ケアコース)
- ・西部自治体病院看護部門懇談会(6月・9月・1月)
- ・鳥取県実践が活きる看護診断研究会(11/9)口演1題発表
- ・全国自治体病院学会:京都(10/17・18)ポスター1題発表
- ・第10回鳥取県西部自治体病院看護研究発表会(11/16)口演2題発表:当番病院
- ・看護体験実習(日野中4名:6/16～6/21)(日野高2名:6/11・12・14)看護サマーセミナー(日野高1名:8/7)
- ・看護専攻科臨地実習(米子北高看護専攻科1年生:7名7/16～8/2・10/15～11/1)
- ・米子北高看護専攻科「宣誓式」基調講演参加(5/9)
- ・学校訪問(米子北高3年生)
- ・病院機能評価訪問審査(9/12・13)
- ・中国厚生局医療監査(10/22)鳥取県医療監視(11/29)
- ・就職ガイダンス(3/15)
- ・鳥取県看護研究学会(3/8)口演1題発表
- ・ファーストレベル1名合格・セカンドレベル1名合格
- ・平成25年度看護局成果報告会(3/7)
- ・平成25年度看護局履修報告会(3/28)

(1)看護助手会議

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H25.5.23	7名	メンバー紹介(リーダー2名・新採用者) 平成25年度活動計画(教育計画)
第2回	H25.10.7	9名	研修会参加(松江:2名) 病院機能評価に向けて「看護助手マニュアル」作成 清拭タオルデモ施行
第3回	H26.2.3	7名	棚卸し(10/31)結果報告・次回2月に予定を検討

看護助手会議のあり方にて討議

活動報告

- ・寝具棚卸実施(10月・2月)
- ・研修会参加(口腔ケア・食事介助について、おむつについて)

(2) 外来業務委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H25.5.28	9名	各部署からの意見 患者満足度調査について 看護相談開始について
第2回	H25.6.25	7名	各部署からの意見 患者満足度調査アンケート(案)検討 外注検査の出し方について
第3回	H25.7.23	6名	各部署からの意見 患者満足度調査進行状況報告
第4回	H25.8.28	9名	各部署からの意見 患者満足度調査結果報告 訪問診察・看護の患者の予定外の処方時の対応について
第5回	H25.9.24	7名	各部署からの意見
第6回	H25.12.24	4名	各部署からの意見 インフルエンザの予防注射の流れ変更事項報告
第7回	H26.1.28	7名	各部署からの意見、報告
第8回	H26.3.25	6名	各部署からの意見、報告

活動報告

- * AIのガイドライン依頼
- * 患者満足度調査施行
- * 検査、放射線、などの基本票・患者の流れの改善(訪問看護患者など含む)
- * インフルエンザ予防接種の流れの改善(患者の注射後の観察場所、カルテの流れ)
- * 外来クラークの業務軽減(病棟での外注検査は病棟でスキャンする)
- * 外来業務委員会要綱の改訂(H26年度)

(3) 病棟運営委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H.25..6.12	6名	委員会運営方法について 前年度の課題申し送り(電子カルテ処置入力方法、診療局への入院時書類作成依頼) 各部署から連絡事項 その他(委員会要綱の見直しについて)
第2回	H.25.12.4	7名	委員会要綱の検討 看護必要度入力方法について 各部署彼連絡事項

			その他(データベース入力方法の一部変更について:院長より)
第3回	H.26.2.5	9名	病棟運営委員会要綱について(最終版) 各部署から連絡事項 その他

活動報告

- * 病棟業務委員会要綱の改訂(平成26年2月5日)
- * 電子カルテにおけるコスト入力漏れ防止・及び看護必要度入力方法の取り決め

(4)手術室運営委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	手術の為 議事配布		平成25年4月手術室使用状況報告、器材購入・修理等報告、手指細菌培養検査協力依頼、研修会・学会参加報告
第2回	H25.6.20	10名	平成25年5月手術室使用状況報告、器材購入・修理等報告、手指細菌培養検査結果報告、研修会・学会参加報告、SUD再滅菌について、アイシールド・アイソレーションガウン着用について、白内障手術時の挿入レンズ変更について
第3回	手術の為 議事配布		平成25年6月手術室使用状況報告、器材購入・修理等報告
第4回	H25.8.22	8名	平成25年7月手術室使用状況報告、器材購入・修理等報告、第2手術室温度センサー故障について
第5回	H25.9.19	8名	平成25年8月手術室使用状況報告、器材購入・修理等報告、研修会・学会参加報告、病院機能評価受審について、吸引排液の凝固処理について
第6回	手術の為 議事配布		平成25年9月手術室使用状況報告、器材購入・修理等報告、研修会・学会参加報告
第7回	H25.11.21	7名	平成25年10月手術室使用状況報告、器材購入・修理等報告、年末年始の勤務について、手術室リリーフ体制について、緊急手術連絡網改正について
第8回	H25.12.19	7名	平成25年11月手術室使用状況報告、器材購入・修理等報告、研修会・学会参加報告、お迎え入室について、病理組織検討会
第9回	H26.1.16	7名	平成25年12月手術室使用状況報告、器材購入・修理等報告、研修会・学会参加報告、患者満足度調査・職員満足度調査協力について
第10回	H26.2.20	8名	平成26年1月手術室使用状況報告、器材購入・修理等報告、研修会・学会参加報告、環境モニタリング結果報告
第11回	手術の為 議事配布		平成26年2月手術室使用状況報告、器材購入・修理等報告、研修会・学会参加報告
第12回	H26.4.17	7名	平成26年3月手術室使用状況報告、器材購入・修理等報告、研修会・学会参加報告、鳥取大学医学部付属病院手術室オープンスクール参加について

活動報告

- ・体温センサー付バルーンカテーテル導入(平成25年8月～)
- ・病院機能評価受審(平成25年9月)
- ・ディスポ吸引器導入(平成25年12月～)
- ・お迎え入室導入(平成26年1月～)
- ・病棟との術前申し合わせ開始(平成26年1月～)
- ・眼科手術時入室方法変更(平成26年1月～)

(5)透析室運営委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H25.5.29	5名	HD室の業務内容確認・今年度の目標について・感染症検査についての確認・救急カートについて
第2回	H25.6.19	10名	HD室の感染対策について・業務改善について(穿刺針・感染者対応マニュアル・回収時の血液破棄について)
第3回	H25.8.9	5名	HD室の感染対策について・安全機能付き穿刺針採用について・自動プライミング廃止について
第4回	H25.11.7	6名	HD患者の移動について・業務改善について・年末年始の対応について
第5回	H26.1.28	9名	臨床工学技士の配置について・業務改善について・新規導入者について

活動報告

- * 患者の感染症検査実施(年1回は施行)
- * 救急カートの設置(薬品の選定)
- * 感染対策・・・抜針時、エプロン・フェイスシールドマスク着用
- * 穿刺針の変更・・・安全機能付き採用
- * HD室内のスリッパの廃止
- * HD患者配置変更・・・Nsの外来リリースに伴い、火曜のHD廃止
- * 業務改善・・・自動プライミングを補助プライミングに変更・血液回路の変更(カンシ使用を減らす)
- * 臨床工学技士の採用・・・Nsの配置を減らす

6. 医療技術局会議

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H25.4.25	5名	各部署からの報告・管理職会議の報告・平成24年度各WGのまとめ
第2回	H25.5.30	5名	各部署からの報告・管理職会議の報告・病院機能評価受審について
第3回	H25.6.27	6名	各部署からの報告・管理職会議の報告
第4回	H25.8.1	5名	各部署からの報告・管理職会議の報告・病院機能評価受審について
第5回	H25.8.29	5名	各部署からの報告・管理職会議の報告、職員説明会の開催について
第6回	H25.9.26	6名	各部署からの報告・管理職会議の報告、災害対策訓練、医療監視について
第7回	H25.10.31	6名	各部署からの報告・管理職会議の報告、人事評価について
第8回	H25.11.28	5名	各部署からの報告・管理職会議の報告、26年度予算要求について
第9回	H25.12.26	6名	各部署からの報告・管理職会議の報告、病院機能評価審査結果について
第10回	H26.1.30	6名	各部署からの報告・管理職会議の報告、高額医療機器の購入について
第11回	H26.2.27	5名	各部署からの報告・管理職会議の報告、外来診療体制の変更につて
第12回	H26.3.28	5名	各部署からの報告・管理職会議の報告、外来診療体制の変更について

活動報告

- ・医療技術局内の医療機器の整備について各部門から意見を聞き整備を実施した
- ・平成26年2月より臨床工学士が採用になり臨床工学室が増設となった
- ・主に透析室にて業務に当たる、その他医療機器の管理業務も担当することとなった

(1) 検査室運営委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H25.5.30	6名	委員会要綱の確認 平成24年度の反省並びに平成25年度部門目標について
第2回	H25.8.22	7名	メーカー(協和メディクス)精度管理調査結果について 臨床検査室からの連絡・要望について マイコプラズマ抗原院内検査採用について
第3回	H25.11.22	6名	新規採用検査項目について インフルエンザ検査について 検査機器更新について
第4回	H26.2.21	7名	検査機器更新に伴う連絡事項について オーダーの追加について

活動報告

- ・マニュアルの見直し
- ・新規採用検査項目の検討
- ・外部精度管理調査参加
- ・技師会主催研修会参加

7. 地域連携推進委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H25.5.23	14名	(1)平成25年度の取り組みについて (2)おしどりネット2について (3)退院時必要書類について (4)手術予定表の様式変更について
第2回	H25.6.27	8名	(1)他施設間連携について (2)おしどりネット2について (3)前方連携統計見直し (4)訪問看護報告書の運用改善 (5)退院支援チェックシートの活用について
第3回	H25.7.25	5名	(1)他施設間連携について (2)退院支援チェックシートの活用について
第4回	H25.8.29	6名	(1)他施設間連携について (2)MRI利用停止期間の他医療機関連携について
第5回	H25.11.27	7名	(1)平成25年度在宅医療推進事業について

活動報告

- ・退院支援チェックシートの見直し
- ・在宅医療推進事業への取り組み
「中山間地域における服薬アドヒアランス向上への在宅連携支援」の実施
- ・退院時必要書類の見直し

8. 輸血委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H25.5.27	6名	・血液製剤使用状況 ・自己血採血手順書作成 ・平成25年度の目標について
第2回	H25.7.29	5名	・血液製剤使用状況 ・輸血マニュアルの整備
第3回	H25.10.10	6名	・血液製剤使用状況 ・機能評価指摘事項と今後の取り組みについて
第4回	H25.11.25	8名	・血液製剤使用状況 ・日赤からのお知らせ ・輸血前後感染症検査について
第5回	H26.2.24	8名	・血液製剤使用状況 ・献血後情報に基づく遡及調査の情報提供について ・輸血前後感染症検査について

活動報告

- ・血液製剤適正使用(廃棄)について検討
- ・マニュアルの見直し
- ・輸血合同会議参加
- ・輸血検査講習会参加

9. 物流委員会

(1) 薬事審議委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H25.4.23	6名	3月、4月新規採用薬、4月採用中止薬の報告。 (薬局より) ルネスタ長期投与可能。
第2回	H25.5.28	7名	4月採用薬の報告。 (薬局より) 外来処方90日までしか投与できません。
第3回	H25.8.28	6名	7月、8月採用薬の報告。 (薬局より) 処方日数の制限は西部地区の他医療機関と同様91日分に変更。 プロルモンは製造中止。
第4回	H25.11.20	7名	9月、11月、12月採用薬の報告。 (薬局より) レンドルミンは口腔内崩壊錠に変更。 シーパラ注: 使用実績ないため採用中止。 硫酸アミカシン注: 100mg、200mgの2規格の採用だったが使用頻度が少ないため100mg/アンプルのみとし、200mgは採用中止。
第5回	H26.1.28	6名	12月採用薬の報告。 (薬局より) シーブリ、アミティーザは12月より長期投与可能。

(2) SPD委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H25.5.13	7名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 新規材料採用報告 診療材料切替検討
第2回	H25.6.10	7名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 新規材料採用報告 診療材料切替検討
第3回	H25.7.8	6名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 新規材料採用報告 診療材料切替検討
第4回	H25.8.12	7名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 新規材料採用報告 診療材料切替検討
第5回	H25.9.9	7名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 新規材料採用報告 診療材料切替検討
第6回	H25.10.7	7名	診療材料使用状況報告 定数変更報告

			新規材料採用報告 診療材料切替検討
第7回	H25.11.11	7名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 新規材料採用報告 診療材料切替検討
第8回	H25.12.9	7名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 新規材料採用報告 診療材料切替検討
第9回	H26.1.20	7名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 新規材料採用報告 診療材料切替検討
第10回	H26.2.10	6名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 新規材料採用報告 診療材料切替検討
第11回	H26.3.10	7名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 新規材料採用報告 診療材料切替検討
第12回	H26.4.14	6名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 新規材料採用報告 診療材料切替検討

(3)委託業者連絡委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H25.5.14	8名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第2回	H25.6.11	10名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第3回	H25.7.9	10名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第4回	H25.8.13	5名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第5回	H25.9.10	7名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第6回	H25.10.8	8名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第7回	H25.11.12	9名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第8回	H25.12.10	7名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第9回	H26.1.14	7名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討

第10回	H26.2.18	5名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第11回	H26.3.11	7名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第12回	H26.4.8	8名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討

11. 経営企画委員会

(1) クリニカルパス委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H.25.5.9	5名	・委員会開催・運営方法について ・今年度活動目標について
第2回	H.25.7.10	8名	・電子カルテパス作成・操作説明会:職員参加17人 (看護局:12人、診療技術:4人、事務:1人)

活動報告

・電子カルテパス作成・操作方法説明会

(2) 栄養管理委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H25.5.22	12名	・胃瘻患者のとろみ栄養について ・下膳車の時間のお願いについて ・第11回日野郡栄養士地域連携会議の報告 ・患者さんからの退院時の声
第2回	H25.8.7	11名	・バックタイプの濃厚流動食について ・夏場のお茶について ・嗜好調査実施報告について ・給食エレベーター工事について ・食中毒警報について ・第12回日野郡栄養士地域連携会議の報告 ・患者さんからの退院時の声
第3回	H25.11.20	12名	・バックタイプの濃厚流動食について ・シリンジについて ・機能評価・施設基準・医療監視での報告 ・第13回日野郡栄養士地域連携会議の報告 ・患者さんからの退院時の声
第4回	H26.2.5	10名	・バックタイプの濃厚流動食について ・ノロウイルスについて ・胃瘻患者のとろみ栄養について ・透析患者・訪問栄養指導増加の依頼について ・第14回日野郡栄養士地域連携会議開催予定の報告 ・患者さんからの退院時の声

活動報告

- ・院内栄養士会議を毎週開催し、入院患者の食事内容・残食量等を検討。
- ・新入院患者全員の栄養スクリーニングを行い、多職種で栄養状態を検討。
- ・日本病態栄養学会、日本静脈経腸栄養学会、栄養士会主催研修会、各種栄養関連研修会等への参加。
- ・第12回、第13回、第14回日野郡栄養士地域連携会議を開催
 - 第12回:出席者…4施設 8名
内容…バックタイプの濃厚流動食について、各施設の好評献立の紹介、DVD鑑賞、情報交換他。
 - 第13回:出席者…10施設14名
内容…炊き出し訓練について、とろみあんかけの現状と検討、症例検討、各施設の好評献立の紹介、情報交換他。
講演:「日野病院の栄養管理の現状について」
 - 第14回:出席者…5施設10名(場所:倶楽部ハウス 食事会を兼ねて)
内容…備蓄について、濃厚流動バックタイプについて、各施設の好評献立の紹介、情報交換他。

(3)がん研究及び対策委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H25.5.20	19名	平成25年度の取り組みについて
第2回	H25.6.17	15名	研究発表:「緩和ケアと在宅医療」 松波 馨士
第3回	H25.7.22	10名	研究発表:「緩和ケアの症状マネジメントについて」 山本 直子
第4回	H25.8.9	60名	講演:「死を看取る」岡本 愛 鳥取大学医学部附属病院よりがん看護認定看護師を招待し、全体研修会を開催。
第5回	H25.9.30	10名	研究発表:「MQOLを用いたがん患者への訪問リハビリ介入効果について」 田中 武志
第6回	H25.10.28	8名	研究発表:「がんに関する医療と介護」 山口 浩一
第7回	H25.11.25	10名	研究発表:「自宅退院後の末期がん患者のリハビリを担当して」 利重 弓子
第8回	H25.12.16	12名	研究発表:「症例発表」 2階病棟
第9回	H26.1.27	11名	研究発表:「がんと栄養」 仲石 康子
第10回	H26.2.24	8名	研究発表:「看取り症例発表」 影山 光恵

活動報告

- ・日本がん治療学会:研究発表 山本 直子
- ・日本緩和医療学会:研究発表 松波 馨士
- ・院外講師による全体勉強会の開催:「死を看取る」岡本愛先生(鳥取大学医学部附属病院 がん認定看護師)

12. 医療安全管理委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者人数	内容
第1回	H25.5.16	7名	・H25.4月ヒヤリハットレポート集計結果報告（資料参照） ・事例共有（3例） ・H24年度委員会目標の評価 ・H24年度ヒヤリハット事例に対する改善点・対策等のまとめ ・H25年度委員会目標について ・「医療事故防止対策マニュアルの作成及び改訂手順書」作成の報告
第2回	H25.6.20	7名	・H25.5月ヒヤリハットレポート集計結果報告（資料参照） ・事例共有（3例） ・事例分析（2Fより報告） ・「ドレーンチューブ管理アセスメントスコアシート」について ・各ワーキング今年度の具体的 な行動目標について ・「医療事故が起きたら」のファイル作成し各部署配布 ・今年度医療安全必須研修会の開催月について ・環境ラウンド日程及び内容について ・各ワーキングからの報告
第3回	H25.7.18	8名	・H25.6月ヒヤリハットレポート集計結果報告（資料参照） ・第14回山陰リスクマネジメント研究会（6/30）参加者と内容の報告 ・医療安全必須研修会（7/16）の報告・・・参加者65人・振り返り用紙集計結果 ・各ワーキングからの報告 ・事例共有（4例）
第4回	H25.8.21	9名	・H25.7月ヒヤリハットレポート集計結果報告（資料参照） ・事例共有（2例） ・医療安全環境ラウンド実施報告及び検討（資料参照） ・全国自治体病院協議会医療安全管理者養成研修会第1回専門コースのお知らせ ・単回使用器材（SUD）の再使用について ・各ワーキングからの報告
第5回	H25.9.18	6名	・H25.8月ヒヤリハットレポート集計結果報告（資料参照） ・事例共有（5例） ・医療安全振り返り用紙集計結果 ・医療安全ニュース第1号発行～当院の最新情報～ ・病院機能評価受審後指摘事項等 ・医療事故等報告書の提出基準について
第6回	H25.10.16	9名	・H25.9月ヒヤリハットレポート集計結果報告（資料参照） ・事例共有（4例） ・病院機能評価指摘事項医療安全に関する項目について検討 ・「医療事故等報告書」の提出基準について ・各ワーキングからの報告
第7回	H25.11.20	8名	・H25.10月ヒヤリハットレポート集計結果報告（資料参照） ・事例共有（1例） ・「MRI検査の安全管理」についての研修会報告 ・厚生局医療監視指摘事項について ・MRI検査時の問診票について ・院外研修会のお知らせ ・各ワーキングからの報告
第8回	H25.12.18	7名	・H25.11月ヒヤリハットレポート集計結果報告（資料参照） ・事例共有（2例） ・事例分析報告（2Fより） ・医療監視指摘事項について ・全国自治体病院協議会「医療安全管理者養成研修会」第3回専門コースについて ・各ワーキングからの報告
第9回	H26.1.22	8名	・H25.12月ヒヤリハットレポート集計結果報告（資料参照） ・事例共有（2例） ・「医療事故等報告書」提出後は翌月委員会で発生部署から報告を受ける事を取り決め ・医療事故防止対策マニュアル一部改訂し差し替えの報告 ・院内医療安全必須研修会（薬剤関係）について ・各ワーキングからの報告
第10回	H26.2.19	9名	・H26.1月ヒヤリハットレポート集計結果報告（資料参照） ・事例報告（3例） ・院内必須研修会参加人数その他の報告 ・各ワーキングからの報告
第11回	H26.3.19	5名	・H26.2月ヒヤリハットレポート集計結果報告（資料参照） ・事例報告（4例） ・「医療事故等報告書」事例の経過報告 ・各ワーキングからの報告 ・入院患者の服薬確認ケースの使用方法について
第12回	H26.4.16	8名	・H26. 3月ヒヤリハットレポート集計結果報告（資料参照） ・事例共有（6例） ・各ワーキングからの報告

活動報告

- * 毎月の委員会開催
- * ヒヤリハットレポート提出啓蒙及び事例共有し対策、改善策等の検討
- * 「医療安全防止対策マニュアル」の見直しと新規作成
- * 毎月インシデント報告書の集計・委員会での報告及び情報公開
- * 啓蒙ポスター発行（3回/年） * 環境ラウンド(1回/年) 指摘項目の改善
- * 医療安全必須研修会開催(4回/年)
- * 院外研修会参加(山陰リスクマネジメント研究会・日本リスクマネジメント学会)
- * 監査指摘事項の検討及び改善策

(1)医療機器安全管理委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
			医療安全管理委員会に併せて開催

活動報告

- ・医療機器台帳の更新実施
- ・輸液ポンプの点検実施(6台)

13. 院内感染対策委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H25.5.8	9名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス、平成24年度評価・25年度目標、鳥インフルエンザなど
第2回	H25.6.12	10名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス、鳥インフルエンザ、研修会報告、研修会について
第3回	H25.7.10	10名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス、平成24年度分離菌・感受性、機能評価、職員抗体保有率など
第4回	H25.8.7	11名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス、合同カンファレンス、白兔ネット、研修会案内など
第5回	H25.9.4	12名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス、鳥取県抗菌薬サーベイランス、機能評価など
第6回	H25.10.9	12名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス、機能評価、研修会案内など
第7回	H25.11.13	10名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス、機能評価、厚生局適時調査、医療監視など
第8回	H25.12.11	10名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス、医療監視、研修会報告など
第9回	H26.1.8	9名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス、インフルエンザ流行状況、個人防護具購入など
第10回	H26.2.12	10名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス、針刺し事故、HIV予防薬、合同カンファレンス、研修会報告など
第11回	H26.3.12	11名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス、インフルエンザ、環境感染学会報告、手指衛生サーベイランスなど
第12回	H26.4.9	12名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス、アウトブレイク対応、平成25年度評・26年度目標など

(1)ICT委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H25.5.31	7名	要綱、ICT業務と担当者、リンクナースよりなど
第2回	H25.6.21	8名	ICTラウンド、合同カンファレンス、リンクナースよりなど
第3回	H25.8.2	6名	ICTラウンド、院内研修会、リンクナースよりなど
第4回	H25.10.11	4名	ICTラウンド、院内研修会、リンクナースよりなど

14. 労働安全衛生委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H25.5.28	5名	年間行事スケジュール及び目標について
第2回	H25.6.25	5名	職員健康診断要再検査受診結果について
第3回	H25.7.24	5名	職員健康診断要再検査状況等について
第4回	H25.8.30	5名	職員健康診断要再検査状況等について
第5回	H25.9.30	5名	特定従事者健康診断について 機能評価での指摘事項について
第6回	H25.10.29	5名	特定従事者健康診断について
第7回	H25.11.26	7名	特定従事者健康診断について
第8回	H26.1.14	3名	職員インフルエンザについて 特定従事者健診の再検査催促について
第9回	H26.1.30	5名	安全パトロール 健康診断結果報告書の提出について
第10回	H26.3.6	2名	職員健康診断について
第11回	H26.4.3	3名	職員健康診断について 安全衛生管理活動計画書について
第12回	H26.4.28	3名	委員会目標に対する評価について 職員健康診断について

活動報告

- ・ 職員定期健康診断(4月)
- ・ ストレス度調査(4月)
- ・ 院内安全衛生パトロール(1月)
- ・ 特定業務従事者検診(10月)
- ・ 職員インフルエンザ予防接種(11月～12月)

16. サービス推進委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H25.5.14	19名	委員会の開催方法について 平成25年度活動計画及び各事業(イベント関係・広報関係)の担当者について
第2回	H25.6.6	10名	前回議事録確認 協議・報告 イベント関係について(5/28開催) ホームページ・広報関係について
第3回	H25.7.4	15名	前回議事録確認 協議・報告 イベント関係について ホームページ・広報関係について その他 セタ飾りつけ
第4回	H25.8.1	16名	前回議事録確認 協議・報告 イベント関係について(7/11開催) ホームページ・広報関係について(7/19開催)
第5回	H25.9.5	13名	前回議事録確認 協議・報告 イベント関係について(8/2開催) ホームページ・広報関係について
第6回	H25.10.3	11名	前回議事録確認 協議・報告 イベント関係について ホームページ・広報関係について
第7回	H25.11.7	12名	前回議事録確認 協議・報告 イベント関係について(10/17開催) ホームページ・広報関係について
第8回	H25.12.6	11名	前回議事録確認 協議・報告 イベント関係について(11/28開催) ホームページ・広報関係について(11/15開催)
第9回	H26.1.9	9名	前回議事録確認 協議・報告 イベント関係について ホームページ・広報関係について
第10回	H26.2.6	8名	前回議事録確認 協議・報告 イベント関係について(1/9開催) ホームページ・広報関係について
第11回	H26.3.6	10名	前回議事録確認 協議・報告 イベント関係について ホームページ・広報関係について
第12回	H26.4.3	12名	前回議事録確認 協議・報告 イベント関係について(4/3開催) ホームページ・広報関係について(3/14開催) その他 活動報告まとめ依頼 ひな祭り片づけ

活動報告

イベント関係

夕涼み会
 クリスマス会
 看護の日イベント
 飾りつけ
 セタの飾り
 クリスマス
 お正月
 ひな祭り
 鯉のぼり

8月2日 バザー・喫茶コーナー・踊り・ヨーヨー・など
 12月20日 トーンチャイム・ミュージカル・ジャズコンサート
 5月14日 えんどうまめさんによるイベント・踊り・各種ブース等

(1) 広報関係

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H25.7.19	3名	せせらぎ48号(平成25年9月発行)の原稿について
第2回	H25.11.15	5名	せせらぎ49号(平成26年1月発行)の原稿について
第3回	H26.3.14	4名	せせらぎ50号(平成26年5月発行)の原稿について

活動報告

随時：ホームページ更新

5月：せせらぎ47号発行
日野町広報5月号(薬の飲み方Q&Aについて)

6月：日野町広報6月号(看護相談コーナーについて)

7月：日野町広報7月号(整形外科診察変更のお知らせ・夕涼み会のご案内)

8月：日野町広報8月号(新卒看護師募集について)

9月：せせらぎ48号発行
日野町広報9月号(管理者あいさつ)

10月：日野町広報10月号(インフルエンザ予防接種について)

11月：日野町広報11月号(クリスマスイベントのご案内)

12月：日野町広報12月号(年末年始の休診について)

1月：せせらぎ49号発行
日野町広報1月号(看護師育成奨学金について)

2月：日野町広報2月号(インフルエンザ・ノロウィルスについて)

3月：日野町広報3月号(外来診療医師変更について)

4月：せせらぎ臨時号発行
日野町広報4月号(看護の日イベントのお知らせ)

17. 接遇向上委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H25.5.29	7名	平成25年度年間スケジュールと目標の立案
第2回	H25.7.22	4名	全職員接遇研修についての打ち合わせ、上半期接遇ポスター(啓蒙のため)についての打ち合わせ
第3回	H25.9.24	7名	全職員接遇研修のまとめと反省、下半期接遇ポスター(2回目)についての打ち合わせ

活動報告

- ・全職員接遇研修会開催(平成25年8月26日・27日)
- ・演題: 医療接遇の基礎と実践
- ・目的: 接遇意識の向上、接遇の基礎力向上

18. 教育研修委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H25.5.9	11名	平成25年度教育研修委員会要綱・目標の検討、年間スケジュール立案
第2回	H25.6.13	11名	BLS講習会報告、医療安全管理委員会主催研修会への準備打ち合わせ
第3回	H25.7.11	10名	医療安全管理委員会主催研修会、接遇向上委員会主催研修会への準備打ち合わせ
第4回	H25.8.8	11名	医療安全管理委員会主催研修会不参加者への対応検討、接遇向上研修会・第2回医療安全管理委員会主催研修会への準備打ち合わせ、BLS講習会報告
第5回	H25.10.10	11名	病院機能評価からの課題検討(医の倫理研修会開催に向けた検討)
第6回	H25.11.14	11名	院内感染対策研修会への準備打ち合わせ、院内感染対策研修会参加者増加に向けた検討
第7回	H25.12.12	11名	院内感染対策研修会不参加者への対応検討、来年度予算の検討
第8回	H26.1.16	10名	医療安全管理委員会主催研修会への準備打ち合わせ、人権研修会の開催時期延期の検討
第9回	H26.3.20	10名	人権研修会の開催報告・反省
第10回	H26.4.11	10名	年間を通じての反省

活動報告

平成25年度第1回教育研修委員会にて決定された年間研修スケジュールは、予定通り開催できた。

平成25年度の主な活動内容としては

- ①年間研修スケジュールの企画
- ②職員への研修会開催日のアナウンス
- ③各委員会が企画した主催研修会のマネージメント(必須研修会が同じ月に集中しないよう調整)
- ④研修会場の設営・撤収協力
- ⑤必須研修会不参加者へのレポート提出要請および回収
- ⑥医療の倫理研修会開催に向けた準備

平成25年度 院内研修会実施状況

開催年月日	研修会名	講師等	参加人数
H25.4.1	平成25年度新規採用職員オリエンテーション ①組織について ②服務・勤務条件について ③接遇について ④感染対策について ⑤医療安全対策について ⑥公務員の心得について	事務局長 生田 哲二 総務課係長 小川 勝 看護局長 小村 裕美子 主任臨床検査技師 長尾 孝夫 看護師長 竹永 真由美 総務課長 頭本 保人	11名
H25.6.7	BLS講習会	江府消防署員 病院BLSチームスタッフ	4名
H25.7.16	医療安全管理研修会 『注目されている医療安全』	田辺三菱株式会社 大江 和人 氏	62名
H25.7.26	BLS講習会	江府消防署員 病院BLSチームスタッフ	5名
H25.8.25 H25.8.26	接遇研修会 『医療接遇の基礎と実践』	第一三共株式会社 小山 克義 氏	92名
H25.8.30	医療安全管理研修会 『医療用ガス取り扱い講習』	山陰酸素工業株式会社	54名
H25.9.18 H25.9.19	平成25年度職員説明会 ①決算状況について ②基本理念等について ③個人情報取扱規程について 他	事務局長 生田 哲二 医事課長 川上 靖 総務課長 頭本 保人	90名
H25.9.20	BLS講習会	江府消防署員 病院BLSチームスタッフ	6名
H25.9.26	院内感染対策研修会 『予防接種とワクチンについて』	田辺三菱製薬株式会社	64名
H25.10.23	医療安全管理研修会 『MR検査の安全管理』	GEヘルスケア・ジャパン株式会社	60名
H25.11.15	BLS講習会	江府消防署員 病院BLSチームスタッフ	5名
H25.12.5	院内感染対策研修会 『手指衛生の重要性』	サラヤ株式会社	66名
H26.1.24	BLS講習会	江府消防署員 病院BLSチームスタッフ	6名
H26.2.7	医療安全管理研修会 『医薬品の研修会』	主任薬剤師 山本 直子	70名
H26.3.4	BLS講習会	江府消防署員 病院BLSチームスタッフ	6名
H26.3.3 ～ H26.3.7	人権研修会	DVD研修	108名

19. 災害対策委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H25.5.27	7名	平成24年度反省及び平成25年度目標について 全館一斉停電について
第2回	H25.6.24	8名	全館一斉停電時点検における問題点等の確認について 今年度の災害対策訓練について
第3回	H25.7.29	7名	災害対策訓練実施要領について 災害時情報提供について
第4回	H25.8.29	9名	災害対策訓練実施要領について
第5回	H25.9.24	9名	災害対策訓練実施要領について
第6回	H25.10.28	8名	災害対策訓練について 訓練時における反省点、改善点について
第7回	H25.11.25	8名	チェックシートについて 平成26年度予算要求について 夜間時施錠に関する職員周知について

活動報告

・H25.6.2 全館一斉停電時における院内点検 ・H25.10.6 災害対策訓練実施
--

2、統計

患者統計

I. 外来患者数統計

1.地域別統計

(人)

区 分	総数	日野町	日南町	江府町	伯耆町	他県内	新見市	真庭市	新庄村	他県外
患者数(人)	4,872	2,128	901	1,036	271	135	187	2	50	162
構成比(%)	100.0	43.7	18.5	21.3	5.6	2.8	3.8	0.0	1.0	3.3

2.年齢階層別統計

(人)

区 分	総数	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
男	2,128	0	59	75	95	72	72	115	134	249	175	198	186	197	257	165	79
女	2,744	3	62	78	108	67	95	101	134	221	172	235	248	314	367	304	235
計	4,872	3	121	153	203	139	167	216	268	470	347	433	434	511	624	469	314
構成比(%)	100.0	0.1	2.5	3.1	4.2	2.9	3.4	4.4	5.5	9.6	7.1	8.9	8.9	10.5	12.8	9.6	6.4

※ 実患者数(同一人が何度通院・入院しても1人)による

II. 入院患者数統計

1.地域別統計

(人)

区 分	総数	日野町	日南町	江府町	伯耆町	他県内	新見市	真庭市	新庄村	他県外
患者数(人)	719	297	114	195	58	11	30	0	1	13
構成比(%)	100.0	41.3	15.9	27.1	8.1	1.5	4.2	0.0	0.1	1.8

※ 実患者数(同一人が何度通院・入院しても1人)による

2.診療科別・年齢階層別・入退院暦数

(人)

		総数	構成比(%)	平均年齢	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
総数	計	841	100.0	78.0	—	—	1	5	9	6	12	44	64	44	58	120	171	161	146
	男	349	41.5	73.8	—	—	1	4	6	5	7	25	42	24	25	57	61	57	35
	女	492	58.5	80.9	—	—	—	1	3	1	5	19	22	20	33	63	110	104	111
構成比(%)	計	100.0			—	—	0.1	0.6	1.1	0.7	1.4	5.2	7.6	5.2	6.9	14.3	20.3	19.1	17.4
	男	100.0			—	—	0.3	1.1	1.7	1.4	2.0	7.2	12.0	6.9	7.2	16.3	17.5	16.3	10.0
	女	100.0			—	—	—	0.2	0.6	0.2	1.0	3.9	4.5	4.1	6.7	12.8	22.4	21.1	22.6
内科	計	456	54.2	79.9	—	—	—	1	5	5	8	19	29	18	23	57	78	114	99
	男	194	55.6	76.7	—	—	—	1	2	4	3	7	21	11	13	32	33	42	25
	女	262	53.3	82.3	—	—	—	—	3	1	5	12	8	7	10	25	45	72	74
外科	計	86	10.2	73.9	—	—	—	1	1	—	4	6	11	6	7	13	14	10	13
	男	52	14.9	70.7	—	—	—	—	1	—	4	5	10	2	5	8	10	2	5
	女	34	6.9	78.8	—	—	—	1	—	—	—	1	1	4	2	5	4	8	8
整形外科	計	231	27.5	76.2	—	—	1	2	3	1	—	18	17	15	20	36	59	29	30
	男	76	21.8	68.3	—	—	1	2	3	1	—	13	10	7	3	11	12	8	5
	女	155	31.5	80.0	—	—	—	—	—	—	—	5	7	8	17	25	47	21	25
眼科	計	67	8.0	77.3	—	—	—	—	—	—	—	1	7	5	8	14	20	8	4
	男	26	7.4	77.3	—	—	—	—	—	—	—	—	1	4	4	6	6	5	—
	女	41	8.3	77.3	—	—	—	—	—	—	—	1	6	1	4	8	14	3	4
小児科	計	1	0.1	15.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	15.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

3.診療科別・在院期間別・入退院暦数

(人)

		総数	構成比 (%)	延べ在 院日数	平均在 院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1 年	1-2年	2年-
総数	計	841	100.0	24,030	28.6	226	136	144	85	165	50	27	7	—	1
	男	349	41.5	9,821	28.1	106	60	58	32	68	9	11	4	—	1
	女	492	58.5	14,209	28.9	120	76	86	53	97	41	16	3	—	—
構成比 (%)	計	100.0				26.9	16.2	17.1	10.1	19.6	5.9	3.2	0.8	—	0.1
	男	100.0				30.4	17.2	16.6	9.2	19.5	2.6	3.2	1.1	—	0
	女	100.0				24.4	15.4	17.5	10.8	19.7	8.3	3.3	0.6	—	—
内科	計	456	54.2	13,435	29.5	152	73	56	40	86	23	21	4	—	1
	男	194	55.6	5,939	30.6	69	32	22	16	38	5	9	2	—	1
	女	262	53.3	7,496	28.6	83	41	34	24	48	18	12	2	—	—
外科	計	86	10.2	2,338	27.2	27	18	10	5	16	7	2	1	—	—
	男	52	14.9	1,342	25.8	18	12	6	2	10	2	1	1	—	—
	女	34	6.9	996	29.3	9	6	4	3	6	5	1	—	—	—
整形外科	計	231	27.5	7,144	30.9	45	33	29	36	62	20	4	2	—	—
	男	76	21.8	2,098	27.6	18	10	11	14	19	2	1	1	—	—
	女	155	31.5	5,046	32.6	27	23	18	22	43	18	3	1	—	—
眼科	計	67	8.0	1,110	16.6	1	12	49	4	1	—	—	—	—	—
	男	26	7.4	439	16.9	—	6	19	—	1	—	—	—	—	—
	女	41	8.3	671	16.4	1	6	30	4	—	—	—	—	—	—
小児科	計	1	0.1	3	3.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	3	3.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

4.診療科別・退院月別・入退院暦数

(人)

		総数	構成比 (%)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	死亡	剖検
総数	計	841	100.0	69	79	61	88	74	64	71	73	73	69	49	71	77	—
	男	349	41.5	22	22	26	38	32	19	31	37	37	27	22	36	32	—
	女	492	58.5	47	57	35	50	42	45	40	36	36	42	27	35	45	—
構成比 (%)	計	100.0		8.2	9.4	7.3	10.5	8.8	7.6	8.4	8.7	8.7	8.2	5.8	8.4	9.2	—
	男	100.0		6.3	6.3	7.4	10.9	9.2	5.4	8.9	10.6	10.6	7.7	6.3	10.3	9.2	—
	女	100.0		9.6	11.6	7.1	10.2	8.5	9.1	8.1	7.3	7.3	8.5	5.5	7.1	9.1	—
内科	計	456	54.2	42	44	30	38	42	37	45	43	33	41	21	40	71	—
	男	194	55.6	13	11	13	18	19	13	18	23	19	15	9	23	30	—
	女	262	53.3	29	33	17	20	23	24	27	20	14	26	12	17	41	—
外科	計	86	10.2	7	6	11	13	10	9	3	5	4	7	2	9	5	—
	男	52	14.9	4	4	8	6	6	4	2	2	3	5	2	6	2	—
	女	34	6.9	3	2	3	7	4	5	1	3	1	2	—	3	3	—
整形外科	計	231	27.5	13	24	13	30	17	15	18	16	28	19	23	15	1	—
	男	76	21.8	1	5	4	12	6	2	7	8	10	6	9	6	—	—
	女	155	31.5	12	19	9	18	11	13	11	8	18	13	14	9	1	—
眼科	計	67	8.0	7	5	7	7	5	3	5	9	7	2	3	7	—	—
	男	26	7.4	4	2	1	2	1	—	4	4	4	1	2	1	—	—
	女	41	8.3	3	3	6	5	4	3	1	5	3	1	1	6	—	—
小児科	計	1	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

疾病統計（入院患者）

疾病大分類別・診療科別・病名数

(2013/04/01-2014/03/31)

		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科
総数	計	788	100.0	431	83	207	67
	男	320	40.6	179	49	66	26
	女	468	59.4	252	34	141	41
構成比(%)	計	100.0		54.7	10.5	26.3	8.5
	男	100.0		55.9	15.3	20.6	8.1
	女	100.0		53.8	7.3	30.1	8.8
Ⅰ 感染症及び寄生虫症	計	14	1.8	12	2	—	—
	男	6	1.9	4	2	—	—
	女	8	1.7	8	—	—	—
Ⅱ 新生物	計	70	8.9	49	19	2	—
	男	38	11.9	27	11	—	—
	女	32	6.8	22	8	2	—
Ⅲ 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
Ⅳ 内分泌、栄養及び代謝疾患	計	21	2.7	19	2	—	—
	男	12	3.8	11	1	—	—
	女	9	1.9	8	1	—	—
Ⅴ 精神及び行動の障害	計	13	1.6	12	1	—	—
	男	5	1.6	4	1	—	—
	女	8	1.7	8	—	—	—
Ⅵ 神経系の疾患	計	33	4.2	24	—	9	—
	男	17	5.3	12	—	5	—
	女	16	3.4	12	—	4	—
Ⅶ 眼及び付属器の疾患	計	68	8.6	1	—	—	67
	男	26	8.1	—	—	—	26
	女	42	9.0	1	—	—	41
Ⅷ 耳及び乳様突起の疾患	計	2	0.3	2	—	—	—
	男	2	0.6	2	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
Ⅸ 循環器系の疾患	計	68	8.6	66	1	1	—
	男	28	8.8	28	—	—	—
	女	40	8.5	38	1	1	—
Ⅹ 呼吸器系の疾患	計	86	10.9	85	1	—	—
	男	34	10.6	33	1	—	—
	女	52	11.1	52	—	—	—
ⅩⅠ 消化器系の疾患	計	90	11.4	55	35	—	—
	男	41	12.8	22	19	—	—
	女	49	10.5	33	16	—	—
ⅩⅡ 皮膚及び皮下組織の疾患	計	6	0.8	—	3	3	—
	男	2	0.6	—	2	—	—
	女	4	0.9	—	1	3	—
ⅩⅢ 筋骨格系及び結合組織の疾患	計	68	8.6	6	1	61	—
	男	25	7.8	4	1	20	—
	女	43	9.2	2	—	41	—
ⅩⅣ 腎尿路生殖器系の疾患	計	37	4.7	36	1	—	—
	男	12	3.8	11	1	—	—
	女	25	5.3	25	—	—	—
ⅩⅤ 妊娠、分娩及び産じょく<褥>	計	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
ⅩⅥ 周産期に発生した病態	計	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
ⅩⅦ 先天奇形、変形及び染色体異常	計	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
ⅩⅧ 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	計	52	6.6	44	6	2	—
	男	14	4.4	10	4	—	—
	女	38	8.1	34	2	2	—
ⅩⅨ 損傷、中毒及びその他の外因の影響	計	134	17.0	11	10	113	—
	男	47	14.7	5	5	37	—
	女	87	18.6	6	5	76	—
ⅩⅩ 傷病及び死亡の外因	計	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
ⅩⅩⅠ 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	計	25	3.2	8	1	16	—
	男	11	3.4	6	1	4	—
	女	14	3.0	2	—	12	—
ⅩⅩⅡ 特殊目的用コード	計	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—

I C D 1 0コード別・診療科別・病名数

(2013/04/01-2014/03/31)

		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科
総数	計	788	100.0	431	83	207	67
	男	320	40.6	179	49	66	26
	女	468	59.4	252	34	141	41
構成比(%)	計	100.0		54.7	10.5	26.3	8.5
	男	100.0		55.9	15.3	20.6	8.1
	女	100.0		53.8	7.3	30.1	8.8
A09 感染症と推定される下痢及び胃腸炎	計	11	1.4	9	2	—	—
	男	5	1.6	3	2	—	—
	女	6	1.3	6	—	—	—
A319 非結核性抗酸菌感染症、詳細不明	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
A419 敗血症、詳細不明	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
B069 風疹、合併症を伴わないもの	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
C029 舌、部位不明【その他及び部位不明の舌の悪性新生物】	計	2	0.3	2	—	—	—
	男	2	0.6	2	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
C160 噴門【胃の悪性新生物】	計	1	0.1	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	1	—	—
C169 胃、部位不明【胃の悪性新生物】	計	14	1.8	4	10	—	—
	男	9	2.8	3	6	—	—
	女	5	1.1	1	4	—	—
C184 横行結腸【結腸の悪性新生物】	計	3	0.4	—	3	—	—
	男	2	0.6	—	2	—	—
	女	1	0.2	—	1	—	—
C186 下行結腸【結腸の悪性新生物】	計	1	0.1	—	1	—	—
	男	1	0.3	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
C187 S状結腸【結腸の悪性新生物】	計	1	0.1	—	1	—	—
	男	1	0.3	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
C189 結腸、部位不明【結腸の悪性新生物】	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
C20 直腸の悪性新生物	計	3	0.4	2	1	—	—
	男	3	0.9	2	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
C220 肝癌【肝及び肝内胆管の悪性新生物】	計	3	0.4	3	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	3	0.6	3	—	—	—
C240 肝外胆管【その他及び部位不明の胆道の悪性新生物】	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
C251 膵体部【膵の悪性新生物】	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
C252 膵尾部【膵の悪性新生物】	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
C349 気管支又は肺、部位不明【気管支及び肺の悪性新生物】	計	24	3.0	24	—	—	—
	男	17	5.3	17	—	—	—
	女	7	1.5	7	—	—	—
C56 卵巣の悪性新生物	計	4	0.5	4	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	4	0.9	4	—	—	—
C66 尿管の悪性新生物	計	1	0.1	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	1	—	—
C859 非ホジキンリンパ腫、型不明	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
D179 良性脂肪腫性新生物、部位不明【良性脂肪腫性新生物(脂肪腫を含む)】	計	2	0.3	—	—	2	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	—	—	2	—

I C D 1 0コード別・診療科別・病名数

(2013/04/01-2014/03/31)

		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外科	眼科
D219 結合組織及びその他の軟部組織、部位不明	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
D369 部位不明の良性新生物【その他の部位及び部位不明の良性新生物】	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
D375 直腸【口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物】	計	1	0.1	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	1	—	—
D376 肝、胆のうく嚢及び胆管【口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物】	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
D377 その他の消化器【口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物】	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
D469 骨髓異形成症候群、詳細不明【骨髓異形成症候群】	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
D591 その他の自己免疫性溶血性貧血	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
E11 インスリン非依存性糖尿病<N I D D M>	計	3	0.4	3	—	—	—
	男	2	0.6	2	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
E14 詳細不明の糖尿病	計	2	0.3	2	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
E162 低血糖症、詳細不明	計	2	0.3	2	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	2	—	—	—
E46 詳細不明のたんぱく<蛋白>エネルギー性栄養失調(症)	計	2	0.3	2	—	—	—
	男	2	0.6	2	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
E833 リン代謝障害	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
E86 体液量減少(症)	計	7	0.9	5	2	—	—
	男	5	1.6	4	1	—	—
	女	2	0.4	1	1	—	—
E871 低浸透圧及び低ナトリウム血症	計	2	0.3	2	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
E880 血漿たんぱく<蛋白>代謝障害、他に分類されないもの	計	2	0.3	2	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
F03 詳細不明の認知症	計	4	0.5	4	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—
	女	3	0.6	3	—	—	—
F209 統合失調症、詳細不明	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
F329 うつ病エピソード、詳細不明	計	2	0.3	2	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
F411 全般性不安障害	計	2	0.3	2	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	2	—	—	—
F419 不安障害、詳細不明	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
F453 身体表現性自律神経機能不全	計	2	0.3	1	1	—	—
	男	2	0.6	1	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
F509 摂食障害、詳細不明	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
G20 パーキンソン病	計	2	0.3	2	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	2	—	—	—

I C D 1 0コード別・診療科別・病名数

(2013/04/01-2014/03/31)

		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科
G408 その他のてんかん	計	3	0.4	3	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	3	0.6	3	—	—	—
G442 緊張性頭痛	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
G459 一過性脳虚血発作、詳細不明	計	10	1.3	10	—	—	—
	男	5	1.6	5	—	—	—
	女	5	1.1	5	—	—	—
G473 睡眠時無呼吸	計	7	0.9	7	—	—	—
	男	6	1.9	6	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
G560 手根管症候群	計	3	0.4	—	—	3	—
	男	2	0.6	—	—	2	—
	女	1	0.2	—	—	1	—
G562 尺骨神経の病変	計	3	0.4	—	—	3	—
	男	2	0.6	—	—	2	—
	女	1	0.2	—	—	1	—
G573 外側膝窩神経の病変	計	1	0.1	—	—	1	—
	男	1	0.3	—	—	1	—
	女	—	—	—	—	—	—
G931 無酸素性脳損傷、他に分類されないもの	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
G959 脊髄疾患、詳細不明	計	2	0.3	—	—	2	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	—	—	2	—
H110 翼状片	計	2	0.3	—	—	—	2
	男	1	0.3	—	—	—	1
	女	1	0.2	—	—	—	1
H259 老人性白内障、詳細不明	計	64	8.1	—	—	—	64
	男	24	7.5	—	—	—	24
	女	40	8.5	—	—	—	40
H261 外傷性白内障	計	1	0.1	—	—	—	1
	男	1	0.3	—	—	—	1
	女	—	—	—	—	—	—
H512 核間(眼筋)麻痺	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
H813 その他の末梢性めまい<眩暈(症)>	計	2	0.3	2	—	—	—
	男	2	0.6	2	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
I10 本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
I209 狭心症、詳細不明	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
I270 原発性肺高血圧(症)	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
I350 大動脈弁狭窄(症)	計	2	0.3	2	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	2	—	—	—
I48 心房細動及び粗動	計	2	0.3	2	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	2	—	—	—
I500 うっ血性心不全	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
I509 心不全、詳細不明	計	28	3.6	27	—	1	—
	男	12	3.8	12	—	—	—
	女	16	3.4	15	—	1	—
I614 小脳の脳内出血	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
I619 脳内出血、詳細不明	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—

I C D 1 0コード別・診療科別・病名数

(2013/04/01-2014/03/31)

		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外科	眼科
I620 硬膜下出血（急性）（非外傷性）	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
I638 その他の脳梗塞	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
I639 脳梗塞、詳細不明	計	18	2.3	17	1	—	—
	男	6	1.9	6	—	—	—
	女	12	2.6	11	1	—	—
I691 脳内出血の続発・後遺症	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
I693 脳梗塞の続発・後遺症	計	8	1.0	8	—	—	—
	男	8	2.5	8	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
J040 急性喉頭炎	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
J069 急性上気道感染症、詳細不明	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
J111 その他の呼吸器症状を伴うインフルエンザ、インフルエンザウイルスが分離されないもの	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
J189 肺炎、詳細不明	計	45	5.7	45	—	—	—
	男	16	5.0	16	—	—	—
	女	29	6.2	29	—	—	—
J209 急性気管支炎、詳細不明	計	6	0.8	6	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—
	女	5	1.1	5	—	—	—
J219 急性細気管支炎、詳細不明	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
J441 急性増悪を伴う慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計	4	0.5	4	—	—	—
	男	4	1.3	4	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
J449 慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計	4	0.5	4	—	—	—
	男	4	1.3	4	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
J459 喘息、詳細不明	計	4	0.5	4	—	—	—
	男	2	0.6	2	—	—	—
	女	2	0.4	2	—	—	—
J46 喘息発作重積状態	計	3	0.4	3	—	—	—
	男	2	0.6	2	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
J690 食物及び吐物による肺臓炎	計	8	1.0	8	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	8	1.7	8	—	—	—
J841 肺線維症を伴うその他の間質性肺疾患	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
J931 その他の自然気胸	計	1	0.1	—	1	—	—
	男	1	0.3	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
J939 気胸、詳細不明	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
J961 慢性呼吸不全	計	4	0.5	4	—	—	—
	男	2	0.6	2	—	—	—
	女	2	0.4	2	—	—	—
J988 その他の明示された呼吸器障害	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
K254 慢性又は詳細不明、出血を伴うもの【胃潰瘍】	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
K255 慢性又は詳細不明、穿孔を伴うもの【胃潰瘍】	計	1	0.1	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	1	—	—

I C D 1 0コード別・診療科別・病名数

(2013/04/01-2014/03/31)

		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科
K317 胃及び十二指腸のポリープ	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
K319 胃及び十二指腸の疾患、詳細不明	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
K359 急性虫垂炎、詳細不明	計	3	0.4	—	3	—	—
	男	1	0.3	—	1	—	—
	女	2	0.4	—	2	—	—
K409 一側性又は患側不明のそけい<鼠径>ヘルニア、閉塞又はえ<壊>瘻を伴わないもの	計	12	1.5	1	11	—	—
	男	9	2.8	—	9	—	—
	女	3	0.6	1	2	—	—
K413 一側性又は患側不明の大腿<股>ヘルニア、閉塞を伴い	計	1	0.1	—	1	—	—
	男	1	0.3	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
K439 腹壁ヘルニア、閉塞又はえ<壊>瘻を伴わないもの	計	1	0.1	—	1	—	—
	男	1	0.3	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
K449 横隔膜ヘルニア、閉塞又はえ<壊>瘻を伴わないもの	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
K550 腸の急性血行障害	計	2	0.3	2	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	2	—	—	—
K559 腸の血行障害、詳細不明	計	5	0.6	5	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	5	1.1	5	—	—	—
K562 軸捻（転）	計	1	0.1	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	1	—	—
K565 閉塞を伴う腸癒着[索条物]	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
K567 イレウス、詳細不明	計	10	1.3	7	3	—	—
	男	4	1.3	3	1	—	—
	女	6	1.3	4	2	—	—
K573 穿孔又は膿瘍を伴わない大腸の憩室性疾患	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
K589 下痢を伴わない過敏性腸症候群	計	3	0.4	3	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—
	女	2	0.4	2	—	—	—
K610 肛門膿瘍	計	2	0.3	—	2	—	—
	男	2	0.6	—	2	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
K626 肛門及び直腸の潰瘍	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
K631 腸穿孔（非外傷性）	計	2	0.3	—	2	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	—	2	—	—
K635 大腸<結腸>のポリープ	計	12	1.5	12	—	—	—
	男	8	2.5	8	—	—	—
	女	4	0.9	4	—	—	—
K639 腸の疾患、詳細不明	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
K650 急性腹膜炎	計	1	0.1	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	1	—	—
K659 腹膜炎、詳細不明	計	2	0.3	1	1	—	—
	男	1	0.3	—	1	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
K719 中毒性肝疾患、詳細不明	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
K768 その他の明示された肝疾患	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—

I C D 1 0コード別・診療科別・病名数

(2013/04/01-2014/03/31)

		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外科	眼科
K802 胆のう<嚢>炎を伴わない胆のう<嚢>結石	計	2	0.3	—	2	—	—
	男	1	0.3	—	1	—	—
	女	1	0.2	—	1	—	—
K805 胆管炎又は胆のう<嚢>炎を伴わない胆管結石	計	4	0.5	1	3	—	—
	男	2	0.6	—	2	—	—
	女	2	0.4	1	1	—	—
K810 急性胆のう<嚢>炎	計	2	0.3	2	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
K819 胆のう<嚢>炎、詳細不明	計	2	0.3	—	2	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	—	2	—	—
K830 胆管炎	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
K831 胆管閉塞	計	2	0.3	2	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
K839 胆道の疾患、詳細不明	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
K85 急性膵炎	計	4	0.5	4	—	—	—
	男	2	0.6	2	—	—	—
	女	2	0.4	2	—	—	—
K913 術後腸閉塞	計	1	0.1	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	1	—	—
K921 メレナ	計	3	0.4	3	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—
	女	2	0.4	2	—	—	—
L031 (四)肢のその他の部位の蜂巣炎<蜂窩織炎>	計	1	0.1	—	1	—	—
	男	1	0.3	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
L039 蜂巣炎<蜂窩織炎>、詳細不明	計	3	0.4	—	1	2	—
	男	1	0.3	—	1	—	—
	女	2	0.4	—	—	2	—
L89 じょく<褥>瘡性潰瘍	計	2	0.3	—	1	1	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	—	1	1	—
M1126 その他の軟骨石灰化症(膝関節偽痛風)	計	3	0.4	1	—	2	—
	男	2	0.6	1	—	1	—
	女	1	0.2	—	—	1	—
M1316 単(発性)関節炎、他に分類されないもの(膝関節炎)	計	3	0.4	1	—	2	—
	男	2	0.6	—	—	2	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
M1317 単(発性)関節炎、他に分類されないもの(足関節炎)	計	1	0.1	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—
M169 股関節症、詳細不明	計	3	0.4	—	—	3	—
	男	1	0.3	—	—	1	—
	女	2	0.4	—	—	2	—
M179 膝関節症、詳細不明	計	20	2.5	—	—	20	—
	男	4	1.3	—	—	4	—
	女	16	3.4	—	—	16	—
M1991 関節症、詳細不明(肩関節炎)	計	1	0.1	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—
M2451 関節拘縮(肩関節拘縮)	計	1	0.1	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—
M300 結節性多発(性)動脈炎	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
M351 その他の重複症候群	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
M4186 その他の型の(脊柱)側弯(症)(変性側弯症)	計	1	0.1	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—

I C D 1 0コード別・診療科別・病名数

(2013/04/01-2014/03/31)

		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科
M4316 脊椎すべり症（腰椎すべり症）	計	1	0.1	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—
M4659 その他の感染性脊椎障害（化膿性脊椎炎）	計	1	0.1	—	—	1	—
	男	1	0.3	—	—	1	—
	女	—	—	—	—	—	—
M4806 脊柱管狭窄（症）（腰部脊柱管狭窄症）	計	11	1.4	—	—	11	—
	男	4	1.3	—	—	4	—
	女	7	1.5	—	—	7	—
M511 腰部及びその他の部位の椎間板障害、神経根障害を伴うもの（G 5 5. 1 *）	計	2	0.3	—	—	2	—
	男	1	0.3	—	—	1	—
	女	1	0.2	—	—	1	—
M512 その他の明示された椎間板ヘルニア＜変位＞	計	1	0.1	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—
M5456 下背部痛（腰腹痛）	計	4	0.5	—	1	3	—
	男	3	0.9	—	1	2	—
	女	1	0.2	—	—	1	—
M6259 筋の消耗及び萎縮、他に分類されないもの（筋萎縮症）	計	2	0.3	1	—	1	—
	男	1	0.3	—	—	1	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
M6289 その他の明示された筋障害（横紋筋融解）	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
M6534 ばね＜弾発＞指（結節性腱疾患）	計	3	0.4	—	—	3	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	3	0.6	—	—	3	—
M7022 肘頭滑液包炎（肘頭滑液包炎）	計	1	0.1	—	—	1	—
	男	1	0.3	—	—	1	—
	女	—	—	—	—	—	—
M7032 肘のその他の滑液包炎（肘関節滑液包炎）	計	1	0.1	—	—	1	—
	男	1	0.3	—	—	1	—
	女	—	—	—	—	—	—
M7197 滑液包障害、詳細不明（足関節滑液包炎）	計	1	0.1	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—
M7685 下肢のその他の腱（靱帯）附着部症、足を除く（股関節周囲炎）	計	1	0.1	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—
M8415 骨折の骨癒合不全〔偽関節〕（大腿骨偽関節）	計	1	0.1	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—
M8705 骨の特発性無菌＜腐＞性えく壊＞死（特発性大腿骨頭壊死）	計	1	0.1	—	—	1	—
	男	1	0.3	—	—	1	—
	女	—	—	—	—	—	—
M8706 骨の特発性無菌＜腐＞性えく壊＞死（膝関節特発性骨壊死）	計	1	0.1	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—
N10 急性尿細管間質性腎炎	計	2	0.3	2	—	—	—
	男	2	0.6	2	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
N12 尿細管間質性腎炎、急性又は慢性と明示されないもの	計	2	0.3	2	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
N179 急性腎不全、詳細不明	計	2	0.3	2	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	2	—	—	—
N189 慢性腎不全、詳細不明	計	5	0.6	5	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—
	女	4	0.9	4	—	—	—
N209 尿路結石、詳細不明	計	2	0.3	2	—	—	—
	男	2	0.6	2	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
N390 尿路感染症、部位不明	計	24	3.0	23	1	—	—
	男	6	1.9	5	1	—	—
	女	18	3.8	18	—	—	—
R068 その他及び詳細不明の呼吸の異常	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—

I C D 1 0コード別・診療科別・病名数

(2013/04/01-2014/03/31)

		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外科	眼科
R098 循環器系及び呼吸器系に関するその他の明示された症状及び徴候	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
R100 急性腹症	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
R11 悪心及び嘔吐	計	4	0.5	4	—	—	—
	男	2	0.6	2	—	—	—
	女	2	0.4	2	—	—	—
R233 特発性斑状出血【その他の皮膚変化】	計	1	0.1	—	1	—	—
	男	1	0.3	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
R252 (有痛性)けいれん<痙攣>【異常不随意運動】	計	3	0.4	3	—	—	—
	男	3	0.9	3	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
R31 詳細不明の血尿	計	1	0.1	—	1	—	—
	男	1	0.3	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
R402 昏睡、詳細不明	計	6	0.8	6	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—
	女	5	1.1	5	—	—	—
R42 めまい<眩暈>感及びよろめき感	計	10	1.3	10	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	10	2.1	10	—	—	—
R509 発熱、詳細不明	計	3	0.4	2	1	—	—
	男	1	0.3	—	1	—	—
	女	2	0.4	2	—	—	—
R51 頭痛	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
R54 老衰	計	13	1.6	12	1	—	—
	男	3	0.9	3	—	—	—
	女	10	2.1	9	1	—	—
R55 失神及び虚脱	計	2	0.3	2	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	2	—	—	—
R590 限局性リンパ節腫大	計	1	0.1	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	1	—	—
R599 リンパ節腫大、詳細不明	計	1	0.1	—	1	—	—
	男	1	0.3	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
R600 限局性浮腫	計	2	0.3	—	—	2	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	—	—	2	—
R630 食欲不振	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
S000 頭皮の表在損傷	計	3	0.4	—	3	—	—
	男	2	0.6	—	2	—	—
	女	1	0.2	—	1	—	—
S001 眼瞼及び眼球周囲部の挫傷	計	1	0.1	—	—	1	—
	男	1	0.3	—	—	1	—
	女	—	—	—	—	—	—
S010 頭皮の開放創	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
S062 びまん性脳損傷	計	1	0.1	—	1	—	—
	男	1	0.3	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
S065 外傷性硬膜下出血	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
S066 外傷性くも膜下出血	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
S1290 頸部の骨折、部位不明（頸椎骨折）	計	1	0.1	—	—	1	—
	男	1	0.3	—	—	1	—
	女	—	—	—	—	—	—

I C D 1 0コード別・診療科別・病名数

(2013/04/01-2014/03/31)

		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科
S2200 胸椎骨折（胸椎圧迫骨折）	計	16	2.0	—	—	16	—
	男	4	1.3	—	—	4	—
	女	12	2.6	—	—	12	—
S2220 胸骨骨折（胸椎骨折）	計	3	0.4	—	—	3	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	3	0.6	—	—	3	—
S2230 肋骨骨折（肋骨不全骨折）	計	1	0.1	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—
S300 下背部及び骨盤部の挫傷【腹部、下背部及び骨盤部の表在損傷】	計	3	0.4	—	1	2	—
	男	2	0.6	—	—	2	—
	女	1	0.2	—	1	—	—
S3200 腰椎骨折（腰椎圧迫骨折）	計	10	1.3	1	—	9	—
	男	3	0.9	1	—	2	—
	女	7	1.5	—	—	7	—
S3210 仙骨骨折（仙骨亀裂骨折）	計	1	0.1	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—
S3250 恥骨骨折（恥骨開放骨折）	計	6	0.8	—	—	6	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	6	1.3	—	—	6	—
S3270 腰椎及び骨盤の多発骨折（マルゲース骨折）	計	1	0.1	—	—	1	—
	男	1	0.3	—	—	1	—
	女	—	—	—	—	—	—
S3280 腰椎及び骨盤のその他及び部位不明の骨折（骨盤骨折）	計	2	0.3	—	—	2	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	—	—	2	—
S4200 鎖骨骨折（鎖骨亀裂骨折）	計	3	0.4	—	—	3	—
	男	1	0.3	—	—	1	—
	女	2	0.4	—	—	2	—
S422 上腕骨近位端骨折	計	1	0.1	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—
S4220 上腕骨近位端骨折（上腕骨骨頭骨折）	計	3	0.4	—	—	3	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	3	0.6	—	—	3	—
S4230 上腕骨骨幹部骨折（上腕骨脱臼骨折）	計	1	0.1	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—
S4240 上腕骨遠位端骨折（上腕骨遠位端粉碎骨折）	計	2	0.3	—	—	2	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	—	—	2	—
S430 肩関節脱臼	計	1	0.1	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—
S460 肩（回旋筋）腱板の腱損傷	計	1	0.1	—	—	1	—
	男	1	0.3	—	—	1	—
	女	—	—	—	—	—	—
S462 上腕二頭筋のその他の部位の筋及び腱の損傷	計	1	0.1	—	—	1	—
	男	1	0.3	—	—	1	—
	女	—	—	—	—	—	—
S500 肘の挫傷	計	1	0.1	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—
S5200 尺骨近位端骨折（モンテジア骨折）	計	1	0.1	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—
S5250 橈骨遠位端骨折（ガレアッチ骨折）	計	5	0.6	—	—	5	—
	男	1	0.3	—	—	1	—
	女	4	0.9	—	—	4	—
S561 前腕のその他の指の屈筋及び腱の損傷	計	1	0.1	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—
S6230 その他の中手骨骨折（第一手根中手関節脱臼骨折）	計	2	0.3	—	—	2	—
	男	2	0.6	—	—	2	—
	女	—	—	—	—	—	—
S6231 その他の中手骨骨折（小指中手骨遠位端開放骨折）	計	1	0.1	—	—	1	—
	男	1	0.3	—	—	1	—
	女	—	—	—	—	—	—

I C D 1 0コード別・診療科別・病名数

(2013/04/01-2014/03/31)

		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科
S6260 その他の指の骨折（小指基節骨骨折）	計	1	0.1	—	—	1	—
	男	1	0.3	—	—	1	—
	女	—	—	—	—	—	—
S6261 その他の指の骨折（中指末節骨開放骨折）	計	1	0.1	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—
S7200 大腿骨頸部骨折（大腿骨頸部外側骨折）	計	7	0.9	—	—	7	—
	男	2	0.6	—	—	2	—
	女	5	1.1	—	—	5	—
S7210 転子貫通骨折（大転子部剥離骨折）	計	9	1.1	—	—	9	—
	男	1	0.3	—	—	1	—
	女	8	1.7	—	—	8	—
S7230 大腿骨骨幹部骨折（大腿骨骨幹部粉碎骨折）	計	1	0.1	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—
S7290 大腿骨骨折、部位不明（大腿骨粉碎骨折）	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
S800 膝の挫傷	計	3	0.4	—	1	2	—
	男	1	0.3	—	1	—	—
	女	2	0.4	—	—	2	—
S819 下腿の開放創、部位不明	計	1	0.1	—	—	1	—
	男	1	0.3	—	—	1	—
	女	—	—	—	—	—	—
S8200 膝蓋骨骨折（膝関節脱臼骨折）	計	2	0.3	—	—	2	—
	男	1	0.3	—	—	1	—
	女	1	0.2	—	—	1	—
S8220 脛骨骨幹部骨折（脛骨腓骨骨幹部骨折）	計	2	0.3	—	—	2	—
	男	2	0.6	—	—	2	—
	女	—	—	—	—	—	—
S8240 腓骨のみの骨折（腓骨剥離骨折）	計	1	0.1	—	—	1	—
	男	1	0.3	—	—	1	—
	女	—	—	—	—	—	—
S8280 下腿のその他の部位の骨折（足関節脱臼粉碎骨折）	計	2	0.3	—	—	2	—
	男	2	0.6	—	—	2	—
	女	—	—	—	—	—	—
S832 半月裂傷＜断裂＞、新鮮損傷	計	4	0.5	—	—	4	—
	男	3	0.9	—	—	3	—
	女	1	0.2	—	—	1	—
S860 アキレス腱損傷	計	3	0.4	—	—	3	—
	男	3	0.9	—	—	3	—
	女	—	—	—	—	—	—
S9200 踵骨骨折（踵骨開放骨折）	計	1	0.1	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—
S934 足首の捻挫及びストレイン	計	1	0.1	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—
T009 多発性表皮損傷、詳細不明	計	1	0.1	—	1	—	—
	男	1	0.3	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
T0210 胸部＜郭＞の骨折、下背部及び骨盤部の骨折を伴うもの（胸腰椎圧迫骨折）	計	2	0.3	—	—	2	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	—	—	2	—
T141 部位不明の開放創	計	1	0.1	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	1	—	—
T146 部位不明の筋及び腱の損傷	計	1	0.1	—	—	1	—
	男	1	0.3	—	—	1	—
	女	—	—	—	—	—	—
T179 気道内異物、部位不明	計	3	0.4	3	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—
	女	2	0.4	2	—	—	—
T509 その他及び詳細不明の薬物、薬剤及び生物学的製剤【利尿薬、その他及び詳細不明の薬物】	計	2	0.3	2	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—
	女	1	0.2	1	—	—	—
T630 ヘビ毒【有毒動物との接触による毒作用】	計	2	0.3	—	2	—	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	—	2	—	—

I C D 1 0コード別・診療科別・病名数

(2013/04/01-2014/03/31)

		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科
T678 熱及び光線のその他の作用【熱及び光線の作用】	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
T814 処置に続発する感染症、他に分類されないもの	計	1	0.1	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—
T828 心臓及び血管のプロステシス、挿入物及び移植片のその他の合併症	計	1	0.1	1	—	—	—
	男	1	0.3	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
T845 体内関節プロステシスによる感染症及び炎症性反応	計	1	0.1	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—
T911 脊椎骨折の続発・後遺症	計	3	0.4	—	—	3	—
	男	1	0.3	—	—	1	—
	女	2	0.4	—	—	2	—
Z470 骨折プレート及びその他の内固定器具の除去に関する経過観察＜フォローアップ＞ケア	計	4	0.5	—	—	4	—
	男	2	0.6	—	—	2	—
	女	2	0.4	—	—	2	—
Z501 その他の理学療法	計	13	1.6	3	1	9	—
	男	4	1.3	1	1	2	—
	女	9	1.9	2	—	7	—
Z966 整形外科的関節挿入物の存在	計	1	0.1	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	—	—	1	—
Z988 その他の明示された術後状態	計	7	0.9	5	—	2	—
	男	5	1.6	5	—	—	—
	女	2	0.4	—	—	2	—

I C D 1 0コード別・年齢階層別・病名数

(2013/04/01-2014/03/31)

		総数	構成比 (%)	平均 年齢	0-28 日	29日- 11月	1-4歳	5-9歳	10-14 歳	15-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-64 歳	65-69 歳	70-74 歳	75-79 歳	80-84 歳	85-89 歳	90歳-
総数	計	788	100.0	78.2	—	—	—	—	1	4	7	6	12	43	59	40	52	112	160	152	140
	男	320	40.6	74.2	—	—	—	—	1	3	4	5	7	24	38	21	24	52	55	52	34
	女	468	59.4	80.9	—	—	—	—	—	1	3	1	5	19	21	19	28	60	105	100	106
構成比 (%)	計	100.0			—	—	—	—	0.1	0.5	0.9	0.8	1.5	5.5	7.5	5.1	6.6	14.2	20.3	19.3	17.8
	男	100.0			—	—	—	—	0.3	0.9	1.3	1.6	2.2	7.5	11.9	6.6	7.5	16.3	17.2	16.3	10.6
	女	100.0			—	—	—	—	—	0.2	0.6	0.2	1.1	4.1	4.5	4.1	6.0	12.8	22.4	21.4	22.6
A09 感染症と推定される下痢及び胃腸炎	計	11	1.4	73.0	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	1	—	1	1	4	1	—
	男	5	1.6	73.6	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	1	2	—
	女	6	1.3	72.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	2	1
A319 非結核性抗酸菌感染症、詳細不明	計	1	0.1	79.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	79.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
A419 敗血症、詳細不明	計	1	0.1	87.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	87.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
B069 風疹、合併症を伴わないもの	計	1	0.1	82.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	男	1	0.3	82.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C029 舌、部位不明【その他及び部位不明の舌の悪性新生物】	計	2	0.3	79.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—
	男	2	0.6	79.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C160 噴門【胃の悪性新生物】	計	1	0.1	80.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	80.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
C169 胃、部位不明【胃の悪性新生物】	計	14	1.8	77.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	1	1	1	1	5	1
	男	9	2.8	76.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	—	—	1	—	3	1
	女	5	1.1	79.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	1	2	—
C184 横行結腸【結腸の悪性新生物】	計	3	0.4	83.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	1
	男	2	0.6	78.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—
	女	1	0.2	93.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
C186 下行結腸【結腸の悪性新生物】	計	1	0.1	77.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	男	1	0.3	77.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C187 S状結腸【結腸の悪性新生物】	計	1	0.1	59.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	59.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C189 結腸、部位不明【結腸の悪性新生物】	計	1	0.1	72.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	72.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C20 直腸の悪性新生物	計	3	0.4	85.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—
	男	3	0.9	85.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C220 肝臓【肝及び肝内胆管の悪性新生物】	計	3	0.4	85.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	1
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	3	0.6	85.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	1
C240 肝外胆管【その他及び部位不明の胆道の悪性新生物】	計	1	0.1	86.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	86.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
C251 膵体部【膵の悪性新生物】	計	1	0.1	84.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	84.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
C252 膵尾部【膵の悪性新生物】	計	1	0.1	88.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	88.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
C349 気管支又は肺、部位不明【気管支及び肺の悪性新生物】	計	24	3.0	76.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	—	—	8	2	6	1
	男	17	5.3	75.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	—	—	8	1	2	1
	女	7	1.5	79.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	1	4	—
C56 卵巣の悪性新生物	計	4	0.5	62.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	2	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	4	0.9	62.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	2	—	—	—	—	—
C66 尿管の悪性新生物	計	1	0.1	92.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	92.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
C859 非ホジキンリンパ腫、型不明	計	1	0.1	89.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	89.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
D179 【良性脂肪腫性新生物(脂肪腫を含む)】	計	2	0.3	74.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	74.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—

I C D 1 0コード別・年齢階層別・病名数

(2013/04/01-2014/03/31)

		総数	構成比 (%)	平均 年齢	0-28 日	29日- 11月	1-4歳	5-9歳	10-14 歳	15-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-64 歳	65-69 歳	70-74 歳	75-79 歳	80-84 歳	85-89 歳	90歳-
E162 低血糖症、詳細不明	計	2	0.3	84.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
E46 詳細不明のたんぱく<蛋白>エ ネルギー性栄養失調（症）	計	2	0.3	77.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—
	男	2	0.6	77.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—
E833 リン代謝障害	計	1	0.1	57.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
E86 体液量減少（症）	計	7	0.9	72.6	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—	2	—	3	—
	男	5	1.6	69.0	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—	1	—	2	—
E871 低浸透圧及び低ナトリウム血症	計	2	0.3	91.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
	男	1	0.3	83.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
E880 血漿たんぱく<蛋白>代謝障 害、他に分類されないもの	計	2	0.3	88.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	男	1	0.3	95.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
F03 詳細不明の認知症	計	4	0.5	86.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2	1
	男	1	0.3	91.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
F209 統合失調症、詳細不明	計	3	0.6	85.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2	—
	男	1	0.1	74.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
F329 うつ病エピソード、詳細不明	計	1	0.2	77.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	79.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
F411 全般性不安障害	計	2	0.3	86.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
F419 不安障害、詳細不明	計	2	0.4	86.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
	男	1	0.1	80.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
F453 身体表現性自律神経機能不全	計	1	0.2	80.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	40.5	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
F509 摂食障害、詳細不明	計	2	0.6	40.5	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
G20 パーキンソン病	計	1	0.1	89.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	男	1	0.3	89.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
G408 その他のてんかん	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	3	0.6	77.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—
G442 緊張性頭痛	計	1	0.1	84.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
G459 一過性脳虚血発作、詳細不明	計	1	0.2	84.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	男	10	1.3	78.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	3	—	2	2
G473 睡眠時無呼吸	計	5	1.6	70.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	1	—	1	—
	男	5	1.1	86.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	1	2
G560 手根管症候群	計	7	0.9	68.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	3	1	2	—	—	—
	男	6	1.9	68.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	3	—	2	—	—	—
G562 尺骨神経の病変	計	1	0.2	71.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	3	0.4	81.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2	—	—
G573 外側膝窩神経の病変	計	2	0.6	83.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—
	男	1	0.2	78.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
G931 無酸素性脳損傷、他に分類され ないもの	計	3	0.4	75.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	—	—	—
	男	1	0.1	54.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
G959 脊髄疾患、詳細不明	計	1	0.3	54.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
H110 翼状片	計	2	0.3	86.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
	男	2	0.4	86.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
H259 老人性白内障、詳細不明	計	2	0.3	63.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	66.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
H261 外傷性白内障	計	1	0.2	60.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	男	64	8.1	77.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	6	4	7	14	20	8	4
H512 核間(眼筋)麻痺	計	24	7.5	77.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	3	3	6	6	5	—
	男	40	8.5	77.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	5	1	4	8	14	3	4
H813 その他の末梢性めまい<眩暈 (症)>	計	1	0.1	73.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	73.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
I10 本態性（原発性<一次性>）高 血圧（症）	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.1	73.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
I209 狭心症、詳細不明	計	1	0.2	73.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	1	0.1	88.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
I270 原発性肺高血圧（症）	計	1	0.2	88.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.1	78.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
I350 大動脈弁狭窄（症）	計	1	0.3	78.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	2	0.3	85.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—
	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	2	0.4	85.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—

(2013/04/01-2014/03/31)

90

I C D 1 0コード別・年齢階層別・病名数

(2013/04/01-2014/03/31)

		総数	構成比 (%)	平均 年齢	0-28 日	29日- 11月	1-4歳	5-9歳	10-14 歳	15-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-64 歳	65-69 歳	70-74 歳	75-79 歳	80-84 歳	85-89 歳	90歳-
K413 一側性又は患側不明の大腿く股 ＞ヘルニア、閉塞を伴い	計	1	0.1	94.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	男	1	0.3	94.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K439 腹壁ヘルニア、閉塞又はえく壊 ＞疝を伴わないもの	計	1	0.1	81.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	男	1	0.3	81.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K449 横隔膜ヘルニア、閉塞又はえく壊 ＞疝を伴わないもの	計	1	0.1	93.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	93.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
K550 腸の急性血行障害	計	2	0.3	77.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	77.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—
K559 腸の血行障害、詳細不明	計	5	0.6	81.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	1	2
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	5	1.1	81.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	1	2
K562 軸捻（転）	計	1	0.1	86.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	86.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
K565 閉塞を伴う腸癒着〔索条物〕	計	1	0.1	83.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	83.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K567 イレウス、詳細不明	計	10	1.3	80.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2	2	2	—	3
	男	4	1.3	73.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2	—	1	—	—
	女	6	1.3	85.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	—	3
K573 穿孔又は膿瘍を伴わない大腸の 憩室性疾患	計	1	0.1	80.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	80.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
K589 下痢を伴わない過敏性腸症候群	計	3	0.4	79.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	1
	男	1	0.3	90.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	74.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—
K610 肛門膿瘍	計	2	0.3	46.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	2	0.6	46.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K626 肛門及び直腸の潰瘍	計	1	0.1	77.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	男	1	0.3	77.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K631 腸穿孔（非外傷性）	計	2	0.3	88.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	88.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—
K635 大腸く結腸＞のポリープ	計	12	1.5	74.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2	3	2	2	1	—
	男	8	2.5	73.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2	2	1	1	—	—
	女	4	0.9	74.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	1	1	—	—
K639 腸の疾患、詳細不明	計	1	0.1	#####	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	#####	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
K650 急性腹膜炎	計	1	0.1	85.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	85.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
K659 腹膜炎、詳細不明	計	2	0.3	64.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	64.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	64.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
K719 中毒性肝疾患、詳細不明	計	1	0.1	97.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	97.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
K768 その他の明示された肝疾患	計	1	0.1	79.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	男	1	0.3	79.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K802 胆のうく囊＞炎を伴わない胆の うく囊＞結石	計	2	0.3	75.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—
	男	1	0.3	68.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	83.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
K805 胆管炎又は胆のうく囊＞炎を伴 わない胆管結石	計	4	0.5	78.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	1	1
	男	2	0.6	69.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—
	女	2	0.4	88.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
K810 急性胆のうく囊＞炎	計	2	0.3	92.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
	男	1	0.3	91.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	女	1	0.2	94.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
K819 胆のうく囊＞炎、詳細不明	計	2	0.3	77.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	77.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1
K830 胆管炎	計	1	0.1	86.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				

I C D 1 0コード別・年齢階層別・病名数

(2013/04/01-2014/03/31)

		総数	構成比 (%)	平均 年齢	0-28 日	29日- 11月	1-4歳	5-9歳	10-14 歳	15-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-64 歳	65-69 歳	70-74 歳	75-79 歳	80-84 歳	85-89 歳	90歳-
M1126	その他の軟骨石灰化症（膝関節偽痛風）	計	3	0.4	85.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	1
		男	2	0.6	83.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—
		女	1	0.2	90.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
M1316	単（発性）関節炎、他に分類されないもの（膝関節炎）	計	3	0.4	76.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	2	—	—
		男	2	0.6	73.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—
		女	1	0.2	83.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
M1317	単（発性）関節炎、他に分類されないもの（足関節炎）	計	1	0.1	86.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	86.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
M169	股関節症、詳細不明	計	3	0.4	76.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	—	—
		男	1	0.3	82.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
		女	2	0.4	74.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—
M179	膝関節症、詳細不明	計	20	2.5	79.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	2	6	8	2	1
		男	4	1.3	83.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2	—	1
		女	16	3.4	78.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	2	5	6	2	—
M1991	関節症、詳細不明（肩関節炎）	計	1	0.1	75.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	75.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
M2451	関節拘縮（肩関節拘縮）	計	1	0.1	66.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	66.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
M300	結節性多発（性）動脈炎	計	1	0.1	94.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
		男	1	0.3	94.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
M351	その他の重複症候群	計	1	0.1	64.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
		男	1	0.3	64.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
M4186	その他の型の（脊柱）側弯（症）（変性側弯症）	計	1	0.1	95.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	95.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
M4316	脊椎すべり症（腰椎すべり症）	計	1	0.1	73.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	73.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
M4659	その他の感染性脊椎障害（化膿性脊椎炎）	計	1	0.1	62.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
		男	1	0.3	62.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
M4806	脊柱管狭窄（症）（腰部脊柱管狭窄症）	計	11	1.4	77.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	3	4	—	1
		男	4	1.3	69.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	1	—	—	—
		女	7	1.5	81.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	4	—	1
M511	腰部及びその他の部位の椎間板障害、神経根障害を伴うもの（G55.1*）	計	2	0.3	72.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—
		男	1	0.3	64.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	80.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
M512	その他の明示された椎間板ヘルニア＜変位＞	計	1	0.1	59.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	59.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
M5456	下背部痛（腰腹痛）	計	4	0.5	75.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	1	1	—
		男	3	0.9	75.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	1	—
		女	1	0.2	75.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
M6259	筋の消耗及び萎縮、他に分類されないもの（筋萎縮症）	計	2	0.3	71.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—
		男	1	0.3	61.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	81.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
M6289	その他の明示された筋障害（横紋筋融解）	計	1	0.1	86.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
		男	1	0.3	86.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
M6534	ばね＜弾発＞指（結節性腱疾患）	計	3	0.4	65.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	—	—	—	—
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	3	0.6	65.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	—	—	—	—
M7022	肘頭滑液包炎（肘頭滑液包炎）	計	1	0.1	64.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
		男	1	0.3	64.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
M7032	肘のその他の滑液包炎（肘関節滑液包炎）	計	1	0.1	58.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
		男	1	0.3	58.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
M7197	滑液包障害、詳細不明（足関節滑液包炎）	計	1	0.1	74.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	74.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
M7685	下肢のその他の腱（靱帯）付着部症、足を除く（股関節周囲炎）	計	1	0.1	88.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	88.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
M8415	骨折の骨癒合不全〔偽関節〕（大腿骨偽関節）	計	1	0.1	69.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—

(2013/04/01-2014/03/31)

93

(2013/04/01-2014/03/31)

94

I C D 1 0コード別・年齢階層別・病名数

(2013/04/01-2014/03/31)

		総数	構成比 (%)	平均 年齢	0-28 日	29日- 11月	1-4歳	5-9歳	10-14 歳	15-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-64 歳	65-69 歳	70-74 歳	75-79 歳	80-84 歳	85-89 歳	90歳-
T0210 胸部＜郭＞の骨折、下背部及び 骨盤部の骨折を伴うもの（胸腰 椎圧迫骨折）	計	2	0.3	86.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	86.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
T141 部位不明の開放創	計	1	0.1	75.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	75.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
T146 部位不明の筋及び腱の損傷	計	1	0.1	61.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	61.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
T179 気道内異物、部位不明	計	3	0.4	87.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	1
	男	1	0.3	77.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	女	2	0.4	93.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
T509 その他及び詳細不明の薬物、薬 剤及び生物学的製剤【利尿薬、 その他及び詳細不明の薬物】	計	2	0.3	68.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—
	男	1	0.3	56.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	80.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
T630 ヘビ毒【有毒動物との接触によ る毒作用】	計	2	0.3	58.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	58.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—
T678 熱及び光線のその他の作用【熱 及び光線の作用】	計	1	0.1	17.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	17.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
T814 処置に続発する感染症、他に分 類されないもの	計	1	0.1	59.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	59.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
T828 心臓及び血管のプロステーシ ス、挿入物及び移植片のその他 の合併症	計	1	0.1	81.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	男	1	0.3	81.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
T845 体内関節プロステーシスによる 感染症及び炎症性反応	計	1	0.1	83.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	83.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
T911 脊椎骨折の続発・後遺症	計	3	0.4	88.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	2
	男	1	0.3	91.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	女	2	0.4	87.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
Z470 骨折プレート及びその他の内固 定器具の除去に関する経過観察 ＜フォローアップ＞ケア	計	4	0.5	64.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	1	1	—	—	—
	男	2	0.6	65.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—	—
	女	2	0.4	62.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—
Z501 その他の理学療法	計	13	1.6	78.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	2	1	5	2	1
	男	4	1.3	86.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	1
	女	9	1.9	74.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	2	1	3	1	—
Z966 整形外科的関節挿入物の存在	計	1	0.1	78.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	78.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
Z988 その他の明示された術後状態	計	7	0.9	74.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	1	2	1	—	1
	男	5	1.6	73.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	1	1	—	1
	女	2	0.4	74.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—

I C D 1 0コード別・在院期間別・病名数

(2013/04/01-2014/03/31)

		総数	構成比 (%)	延べ在院 日数	平均在 院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1 年	1-2年	2年-
総数	計	788	100.0	22,628	28.7	209	130	139	74	154	49	26	6	-	1
	男	320	40.6	9,020	28.2	95	58	55	25	64	9	10	3	-	1
	女	468	59.4	13,608	29.1	114	72	84	49	90	40	16	3	-	-
構成比 (%)	計	100.0				26.5	16.5	17.6	9.4	19.5	6.2	3.3	0.8	-	0.1
	男	100.0				29.7	18.1	17.2	7.8	20.0	2.8	3.1	0.9	-	0.3
	女	100.0				24.4	15.4	17.9	10.5	19.2	8.5	3.4	0.6	-	-
A09 感染症と推定される下痢及び胃腸炎	計	11	1.4	134	12.2	6	2	2	-	1	-	-	-	-	-
	男	5	1.6	105	21.0	1	1	2	-	1	-	-	-	-	-
	女	6	1.3	29	4.8	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-
A319 非結核性抗酸菌感染症、詳細不明	計	1	0.1	5	5.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	5	5.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A419 敗血症、詳細不明	計	1	0.1	36	36.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	36	36.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
B069 風疹、合併症を伴わないもの	計	1	0.1	36	36.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	36	36.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C029 舌、部位不明【その他及び部位不明の舌の悪性新生物】	計	2	0.3	78	39.0	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
	男	2	0.6	78	39.0	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C160 嚢門【胃の悪性新生物】	計	1	0.1	86	86.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	86	86.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
C169 胃、部位不明【胃の悪性新生物】	計	14	1.8	482	34.4	4	1	-	1	5	3	-	-	-	-
	男	9	2.8	292	32.4	3	1	-	1	2	2	-	-	-	-
	女	5	1.1	190	38.0	1	-	-	-	3	1	-	-	-	-
C184 横行結腸【結腸の悪性新生物】	計	3	0.4	358	119.3	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-
	男	2	0.6	282	141.0	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-
	女	1	0.2	76	76.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
C186 下行結腸【結腸の悪性新生物】	計	1	0.1	44	44.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	44	44.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C187 S状結腸【結腸の悪性新生物】	計	1	0.1	49	49.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	49	49.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C189 結腸、部位不明【結腸の悪性新生物】	計	1	0.1	3	3.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	3	3.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C20 直腸の悪性新生物	計	3	0.4	65	21.7	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-
	男	3	0.9	65	21.7	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C220 肝癌【肝及び肝内胆管の悪性新生物】	計	3	0.4	60	20.0	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	3	0.6	60	20.0	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-
C240 肝外胆管【その他及び部位不明の胆道の悪性新生物】	計	1	0.1	76	76.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	76	76.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
C251 膵体部【膵の悪性新生物】	計	1	0.1	120	120.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	120	120.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
C252 膵尾部【膵の悪性新生物】	計	1	0.1	63	63.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	63	63.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
C349 気管支又は肺、部位不明【気管支及び肺の悪性新生物】	計	24	3.0	578	24.1	10	3	1	2	6	-	2	-	-	-
	男	17	5.3	404	23.8	7	2	-	1	6	-	1	-	-	-
	女	7	1.5	174	24.9	3	1	1	1	-	-	1	-	-	-
C56 卵巣の悪性新生物	計	4	0.5	124	31.0	-	1	1	-	2	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	4	0.9	124	31.0	-	1	1	-	2	-	-	-	-	-
C66 尿管の悪性新生物	計	1	0.1	15	15.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	15	15.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
C859 非ホジキンリンパ腫、型不明	計	1	0.1	116	116.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	116	116.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
D179 良性脂肪腫性新生物、部位不明【良性脂肪腫性新生物(脂肪腫を含む)】	計	2	0.3	25	12.5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	0.4	25	12.5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
D219 結合組織及びその他の軟部組織、部位不明	計	1	0.1	12	12.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	12	12.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
D369 部位不明の良性新生物【その他の部位及び部位不明の良性新生物】	計	1	0.1	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	2	2.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D375 直腸【口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物】	計	1	0.1	17	17.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	17	17.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
D376 肝、胆のうく囊>及び胆管【口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物】	計	1	0.1	33	33.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	33	33.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
D377 その他の消化器【口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物】	計	1	0.1	3	3.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	3	3.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D469 骨髄異形成症候群、詳細不明【骨髄異形成症候群】	計	1	0.1	12	12.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	12	12.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D591 その他の自己免疫性溶血性貧血	計	1	0.1	4	4.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	4	4.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E11 インスリン非依存性糖尿病<N I D D M>	計	3	0.4	111	37.0	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-
	男	2	0.6	24	12.0	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	87	87.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
E14 詳細不明の糖尿病	計	2	0.3	44	22.0	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	1	0.3	8	8.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	0.2	36	36.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-

I C D 1 0コード別・在院期間別・病名数

(2013/04/01-2014/03/31)

		総数	構成比 (%)	延べ在院 日数	平均在 院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1 年	1-2年	2年-
E162 低血糖症、詳細不明	計	2	0.3	7	3.5	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	7	3.5	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
E46 詳細不明のたんぱく<蛋白>エ ネルギー性栄養失調（症）	計	2	0.3	49	24.5	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	2	0.6	49	24.5	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
E833 リン代謝障害	計	1	0.1	81	81.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	81	81.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
E86 体流量減少（症）	計	7	0.9	252	36.0	3	—	—	—	3	—	1	—	—	—
	男	5	1.6	194	38.8	2	—	—	—	2	—	1	—	—	—
	女	2	0.4	58	29.0	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—
E871 低浸透圧及び低ナトリウム血症	計	2	0.3	84	42.0	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	5	5.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	79	79.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
E880 血漿たんぱく<蛋白>代謝障 害、他に分類されないもの	計	2	0.3	33	16.5	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	25	25.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
F03 詳細不明の認知症	計	4	0.5	176	44.0	1	1	—	1	—	—	1	—	—	—
	男	1	0.3	23	23.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	女	3	0.6	153	51.0	1	1	—	—	—	—	1	—	—	—
F209 統合失調症、詳細不明	計	1	0.1	80	80.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	80	80.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
F329 うつ病エピソード、詳細不明	計	2	0.3	13	6.5	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	5	5.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
F411 全般性不安障害	計	2	0.3	95	47.5	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	95	47.5	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—
F419 不安障害、詳細不明	計	1	0.1	45	45.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	45	45.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
F453 身体表現性自律神経機能不全	計	2	0.3	9	4.5	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	2	0.6	9	4.5	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
F509 摂食障害、詳細不明	計	1	0.1	7	7.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	7	7.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
G20 パーキンソン病	計	2	0.3	37	18.5	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	37	18.5	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—
G408 その他のてんかん	計	3	0.4	22	7.3	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	3	0.6	22	7.3	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—
G442 緊張性頭痛	計	1	0.1	51	51.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	51	51.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
G459 一過性脳虚血発作、詳細不明	計	10	1.3	52	5.2	8	1	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	5	1.6	26	5.2	4	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	5	1.1	26	5.2	4	—	1	—	—	—	—	—	—	—
G473 睡眠時無呼吸	計	7	0.9	14	2.0	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	6	1.9	12	2.0	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
G560 手根管症候群	計	3	0.4	28	9.3	2	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	2	0.6	10	5.0	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	18	18.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
G562 尺骨神経の病変	計	3	0.4	38	12.7	1	—	2	—	—	—	—	—	—	—
	男	2	0.6	34	17.0	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	4	4.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
G573 外側膝窩神経の病変	計	1	0.1	70	70.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	70	70.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
G931 無酸素性脳損傷、他に分類され ないもの	計	1	0.1	13	13.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	13	13.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
G959 脊髄疾患、詳細不明	計	2	0.3	121	60.5	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	121	60.5	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—
H110 翼状片	計	2	0.3	22	11.0	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	12	12.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	10	10.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
H259 老人性白内障、詳細不明	計	64	8.1	1,078	16.8	1	9	49	4	1	—	—	—	—	—
	男	24	7.5	417	17.4	—	4	19	—	1	—	—	—	—	—
	女	40	8.5	661	16.5	1	5	30	4	—	—	—	—	—	—
H261 外傷性白内障	計	1	0.1	10	10.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	10	10.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
H512 核間(眼筋)麻痺	計	1	0.1	128	128.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	128	128.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
H813 その他の末梢性めまい<眩暈 (症)>	計	2	0.3	26	13.0	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	2	0.6	26	13.0	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
I10 本態性(原発性<一次性>)高 血圧(症)	計	1	0.1	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
I209 狭心症、詳細不明	計	1	0.1	5	5.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	5	5.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
I270 原発性肺高血圧(症)	計	1	0.1	6	6.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	6	6.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
I350 大動脈弁狭窄(症)	計	2	0.3	124	62.0	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	124	62.0	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—

I C D 1 0コード別・在院期間別・病名数

(2013/04/01-2014/03/31)

		総数	構成比 (%)	延べ在院 日数	平均在 院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1 年	1-2年	2年-
148 心房細動及び粗動	計	2	0.3	54	27.0	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	54	27.0	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—
1500 うっ血性心不全	計	1	0.1	59	59.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	59	59.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
1509 心不全、詳細不明	計	28	3.6	797	28.5	2	9	5	4	5	2	1	—	—	—
	男	12	3.8	347	28.9	1	4	2	1	3	—	1	—	—	—
	女	16	3.4	450	28.1	1	5	3	3	2	2	—	—	—	—
1614 小脳の脳内出血	計	1	0.1	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1619 脳内出血、詳細不明	計	1	0.1	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1620 硬膜下出血（急性）（非外傷性）	計	1	0.1	74	74.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	74	74.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
1638 その他の脳梗塞	計	1	0.1	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1639 脳梗塞、詳細不明	計	18	2.3	946	52.6	2	2	4	—	4	3	2	1	—	—
	男	6	1.9	299	49.8	—	—	2	—	2	1	1	—	—	—
	女	12	2.6	647	53.9	2	2	2	—	2	2	1	1	—	—
1691 脳内出血の続発・後遺症	計	1	0.1	6	6.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	6	6.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1693 脳梗塞の続発・後遺症	計	8	1.0	265	33.1	2	4	—	—	1	—	1	—	—	—
	男	8	2.5	265	33.1	2	4	—	—	1	—	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
J040 急性喉頭炎	計	1	0.1	6	6.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	6	6.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
J069 急性上気道感染症、詳細不明	計	1	0.1	4	4.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	4	4.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
J111 その他の呼吸器症状を伴うインフルエンザ、インフルエンザウイルスが分離されないもの	計	1	0.1	74	74.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	74	74.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
J189 肺炎、詳細不明	計	45	5.7	1,720	38.2	2	8	10	8	11	2	2	2	—	—
	男	16	5.0	717	44.8	1	3	2	4	2	2	1	1	—	—
	女	29	6.2	1,003	34.6	1	5	8	4	9	—	1	1	—	—
J209 急性気管支炎、詳細不明	計	6	0.8	190	31.7	3	—	—	—	1	2	—	—	—	—
	男	1	0.3	4	4.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	5	1.1	186	37.2	2	—	—	—	1	2	—	—	—	—
J219 急性細気管支炎、詳細不明	計	1	0.1	9	9.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	9	9.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
J441 急性増悪を伴う慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計	4	0.5	81	20.3	1	—	2	—	1	—	—	—	—	—
	男	4	1.3	81	20.3	1	—	2	—	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
J449 慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計	4	0.5	154	38.5	1	—	—	—	3	—	—	—	—	—
	男	4	1.3	154	38.5	1	—	—	—	3	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
J459 喘息、詳細不明	計	4	0.5	58	14.5	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—
	男	2	0.6	11	5.5	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	47	23.5	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—
J46 喘息発作重積状態	計	3	0.4	31	10.3	2	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	2	0.6	15	7.5	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	16	16.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
J690 食物及び吐物による肺臓炎	計	8	1.0	267	33.4	2	1	1	—	3	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	8	1.7	267	33.4	2	1	1	—	3	1	—	—	—	—
J841 肺線維症を伴うその他の間質性肺疾患	計	1	0.1	38	38.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	38	38.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
J931 その他の自然気胸	計	1	0.1	3	3.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	3	3.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
J939 気胸、詳細不明	計	1	0.1	45	45.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	45	45.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
J961 慢性呼吸不全	計	4	0.5	1,020	255.0	1	—	1	—	1	—	—	—	—	1
	男	2	0.6	986	493.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1
	女	2	0.4	34	17.0	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—
J988 その他の明示された呼吸器障害	計	1	0.1	53	53.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	53	53.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
K254 慢性又は詳細不明、出血を伴うもの【胃潰瘍】	計	1	0.1	14	14.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	14	14.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K255 慢性又は詳細不明、穿孔を伴うもの【胃潰瘍】	計	1	0.1	35	35.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	35	35.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
K317 胃及び十二指腸のポリープ	計	1	0.1	18	18.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	18	18.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
K319 胃及び十二指腸の疾患、詳細不明	計	1	0.1	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K359 急性虫垂炎、詳細不明	計	3	0.4	27	9.0	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	16	8.0	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K409 一側性又は患側不明のそけいく巣径>ヘルニア、閉塞又はえく巣>疝を伴わないもの	計	12	1.5	107	8.9	3	9	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	9	2.8	81	9.0	2	7	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	3	0.6	26	8.7	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—

I C D 1 0コード別・在院期間別・病名数

(2013/04/01-2014/03/31)

		総数	構成比 (%)	延べ在院 日数	平均在 院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1 年	1-2年	2年-
K413 一側性又は患側不明の大腿く股 ＞ヘルニア、閉塞を伴い	計	1	0.1	10	10.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	10	10.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K439 腹壁ヘルニア、閉塞又はえく様 ＞疝を伴わないもの	計	1	0.1	80	80.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	80	80.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K449 横隔膜ヘルニア、閉塞又はえく 様＞疝を伴わないもの	計	1	0.1	9	9.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	9	9.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
K550 腸の急性血行障害	計	2	0.3	11	5.5	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	11	5.5	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K559 腸の血行障害、詳細不明	計	5	0.6	111	22.2	—	1	2	1	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	5	1.1	111	22.2	—	1	2	1	1	—	—	—	—	—
K562 軸捻（転）	計	1	0.1	76	76.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	76	76.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
K565 閉塞を伴う腸癒着[索条物]	計	1	0.1	19	19.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	19	19.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
K567 イレウス、詳細不明	計	10	1.3	175	17.5	1	4	2	3	—	—	—	—	—	—
	男	4	1.3	56	14.0	1	2	—	1	—	—	—	—	—	—
	女	6	1.3	119	19.8	—	2	2	2	—	—	—	—	—	—
K573 穿孔又は膿瘍を伴わない大腸の 憩室性疾患	計	1	0.1	34	34.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	34	34.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
K589 下痢を伴わない過敏性腸症候群	計	3	0.4	116	38.7	2	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	男	1	0.3	103	103.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	女	2	0.4	13	6.5	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K610 肛門膿瘍	計	2	0.3	13	6.5	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	2	0.6	13	6.5	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K626 肛門及び直腸の潰瘍	計	1	0.1	4	4.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	4	4.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K631 腸穿孔（非外傷性）	計	2	0.3	111	55.5	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	111	55.5	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—
K635 大腸く結腸＞のポリープ	計	12	1.5	27	2.3	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	8	2.5	19	2.4	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	4	0.9	8	2.0	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K639 腸の疾患、詳細不明	計	1	0.1	54	54.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	54	54.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
K650 急性腹膜炎	計	1	0.1	30	30.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	30	30.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
K659 腹膜炎、詳細不明	計	2	0.3	65	32.5	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	49	49.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	16	16.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
K719 中毒性肝疾患、詳細不明	計	1	0.1	13	13.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	13	13.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
K768 その他の明示された肝疾患	計	1	0.1	10	10.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	10	10.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K802 胆のうく囊＞炎を伴わない胆の うく囊＞結石	計	2	0.3	19	9.5	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
K805 胆管炎又は胆のうく囊＞炎を伴 わない胆管結石	計	4	0.5	105	26.3	1	—	1	1	1	—	—	—	—	—
	男	2	0.6	53	26.5	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	52	26.0	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—
K810 急性胆のうく囊＞炎	計	2	0.3	54	27.0	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	46	46.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K819 胆のうく囊＞炎、詳細不明	計	2	0.3	64	32.0	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	64	32.0	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—
K830 胆管炎	計	1	0.1	1	1.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	1	1.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K831 胆管閉塞	計	2	0.3	10	5.0	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	4	4.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	6	6.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K839 胆道の疾患、詳細不明	計	1	0.1	30	30.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	30	30.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K85 急性膵炎	計	4	0.5	84	21.0	1	1	1	—	1	—	—	—	—	—
	男	2	0.6	16	8.0	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	68	34.0	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—
K913 術後腸閉塞	計	1	0.1	26	26.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	26	26.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
K921 メレナ	計	3	0.4	31	10.3	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	13	13.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	18	9.0	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
L031 (四) 肢のその他の部位の蜂巣 炎＜蜂窩織炎＞	計	1	0.1	9	9.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	9	9.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
L039 蜂巣炎＜蜂窩織炎＞、詳細不明	計	3	0.4	53	17.7	—	1	1	1	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	16	16.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	37	18.5	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—
L89 じょくく瘡＞瘡性潰瘍	計	2	0.3	371	185.5	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	371	185.5	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—

I C D 1 0コード別・在院期間別・病名数

(2013/04/01-2014/03/31)

		総数	構成比 (%)	延べ在院 日数	平均在 院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1 年	1-2年	2年-
M1126	その他の軟骨石灰化症（膝関節 偽痛風）	計	3	0.4	73	24.3	1	—	1	—	—	—	—	—	—
		男	2	0.6	67	33.5	—	—	1	—	1	—	—	—	—
		女	1	0.2	6	6.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—
M1316	単（発性）関節炎、他に分類され ないもの（膝関節炎）	計	3	0.4	73	24.3	1	—	—	2	—	—	—	—	—
		男	2	0.6	71	35.5	—	—	—	2	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—
M1317	単（発性）関節炎、他に分類され ないもの（足関節炎）	計	1	0.1	19	19.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	19	19.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—
M169	股関節症、詳細不明	計	3	0.4	105	35.0	—	—	—	2	1	—	—	—	—
		男	1	0.3	29	29.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—
		女	2	0.4	76	38.0	—	—	—	1	1	—	—	—	—
M179	膝関節症、詳細不明	計	20	2.5	718	35.9	—	1	1	3	15	—	—	—	—
		男	4	1.3	135	33.8	—	—	1	1	2	—	—	—	—
		女	16	3.4	583	36.4	—	1	—	2	13	—	—	—	—
M1991	関節症、詳細不明（肩関節炎）	計	1	0.1	63	63.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	63	63.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—
M2451	関節拘縮（肩関節拘縮）	計	1	0.1	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—
M300	結節性多発（性）動脈炎	計	1	0.1	287	287.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—
		男	1	0.3	287	287.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
M351	その他の重複症候群	計	1	0.1	60	60.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—
		男	1	0.3	60	60.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
M4186	その他の型の（脊柱）側弯 （症）（変性側弯症）	計	1	0.1	7	7.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	7	7.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—
M4316	脊椎すべり症（腰椎すべり症）	計	1	0.1	26	26.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	26	26.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—
M4659	その他の感染性脊椎障害（化膿 性脊椎炎）	計	1	0.1	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—
		男	1	0.3	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
M4806	脊柱管狭窄（症）（腰部脊柱管 狭窄症）	計	11	1.4	131	11.9	6	2	—	2	1	—	—	—	—
		男	4	1.3	74	18.5	2	—	—	1	1	—	—	—	—
		女	7	1.5	57	8.1	4	2	—	1	—	—	—	—	—
M511	腰部及びその他の部位の椎間板 障害、神経根障害を伴うもの （G 5 5 . 1 *）	計	2	0.3	50	25.0	1	—	—	1	—	—	—	—	—
		男	1	0.3	3	3.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	47	47.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—
M512	その他の明示された椎間板ヘル ニア<変位>	計	1	0.1	4	4.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	4	4.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—
M5456	下背部痛（腰腹痛）	計	4	0.5	17	4.3	4	—	—	—	—	—	—	—	—
		男	3	0.9	9	3.0	3	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—
M6259	筋の消耗及び萎縮、他に分類され ないもの（筋萎縮症）	計	2	0.3	89	44.5	—	—	—	1	1	—	—	—	—
		男	1	0.3	60	60.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	29	29.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—
M6289	その他の明示された筋障害（横 紋筋融解）	計	1	0.1	12	12.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—
		男	1	0.3	12	12.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
M6534	ばねく弾発指（結節性腱炎 患）	計	3	0.4	6	2.0	3	—	—	—	—	—	—	—	—
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	3	0.6	6	2.0	3	—	—	—	—	—	—	—	—
M7022	肘頭滑液包炎（肘頭滑液包炎）	計	1	0.1	13	13.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—
		男	1	0.3	13	13.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
M7032	肘のその他の滑液包炎（肘関節 滑液包炎）	計	1	0.1	3	3.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—
		男	1	0.3	3	3.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
M7197	滑液包障害、詳細不明（足関節 滑液包炎）	計	1	0.1	26	26.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	26	26.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—
M7685	下肢のその他の腱（靱帯）附着部 症、足を除く（股関節周囲炎）	計	1	0.1	10	10.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	10	10.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—
M8415	骨折の骨癒合不全[偽関節]（大 腿骨偽関節）	計	1	0.1	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—
M8705	骨の特発性無菌<腐>性えく壊 >死（特発性大腿骨頭壊死）	計	1	0.1	51	51.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—
		男	1	0.3	51	51.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
M8706	骨の特発性無菌<腐>性えく壊 >死（膝関節特発性骨壊死）	計	1	0.1	32	32.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	32	32.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—
N10	急性尿管間質性腎炎	計	2	0.3	41	20.5	—	—	2	—	—	—	—	—	—
		男	2	0.6	41	20.5	—	—	2	—	—	—	—	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
N12	尿管間質性腎炎、急性又は慢 性と明示されないもの	計	2	0.3	14	7.0	2	—	—	—	—	—	—	—	—
		男	1	0.3	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	1	0.2	6	6.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—
N179	急性腎不全、詳細不明	計	2	0.3	117	58.5	—	1	—	—	—	1	—	—	—
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	2	0.4	117	58.5	—	1	—	—	—	1	—	—	—
N189	慢性腎不全、詳細不明	計	5	0.6	55	11.0	—	5	—	—	—	—	—	—	—
		男	1	0.3	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—
		女	4	0.9	44	11.0	—	4	—	—	—	—	—	—	—
N209	尿路結石、詳細不明	計	2	0.3	14	7.0	1	1	—	—	—	—	—	—	—
		男	2	0.6	14	7.0	1	1	—	—	—	—	—	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
N390	尿路感染症、部位不明	計	24	3.0	603	25.1	8	3	1	4	7	1	—	—	—
		男	6	1.9	162	27.0	—	2	—	1	3	—	—	—	—
		女	18	3.8	441	24.5	8	1	1	3	4	—	1	—	—

I C D 1 0コード別・在院期間別・病名数

(2013/04/01-2014/03/31)

		総数	構成比 (%)	延べ在院 日数	平均在 院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1 年	1-2年	2年-
R068 その他及び詳細不明の呼吸の異常	計	1	0.1	20	20.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	20	20.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
R098 循環器系及び呼吸器系に関するその他の明示された症状及び徴候	計	1	0.1	19	19.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	19	19.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
R100 急性腹症	計	1	0.1	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
R11 悪心及び嘔吐	計	4	0.5	144	36.0	1	—	1	1	—	1	—	—	—	—
	男	2	0.6	49	24.5	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	95	47.5	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—
R233 特発性斑状出血【その他の皮膚変化】	計	1	0.1	40	40.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	40	40.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
R252 (有痛性)けいれんく痙攣＞【異常不随意運動】	計	3	0.4	35	11.7	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	3	0.9	35	11.7	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
R31 詳細不明の血尿	計	1	0.1	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
R402 昏睡、詳細不明	計	6	0.8	106	17.7	4	—	—	—	2	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	5	1.1	104	20.8	3	—	—	—	2	—	—	—	—	—
R42 めまい<眩暈>感及びよめき感	計	10	1.3	110	11.0	4	4	1	1	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	10	2.1	110	11.0	4	4	1	1	—	—	—	—	—	—
R509 発熱、詳細不明	計	3	0.4	21	7.0	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	4	4.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	17	8.5	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
R51 頭痛	計	1	0.1	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
R54 老衰	計	13	1.6	441	33.9	3	1	2	2	3	1	1	—	—	—
	男	3	0.9	86	28.7	—	—	—	2	1	—	—	—	—	—
	女	10	2.1	355	35.5	3	1	2	—	2	1	1	—	—	—
R55 失神及び虚脱	計	2	0.3	22	11.0	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	22	11.0	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—
R590 限局性リンパ節腫大	計	1	0.1	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
R599 リンパ節腫大、詳細不明	計	1	0.1	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
R600 限局性浮腫	計	2	0.3	32	16.0	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	32	16.0	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—
R630 食欲不振	計	1	0.1	3	3.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	3	3.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S000 頭皮の表在損傷	計	3	0.4	17	5.7	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	2	0.6	10	5.0	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	7	7.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S001 眼瞼及び眼球周囲部の挫傷	計	1	0.1	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S010 頭皮の開放創	計	1	0.1	18	18.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	18	18.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
S062 びまん性脳損傷	計	1	0.1	111	111.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	男	1	0.3	111	111.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S065 外傷性硬膜下出血	計	1	0.1	17	17.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	17	17.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S066 外傷性くも膜下出血	計	1	0.1	134	134.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	134	134.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
S1290 頭部の骨折、部位不明（頸椎骨折）	計	1	0.1	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S2200 胸椎骨折（胸椎圧迫骨折）	計	16	2.0	496	31.0	—	2	6	4	2	1	1	—	—	—
	男	4	1.3	95	23.8	—	1	1	2	—	—	—	—	—	—
	女	12	2.6	401	33.4	—	1	5	2	2	1	1	—	—	—
S2220 胸骨骨折（胸椎骨折）	計	3	0.4	75	25.0	1	—	1	—	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	3	0.6	75	25.0	1	—	1	—	1	—	—	—	—	—
S2230 肋骨骨折（肋骨不全骨折）	計	1	0.1	10	10.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	10	10.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
S300 下背部及び骨盤部の挫傷【腹部、下背部及び骨盤部の表在損傷】	計	3	0.4	69	23.0	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	2	0.6	61	30.5	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S3200 腰椎骨折（腰椎圧迫骨折）	計	10	1.3	231	23.1	1	3	3	—	3	—	—	—	—	—
	男	3	0.9	93	31.0	—	—	2	—	1	—	—	—	—	—
	女	7	1.5	138	19.7	1	3	1	—	2	—	—	—	—	—
S3210 仙骨骨折（仙骨亀裂骨折）	計	1	0.1	70	70.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	70	70.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
S3250 恥骨骨折（恥骨開放骨折）	計	6	0.8	257	42.8	—	—	—	3	1	2	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	6	1.3	257	42.8	—	—	—	3	1	2	—	—	—	—
S3270 腰椎及び骨盤の多発骨折（マルゲース骨折）	計	1	0.1	28	28.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	28	28.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

I C D 1 0コード別・在院期間別・病名数

(2013/04/01-2014/03/31)

		総数	構成比 (%)	延べ在院 日数	平均在 院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1 年	1-2年	2年-
S3280 腰椎及び骨盤のその他及び部位 不明の骨折（骨盤骨折）	計	2	0.3	69	34.5	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	69	34.5	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—
S4200 鎖骨骨折（鎖骨亀裂骨折）	計	3	0.4	159	53.0	—	—	—	—	2	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	39	39.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	120	60.0	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—
S422 上腕骨近位端骨折	計	1	0.1	4	4.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	4	4.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S4220 上腕骨近位端骨折（上腕骨骨頭 骨折）	計	3	0.4	79	26.3	1	—	—	—	2	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	3	0.6	79	26.3	1	—	—	—	2	—	—	—	—	—
S4230 上腕骨骨幹部骨折（上腕骨脱臼 骨折）	計	1	0.1	78	78.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	78	78.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
S4240 上腕骨遠位端骨折（上腕骨遠位 端粉碎骨折）	計	2	0.3	198	99.0	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	198	99.0	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—
S430 肩関節脱臼	計	1	0.1	3	3.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	3	3.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S460 肩（回旋筋）腱板の腱損傷	計	1	0.1	56	56.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	56	56.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S462 上腕二頭筋のその他の部位の筋 及び腱の損傷	計	1	0.1	13	13.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	13	13.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S500 肘の挫傷	計	1	0.1	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
S5200 尺骨近位端骨折（モンテジア骨 折）	計	1	0.1	51	51.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	51	51.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
S5250 橈骨遠位端骨折（ガリアッチ骨 折）	計	5	0.6	161	32.2	—	1	—	2	1	1	—	—	—	—
	男	1	0.3	25	25.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	女	4	0.9	136	34.0	—	1	—	1	1	1	—	—	—	—
S561 前腕のその他の指の屈筋及び腱 の損傷	計	1	0.1	26	26.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	26	26.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
S6230 その他の中手骨骨折（第一手根 中手関節脱臼骨折）	計	2	0.3	7	3.5	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	2	0.6	7	3.5	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S6231 その他の中手骨骨折（小指中手 骨遠位端開放骨折）	計	1	0.1	18	18.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	18	18.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S6260 その他の指の骨折（小指基節骨 骨折）	計	1	0.1	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S6261 その他の指の骨折（中指末節骨 開放骨折）	計	1	0.1	38	38.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	38	38.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
S7200 大腿骨頭部骨折（大腿骨頸部外 側骨折）	計	7	0.9	340	48.6	1	—	—	—	5	—	1	—	—	—
	男	2	0.6	166	83.0	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—
	女	5	1.1	174	34.8	1	—	—	—	4	—	—	—	—	—
S7210 転子貫通骨折（大転子部剥離骨 折）	計	9	1.1	698	77.6	—	—	—	—	2	6	1	—	—	—
	男	1	0.3	45	45.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	8	1.7	653	81.6	—	—	—	—	1	6	1	—	—	—
S7230 大腿骨骨幹部骨折（大腿骨骨幹 部粉碎骨折）	計	1	0.1	81	81.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	81	81.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
S7290 大腿骨骨折、部位不明（大腿骨 粉碎骨折）	計	1	0.1	120	120.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	120	120.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
S800 膝の挫傷	計	3	0.4	48	16.0	1	—	1	1	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	18	18.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	30	15.0	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—
S819 下腿の開放創、部位不明	計	1	0.1	7	7.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	7	7.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S8200 膝蓋骨骨折（膝関節脱臼骨折）	計	2	0.3	86	43.0	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	47	47.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	39	39.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
S8220 脛骨骨幹部骨折（脛骨腓骨骨幹 部骨折）	計	2	0.3	87	43.5	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—
	男	2	0.6	87	43.5	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S8240 腓骨のみの骨折（腓骨剥離骨 折）	計	1	0.1	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S8280 下腿のその他の部位の骨折（足 関節脱臼粉碎骨折）	計	2	0.3	70	35.0	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—
	男	2	0.6	70	35.0	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S832 半月裂傷＜断裂＞、新鮮損傷	計	4	0.5	58	14.5	—	2	2	—	—	—	—	—	—	—
	男	3	0.9	42	14.0	—	2	1	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	16	16.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
S860 アキレス腱損傷	計	3	0.4	99	33.0	—	—	—	2	1	—	—	—	—	—
	男	3	0.9	99	33.0	—	—	—	2	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S9200 踵骨骨折（踵骨開放骨折）	計	1	0.1	52	52.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	52	52.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
S934 足首の捻挫及びストレイン	計	1	0.1	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
T009 多発性表在損傷、詳細不明	計	1	0.1	16	16.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	16	16.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

ICD10コード別・在院期間別・病名数

(2013/04/01-2014/03/31)

		総数	構成比 (%)	延べ在院 日数	平均在 院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1 年	1-2年	2年-
T0210 胸部く郭の骨折、下背部及び 骨盤部の骨折を伴うもの（胸腰 椎圧迫骨折）	計	2	0.3	72	36.0	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	72	36.0	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—
T141 部位不明の開放創	計	1	0.1	5	5.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	5	5.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
T146 部位不明の筋及び腱の損傷	計	1	0.1	9	9.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	9	9.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
T179 気道内異物、部位不明	計	3	0.4	74	24.7	1	—	—	1	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	42	42.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	32	16.0	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—
T509 その他及び詳細不明の薬物、薬 剤及び生物学的製剤【利尿薬、 その他及び詳細不明の薬物】	計	2	0.3	17	8.5	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	4	4.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	13	13.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
T630 ヘビ毒【有毒動物との接触によ る毒作用】	計	2	0.3	16	8.0	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	16	8.0	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
T678 熱及び光線のその他の作用【熱 及び光線の作用】	計	1	0.1	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
T814 処置に続発する感染症、他に分 類されないもの	計	1	0.1	13	13.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	13	13.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
T828 心臓及び血管のプロステシー ス、挿入物及び移植片のその他 の合併症	計	1	0.1	4	4.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	4	4.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
T845 体内関節 プロステシーによる 感染症及び炎症性反応	計	1	0.1	24	24.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	24	24.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
T911 脊椎骨折の続発・後遺症	計	3	0.4	46	15.3	1	1	—	1	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.3	4	4.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	42	21.0	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—
Z470 骨折プレート及びその他の内固 定器具の除去に関する経過観察 ＜フォローアップ＞ケア	計	4	0.5	42	10.5	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	2	0.6	27	13.5	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	15	7.5	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
Z501 その他の理学療法	計	13	1.6	451	34.7	1	1	4	1	5	—	1	—	—	—
	男	4	1.3	213	53.3	—	—	1	—	2	—	1	—	—	—
	女	9	1.9	238	26.4	1	1	3	1	3	—	—	—	—	—
Z966 整形外科的関節挿入物の存在	計	1	0.1	18	18.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.2	18	18.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
Z988 その他の明示された術後状態	計	7	0.9	175	25.0	—	1	2	2	2	—	—	—	—	—
	男	5	1.6	143	28.6	—	1	—	2	2	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	32	16.0	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—

疾病中分類別・上位疾病別・病名数

(2013/04/01-2014/03/31)

対象期間の全病名数788件

番号	順位	コード	分類名	件数	構成比 (%)	延べ在院 日数	平均在院 日数	平均年齢
1	1	079	水晶体の障害	65	8.2	1,088	16.7	77.7
2	2	102	インフルエンザ及び肺炎	46	5.8	1,794	39.0	86.9
3	3	116	腸のその他の疾患	41	5.2	751	18.3	77.9
4	4	096	その他の型の心疾患	33	4.2	1,034	31.3	86.7
5	5	097	脳血管疾患	32	4.1	1,326	41.4	80.5
6	6	023	消化器の悪性新生物	30	3.8	1,406	46.9	79.7
7	7	024	呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物	24	3.0	578	24.1	76.6
8	7	131	関節症	24	3.0	886	36.9	79.0
9	7	149	尿路系のその他の疾患	24	3.0	603	25.1	86.9
10	7	191	全身症状及び徴候	24	3.0	540	22.5	84.0
11	11	200	腹部、下背部、腰椎及び骨盤部の損傷	23	2.9	724	31.5	80.3
12	12	070	挿間性及び発作性障害	21	2.7	139	6.6	75.3
13	13	199	胸部＜郭＞損傷	20	2.5	581	29.1	82.1
14	14	119	胆のう＜嚢＞、胆管及び膵の障害	18	2.3	367	20.4	76.1
15	14	204	股関節部及び大腿の損傷	18	2.3	1,239	68.8	86.3
16	14	205	膝及び下腿の損傷	18	2.3	466	25.9	65.9
17	17	223	特定の処置及び保健ケアのための保健サービスの利用者	17	2.2	493	29.0	75.1
18	18	189	認識、知覚、情緒状態及び行動に関する症状及び徴候	16	2.0	216	13.5	74.0
19	19	105	慢性下気道疾患	15	1.9	324	21.6	69.0
20	19	114	ヘルニア	15	1.9	206	13.7	76.0

部門別統計

日野病院部門別各種統計調べ(No.1)

(単位:件)

(単位:人)

手術件数	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	差引
外科	105	81	81	75	65	64	△ 1
整形外科	69	190	130	155	110	145	35
眼科	192	177	161	151	139	122	△ 17
泌尿器科	0	0	2	0	0	0	0
計	366	448	374	381	314	331	17

(単位:件)

内視鏡検査	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	差引
胃カメラ	698	819	729	655	695	674	△ 21
胃透視	28	35	24	23	16	7	△ 9
大腸ファイバー	73	89	89	77	132	131	△ 1
大腸透視	5	0	2	1	0	0	0
気管支鏡	6	9	7	12	18	13	△ 5
胃ろう造設術	20	17	19	18	12	14	2
膀胱鏡			33	36	54	55	1
ステント交換			12	26	28	25	△ 3

(単位:件)

超音波診断検査	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	差引
腹部エコー	714	804	773	642	589	543	△ 46
心エコー	348	383	244	237	246	259	13

(単位:件)

薬状局況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	差引
服薬指導(人数)	529	581	551	571	378	388	10
服薬指導(件数)	927	1,071	1,036	1,074	643	660	17
訪問服薬指導	79	110	127	97	94	81	△ 13
処方箋枚数	9,705	10,067	10,209	10,010	11,141	11,006	△ 135
薬剤数	26,949	27,608	25,471	27,567	30,693	32,249	1,556
注射箋枚数	18,408	18,685	16,159	14,976	14,190	14,387	197
製剤数	912	889	665	877	862	774	△ 88
I V H 本数	5,236	4,820	3,131	1,902	1,831	1,696	△ 135
疑義照会	776	599	539	587	632	597	△ 35

人工透析状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	差引
実患者数	107	109	142	157	178	133	△ 45
延べ患者数	1,150	1,217	1,536	1,734	1,938	1,552	△ 386

(単位:件)

放射線状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	差引
一般撮影	5,704	6,014	5,293	5,563	5,729	5,811	82
ポータブル撮影	1,360	887	888	845	803	730	△ 73
外科用イメージ撮影	48	97	57	72	45	71	26
骨塩定量	318	266	332	321	578	465	△ 113
マンモ撮影	230	231	51	36	29	23	△ 6
訪問撮影	68	47	33	52	83	77	△ 6
C T 検査	1,595	1,512	1,564	1,657	1,732	1,626	△ 106
M R I 検査	646	738	600	640	838	644	△ 194
遠隔読影	0	0	1,300	1,530	1,698	1,740	42
計	9,969	9,792	10,118	10,716	11,535	11,187	△ 348

(単位:件)

検査実施状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	差引
人間ドック	97	116	136	86	116	119	3
人間ドック(M R I 含)	19	20	19	22	17	22	5
共済組合ドック	69	128	65	71	76	66	△ 10
脳ドック	91	82	88	88	74	58	△ 16
生活習慣病診断	124	129	124	136	128	133	5
子宮がん	238	230	9	5	36	30	△ 6
乳がん・マンモ	165	191	19	3	5	3	△ 2
骨塩	24	24	22	12	31	42	11
原爆検診	10	6	6	7	8	6	△ 2
原爆二世診	0	0	1	1	1	0	△ 1
予防接種	1,058	1,719	1,628	1,722	1,542	1,609	67
特定検診	33	12	13	9	9	13	4
事業所健診	0	37	36	34	29	37	8
計	1,928	2,694	2,166	2,196	2,072	2,138	66

日野病院部門別各種統計調べ(No.2)

(単位: 件)

栄養管理室 状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	差引
入院時 食事療養	58,541	64,905	63,016	66,148	64,536	64,526	△ 10
特別食加算	37,574	39,577	32,181	32,364	34,346	33,564	△ 782
食堂加算	19,971	22,141	21,447	22,514	21,917	21,716	△ 201
入院時 延べ食数	58,541	64,905	63,016	66,148	64,536	64,526	△ 10
外来透 析数	802	878	955	881	806	884	78
栄養指 導	578	557	586	532	548	532	△ 16
訪問栄養指 導	0	2	6	3	4	1	△ 3
特定健診指 導	10	26	5	11	1	1	0
その他検診等 指 導	47	9	6	25	120	195	75

(単位: 件)

理学療法 状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	差引
運動器リハ (Ⅰ)	8,158	16,049	9,500	8,689	9,463	9,440	△ 23
運動器リハ (Ⅱ)			4,890	5,020	3,383	3,572	189
呼吸器リハ (Ⅰ)	1,424	1,260	1,410	1,529	1,960	952	△ 1,008
脳血管リハ (Ⅱ)	10,988	10,945	10,077	11,023	12,877	8,765	△ 4,112
脳血管リハ (Ⅱ) 廃用			3,615	3,020	2,192	1,775	△ 417
退院時指導	262	331	286	284	228	250	22
退院前指導	53	108	69	96	91	92	1
徒手的処置	1,562	1,483	1,520	1,230	853	527	△ 326
器具の処置	2,635	1,863	1,617	1,388	744	378	△ 366

(単位: 件)

検査室 状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	差引
生化学セット	8,182	8,669	8,441	7,936	8,715	8,940	225
C B C	8,589	8,647	8,126	7,694	7,844	8,353	509
凝固検査	1,874	1,898	2,326	2,259	2,421	2,789	368
尿検査	5,189	5,992	6,020	5,785	5,346	5,249	△ 97
心電図	1,830	2,022	1,758	1,740	1,727	1,726	△ 1
呼吸機能	477	605	451	435	562	479	△ 83
誘発筋電図	30	33	74	98	118	132	14
眼底カメラ	276	364	312	277	292	273	△ 19
脳波	10	10	18	15	19	23	4
血圧脈波	28	32	44	62	58	23	△ 35

(単位: 件)

作業療法 状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	差引
運動器リハ (Ⅰ)		1,581	1,243	1,275	881	1,081	200
運動器リハ (Ⅱ)	理学療法	0	543	1,220	564	376	△ 188
呼吸器リハ (Ⅰ)	状況数値	101	55	78	248	0	△ 248
脳血管リハ (Ⅱ) 脳	に計上	2,038	2,250	2,647	2,666	2,145	△ 521
脳血管リハ (Ⅱ) 廃用		0	494	1,277	284	273	△ 11

(単位: 件)

言語聴覚 療法状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	差引
脳血管リハ (Ⅱ) 脳	2,083	2,235	1,982	3,657	4,048	1,733	△ 2,315
脳血管リハ (Ⅱ) 廃用	0	0	438	398	254	149	△ 105
摂食機能 療法	208	922	525	737	785	514	△ 271

在宅介護支援事業関係

(単位: 人)

訪問看護	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	差引
実利用者数	432	411	370	373	455	395	△ 60
延べ利用者数	2,577	2,062	1,897	1,822	2,062	1,785	△ 277

(単位: 人)

訪問 リハビリ	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	差引
実利用者数	85	467	482	515	586	670	84
延べ利用者数	435	1,938	2,015	2,360	3,046	3,524	478

(単位: 件)

居宅支援 (介護)	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	差引
件数	568	614	770	775	741	776	35

(単位: 件)

居宅支援 (予防)	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	差引
件数	110	229	267	288	344	389	45

メディカルソーシャルワーカー活動状況

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
援助 件数		360	362	263	382	262	361	351	277	230	279	206	228	3,561
入・外	入 院	284	322	218	286	210	299	282	209	161	226	146	165	2,808
	外 来	76	40	45	96	52	62	69	68	69	53	60	63	753
新・継	新 規	53	48	39	66	56	64	60	71	58	77	56	64	712
	継 続	300	306	218	313	204	293	291	206	172	202	150	164	2,819
	再	34	45	36	35	57	34	27	30	26	34	17	22	397
援助内容	経済的・社会的問題の解決調整	262	253	170	246	212	231	97	134	145	93	76	97	2,016
	診療関係の援助	62	90	39	44	26	56	70	64	101	54	33	51	690
	人間関係の援助	24	57	21	18	11	32	65	56	61	70	54	58	527
	心理情緒的問題の援助	179	219	140	187	114	202	245	183	168	220	132	146	2,135
	社会復帰・退院援助	257	237	175	273	163	256	242	165	127	190	134	153	2,372
	関係(者)機関との連携・協力	162	195	135	182	132	121	169	166	103	119	111	101	1,696
面接等対象者	医 師	46	78	41	55	50	65	88	98	47	81	49	65	763
	看 護 師	50	85	53	62	51	56	79	79	51	73	42	43	724
	職 員	137	116	68	101	157	134	167	143	101	146	117	119	1,506
	本 人	147	118	124	127	161	144	160	141	106	128	108	125	1,589
	家 族	261	240	185	272	142	245	242	165	172	190	134	153	2,401
	関係機関	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	そ の 他	186	152	145	199	150	180	172	149	111	137	113	121	1,815
援助方法	面 接	43	74	38	51	59	57	71	57	48	53	35	38	624
	協 議	9	11	3	40	4	9	10	1	9	6	4	7	113
	訪 問	251	192	162	224	186	214	80	86	151	79	160	165	1,950
	電 話	59	92	51	63	70	64	57	52	27	62	68	57	722
	文 書	8	8	6	26	8	21	56	46	31	36	29	35	310
新規紹介経路	医 師	0	1	0	11	1	1	30	24	11	16	15	23	133
	看 護 師	7	10	5	15	15	6	28	20	7	15	42	14	184
	職 員	6	0	4	3	10	4	38	35	30	45	29	30	234
	本 人	6	3	9	2	2	10	35	29	24	38	29	34	221
	家 族	24	14	14	18	21	12	52	52	49	54	36	43	389
	関係機関	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3、業 績

誌上発表

ご近所のお医者さん ステロイドと眼圧上昇

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版 第 46902 号（平成 25 年 4 月 2 日発行）p23, 2013

ご近所のお医者さん 肺炎が日本人の死因の第 3 位に

櫃田 豊

毎日新聞鳥取版 第 46916 号（平成 25 年 4 月 16 日発行）p25, 2013

勝部不二夫会長を偲んで

玉井 嗣彦

米子ロータリークラブ月報 No.691 号（平成 25 年 4 月 26 日発行）p2, 2013

訪問診察の今後の課題

櫃田 豊

日野病院組合だより せせらぎ 第 47 号（平成 25 年 5 月発行）p2, 2013

風薫る 5 月を迎えて 一 個別化医療への展望一

玉井 嗣彦

日野病院組合だより せせらぎ 第 47 号（平成 25 年 5 月発行）p3, 2013

栄養ニュースNo.3 食品エネルギーについて

仲石 康子

日野病院組合だより せせらぎ 第 47 号（平成 25 年 5 月発行）p5, 2013

ご近所のお医者さん ブルーライトの問題点

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版 第 46951 号（平成 25 年 5 月 21 日発行）p23, 2013

「百寿会」よ、永遠なれ！

玉井 嗣彦

米子ロータリークラブ月報 No.692 号（平成 25 年 5 月 24 日発行）p1-2, 2013

山名忠己先生を偲んで

玉井 嗣彦

鳥取県西部医師会報 第 169 号（平成 25 年 6 月発行）p55, 2013

**高血圧・糖尿病の人がなりやすい網膜血管閉塞症、血栓を溶かす「夜納豆」は
予防・改善に効果大**

玉井 嗣彦

健康月刊誌「健康」 第38巻（第8号）（平成25年6月1日発行）p122-125, 2013

ご近所のお医者さん 医療・介護関連肺炎について

櫃田 豊

毎日新聞鳥取版 第46965号（平成25年6月4日発行）p27, 2013

ご近所のお医者さん 白内障手術の新展開

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版 第46986号（平成25年6月25日発行）p20, 2013

ご近所のお医者さん 続・医療・介護関連肺炎

櫃田 豊

毎日新聞鳥取版 第47000号（平成25年7月9日発行）p27, 2013

ご近所のお医者さん 学童の近視予防

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版 第47049号（平成25年8月27日発行）p25, 2013

病院機能の充実を目指して

櫃田 豊

日野病院組合だより せせらぎ 第48号（平成25年9月発行）p2, 2013

遺伝子検査を考える

玉井 嗣彦

日野病院組合だより せせらぎ 第48号（平成25年9月発行）p3, 2013

栄養ニュースNo.4 【カロリーゼロ】って本当？

仲石 康子

日野病院組合だより せせらぎ 第48号（平成25年9月発行）p7, 2013

ご近所のお医者さん 事前指示書

櫃田 豊

毎日新聞鳥取版 第47063号（平成25年9月10日発行）p27, 2013

ご近所のお医者さん 一杯のコーヒーから

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版 第 47112 号（平成 25 年 10 月 29 日発行）p27, 2013

ご近所のお医者さん 続・事前指示書

櫃田 豊

毎日新聞鳥取版 第 47133 号（平成 25 年 11 月 19 日発行）p27, 2013

山名忠己先生を偲んで

玉井 嗣彦

鳥取大学医学部眼科同門会だより 第 30 号（平成 25 年 12 月発行）p47-48, 2013

日野病院だより -13 度目の秋の感慨-

玉井 嗣彦

鳥取大学医学部眼科同門会だより 第 30 号（平成 25 年 12 月発行）p55-56, 2013

個別化医療への展望 -あわせて遺伝子検査を考える-

玉井 嗣彦

豊瞳（高知大学医学部眼科学教室同門会誌）第 16 号（平成 25 年 12 月発行）p49-51, 2013

ご近所のお医者さん 一個別化医療への展望一

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版 第 47153・4 号（平成 25 年 12 月 10 日発行）p27, 2013

米子ロータリークラブ第 3007 回例会 会員スピーチ

（最近の医療事情から）

玉井 嗣彦

米子ロータリークラブ週報 No.2164 号（平成 25 年 12 月 13 日発行）p2, 2013

網膜血管閉塞症の眼底出血や視野欠損が納豆食で劇的に回復したと眼科医が確認

玉井 嗣彦

健康月刊誌「安心」 第 32 巻（第 2 号）（平成 26 年 1 月 2 日発行）p48-49, 2014

年頭のご挨拶 一日野病院の今日まで、そして明日から一

櫃田 豊

日野病院組合だより せせらぎ 第 49 号（平成 26 年 1 月発行）p2, 2014

新春所感 ー白内障手術の新展開を夢見てー

玉井 嗣彦

日野病院組合だより せせらぎ 第 49 号（平成 26 年 1 月発行）p3, 2014

栄養ニュース№5 【規則的な食生活の重要性！！】

仲石 康子

日野病院組合だより せせらぎ 第 49 号（平成 26 年 1 月発行）p5, 2014

個別化医療への展望

玉井 嗣彦

日本医事新報 №4680 号（平成 26 年 1 月 4 日発行）p98, 2014

ご近所のお医者さん ジェネリック医薬品を巡って

櫃田 豊

毎日新聞鳥取版 第 47181 号（平成 26 年 1 月 7 日発行）p23, 2014

納豆を夕食に 1 パック食べたら 0.01 から 1.5 に視力回復！

眼底出血も止まった「血液・血管」のアンチエイジング最新研究

玉井 嗣彦

健康月刊誌「ゆほびか」 第 20 巻（第 3 号）（平成 26 年 1 月 16 日発行）p48-50, 2014

ご近所のお医者さん 人工視覚開発の現況

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版 第 47209 号（平成 26 年 2 月 4 日発行）p27, 2014

納豆を夕食に 1 パック食べたら 0.01 から 1.5 に視力回復！

眼底出血も止まった

玉井 嗣彦

マキノ出版ムック「ゆほびか」 特別編集[効きめと旨さが超アップ！]

[混ぜるだけ！納豆レシピ]（平成 26 年 2 月 16 日発行）p8-9, 2014

ご近所のお医者さん 続・ジェネリック医薬品を巡って

櫃田 豊

毎日新聞鳥取版 第 47223 号（平成 26 年 2 月 18 日発行）p27, 2014

あなたのそばに安心を「看護の宅配便」

日野病院組合 日野病院

日本看護協会機関紙「看護」3 月号（平成 26 年 2 月 20 日発行）p3-7, 2014

ご近所のお医者さん 瞳孔の形を考える

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版 第 47251 号（平成 26 年 3 月 18 日発行） p27, 2014

学会等発表

1. 学会

第 18 回 緩和医療学術学会（平成 25 年 6 月 21-22 日 横浜 パシフィコ横浜）

村田理論に基づいたスピリチュアルペインの探求

池田 清香、山川 千秋

末期がん患者における呼吸困難とオピオイド投与の関連性

山本 直子

第 27 回 中国ブロック理学療法士学会（平成 25 年 8 月 31 日- 9 月 1 日 米子コンベンションセンター）

終末期癌患者が抱えるトータルペインに対する訪問理学療法の効果の検討

田中 武志

日野郡内で医療介護連携情報提供書を統一したことによる職種間における利点、今後の課題について

中村 友昭

第 52 回 全国自治体病院学会（平成 25 年 10 月 24 日 京都 京都国際会議場）

鳥取県西南部中山間地域における在宅療養患者の予後因子

櫃田 豊, 松波 馨士, 熊野 健太郎, 北谷 新, 川上 律子, 森川 美保, 佐々木 節子, 石田 茂雄, 佐々木 哲平

「看護の宅配便から学ぶ」信頼関係の構築の効果

小村 裕美子、山川 千秋、今倉 早苗、山形 睦美

第 51 回 日本癌治療学会学術集会（平成 25 年 10 月 25 日 京都 京都国際会館）

終末期がん患者に対する輸液治療の現状～ガイドラインの効果は見られたか～

山本 直子

平成 25 年度 第 2 回日本徒手療法学会学術集会（平成 25 年 12 月 1 日 大阪医療福祉専門学校）

両変形性足関節症に対するマニピュレーション効果の検討

田中 武志

第 29 回 日本静脈経腸栄養学会学術集会（平成 26 年 2 月 28 日 横浜 パシフィコ横浜）

当院における末期がん患者に対する輸液治療の動向

山本 直子

第7回 鳥取県看護研究学会（平成26年3月8日 鳥取県）

看護に生かすデスカンファレンス

～デスカンファレンスシートを使用して見えてきたもの～

三好 妙子、生田 悠、山川 千秋、朝野 純子、吉川 玉枝、田中 恵、住田 早苗

2. 研究会 その他

第19回 奥大山プライマリーケア研究会（平成25年3月15日 江府町）

COPDと喘息：オーバーラップ症候群

櫃田 豊

第5回 鳥取県実践が活きる看護診断研究会（平成25年10月9日 鳥取大学医学部）

転倒・転落に関する記録監査から見えた記録委員会の課題

篠田 多美子、近藤 智富美、木村 多恵子、長井 淳子

平成25年度 日野病院院内研修発表（平成25年10月25日 日野病院）

医療現場におけるチームの医療の認識と看護師の役割

森 浩恵、中島 美須江、遠藤 綾、小林 加奈子、宇田川 佳子、小田 佐紀子

手洗いに関する意識調査について

木村 理絵、山形 睦美、藤原 和泉、坪倉 隆美、野津 瑞穂

看護に生かすデスカンファレンス

～デスカンファレンスシートを使用して見えてきたもの～

生田 綾、三好 妙子、山川 千秋、朝野 純子、吉川 玉枝、田中 恵、住田 早苗

転倒・転落に関する記録監査から見えてきた記録委員会の課題

～他委員会との連携を考える～

篠田 多美子、近藤 智富美、木村 多恵子、長井 淳子

第10回 鳥取県西部自治体病院看護研究発表会（平成25年11月16日 日野町文化センター）

手洗い行動及び認識の意識調査

木村 理絵、山形 睦美、藤原 和泉、坪倉 隆美、野津 瑞穂

看護に生かすデスカンファレンス

～デスカンファレンスシートを使用して見えてきたもの～

三好 妙子、生田 悠、山川 千秋、朝野 純子、吉川 玉枝、田中 恵、住田 早苗

米子ロータリークラブ第 3007 回例会（平成 25 年 12 月 13 日 米子全日空ホテル）

最近の医療事情から（会員スピーチ）

玉井 嗣彦

平成 25 年度 日野病院院外研修履修報告会（平成 26 年 3 月 28 日 日野病院）

《平成 25 年度 鳥取大学医学部附属病院看護部 コース研修》

- | | |
|-------------------|--------------|
| ・感染対策コース | 木村 理絵、生田 悠 |
| ・がん看護コース | 藤原 和泉、長尾 加奈子 |
| ・下肢救済ケアコース | 近藤 智富美、森川 実保 |
| ・救急・災害看護コース | 野津 瑞穂、三好 妙子 |
| ・緩和コース | 篠田 多美子、森原 伸子 |
| ・新人看護職員研修事業実施指導研修 | 徳岡 靖子、角嶋 美鈴 |

4、新聞記事

ご近所のお医者さん
(毎日新聞鳥取版)

櫃田 豊 病院長

223

櫃田 豊さん



亡率ともに低下し続けています。この背景には降圧治療の進歩や、脂肪摂取量の増加、減塩などの食習慣の変化があると考えられています。

一方、75（昭和50）

012（平成24）年6月5日、厚生省は「平成23年人口動態統計月報年計（概数）」の中で、11（平成23）年の日本人の肺炎による死亡数（死亡率、人口10万人当たり）は12万4652人（98・8人）で、脳血管疾患の12万

012（平成24）年6月5日、厚生省は「平成23年人口動態統計月報年計（概数）」の中で、11（平成23）年の日本人の肺炎による死亡数（死亡率、人口10万人当たり）は12万4652人（98・8人）で、脳血管疾患の12万

がるのでしょか。これを確かめる方法が年齢調整死亡率です。これはある時点の人口構成（実際には1985年のモデル人口）がそのまま推移したと仮定した場合の死亡率で、高齢化の要因を除いた死亡率ということになります。最近、

肺炎が日本人の死因の第3位に

3784人(98・1人)す。この推移を見ますと、実は肺炎による死亡率は1995(平成7)年以降、男女ともに肺炎は医療・介護関

肺炎の死亡数・死亡に低下していることが、連肺炎として、別に取
り扱うことを提唱して
率が増加している最大 分かります。

って、脳血管疾患との理由は近年の人口高
間では順位の逆転が起ることは数年前から予
率が変わらないとした
想されていました。2
ら、肺炎の死亡率は上
院内肺炎のガイドライ
てお話しします。

の理由は近年の人口高
齢化です。もし高齢化
療には日本呼吸器学会
が作成した市中肺炎と
新しい肺炎の概念につ

従来より、肺炎の診
います。次回（6月4
日付228回）はこの

これから2回に分けて、医療・介護関連肺炎という新しい肺炎についてお話しします。

一般的には、肺炎は病原菌の感染による肺の急性炎症と理解されています。一見単純な病気のようにですが、実はそうではありません。肺炎を起こし得る菌の種類は多数に上り、菌が違えば患者さんの症状や経過が異なります。また患者さんがさまざまであることも肺炎を複雑な病気にしていきます。同じ菌による肺炎でも、健康な方なら外来治療で速やかに治ってしまうのに、病気を抱えている

ご近所のお医者さん

□
228
□

日野病院(日野町)

櫃田 豊さん



人では入院して集中治療を受けなければならぬほど重症化する場合があります。

多様な病状を呈するため、肺炎を治療する際は共通する特徴でいくつかのグループに分

る分類(定型肺炎、非定型肺炎)などがありませんが、最も実用的とされるのが感染場所による分類です。すなわち、肺炎を市中肺炎と院内肺炎に分ける方法です。

市中肺炎は病院外で生活している人に起こります。例えば、

医療・介護関連肺炎について

類して行うのが普通です。その分類法には病原菌の種類による分類(細菌性肺炎、ウイルス性肺炎など)、肺炎の形状による分類(大葉性肺炎、気管支肺炎など)、臨床所見による分類(定型肺炎、非定型肺炎)などがあります。

市中肺炎は入院中の患者さんに起こった肺炎です。両者には病原菌の種類や重症度(院内肺炎の方が重症)で明らかになる差が見られます。したがって、どこで肺炎になったかを知りたいは逆に、症状が安定(7月9日)はそれについてお話しします。

市中肺炎は病院外で生活している人に起こります。例えば、

市中肺炎は病院外で生活している人に起こります。例えば、市中肺炎は市中肺炎と院内肺炎に分ける方法です。

市中肺炎は市中肺炎と院内肺炎に分ける方法です。

233

豊さん



市中肺炎や院内肺炎のような従来型の肺炎を治療するに当たっては、肺炎の重症度が重視されます。肺炎の重症度は、患者さんの経過不良と関係のある因子(高齢、脱水ありな

院させるとすると集中治療室で治療するか、人工呼吸器を使うか、強力に治療するのかなどを判断します。市中肺炎、院内肺炎ともに重症度が上がるにつれて耐性菌が検出される度合いが高くなりま

えは、患者さんを外来、入院、集中治療室のうち、どこで治療するかを決めることは市中肺炎ほど容易ではありません。さまざまな疾患の終末期に起こる肺炎が数多く含まれているため、重症度に従って

耐性菌についても、その検出頻度と重症度に市中肺炎や院内肺炎ほど明らかな関係はありません。従って、医療・介護関連肺炎に対する初期抗生物質の選択は、重症度に加え耐

続・医療・介護関連肺炎

される初期抗生物質が、でも、患者さんには苦性菌リスク（①過去90日以内に2日以上の抗痛でしかない場合もある）異なってきます。

どの数で決まります。
 そのような因子を多く
 持つ患者さんほど重症
 で、少ないほど軽症と

一方、医療・介護関り得ます。担当医師は連肺炎には、これらの肺炎の重症度を考慮し、経管栄養をしている。基礎疾患や精神的・行われます。

いうことになります。

市中肺炎では、原則として重症度で患者さんを入院させるのか、入

理由は定義の中でも示した通り、医療・介護関連肺炎の背景の意向などを勘案しながら治療場所の選多様さにあります。例ながら治療場所の選ものとされます。

外来などで高齢の患者さんと話していると、しばしば死が話題になります。軽度の認知症で長男に車椅子を押してもらって通院している88歳の女性の口癖は「私が生きていると息子に迷惑がかかる。早く迎えに来てもらいたい」が、なかなか来ない。一方、90歳で進行胃がんが見つかった男性は「ここまで来たらいつ死んでもいいようなものだ、これも一つの経験だから」と言っていて手術を受けました。

高齢者にとって死は身近な問題であり、死に対する考え方もいろいろです。しかし、そこ共通するのは死に至るまでの間に苦しんだり痛がったりするのは嫌だという思いです。実際「私が死にそうになっても苦痛を長引かせるだけの延命治療はしないほしい」と訴える患者さんが最近増えてきました。

先日、ある患者さんから「弁護士に頼んで、延命治療は受けたくない旨を書いた書類を作ってもらった」という話を聞きました。その後調べてみると、この書類は尊厳死宣言公正証書と呼ばれるもの、その一種です。

証人が法律に従って作成する、いわゆる公文書です。従って、遺言状などと同じような高い証明力があります。

（「リビングウイル」）

ご近所のお医者さん

238

日野病院(日野町) 櫃田 豊さん



事前指示書

療はしないほしい」と訴える患者さんが最近増えてきました。

先日、ある患者さんから「弁護士に頼んで、延命治療は受けたくない旨を書いた書類を作ってもらった」という話を聞きました。

この書類は尊厳死宣言公正証書と呼ばれるもの、その一種です。

証人が法律に従って作成する、いわゆる公文書です。従って、遺言状などと同じような高い証明力があります。

（「リビングウイル」）

今年、厚生労働省から報告された「人生の最終段階における医療に関する意識調査」の集計結果（速報）によれば、一般国民の7割（医療関係者では8割）があらかじめ事前指示書を作成することに賛成しています。高い関心を呼んでいる事前指示書ですが、その反面、問題点も指摘されています。次回はその点をお話しします。

います。しかし、そこ共通するのは死に至るまでの間に苦しんだり痛がったりするのは嫌だという思いです。実際「私が死にそうになっても苦痛を長引かせるだけの延命治療はしないほしい」と訴える患者さんが最近増えてきました。

先日、ある患者さんから「弁護士に頼んで、延命治療は受けたくない旨を書いた書類を作ってもらった」という話を聞きました。

この書類は尊厳死宣言公正証書と呼ばれるもの、その一種です。

証人が法律に従って作成する、いわゆる公文書です。従って、遺言状などと同じような高い証明力があります。

（「リビングウイル」）

今年、厚生労働省から報告された「人生の最終段階における医療に関する意識調査」の集計結果（速報）によれば、一般国民の7割（医療関係者では8割）があらかじめ事前指示書を作成することに賛成しています。高い関心を呼んでいる事前指示書ですが、その反面、問題点も指摘されています。次回はその点をお話しします。

243

櫃田 豊さん



おいても、一般国民の
うち事前指示書をあら
かじめ作成しておくこ
とに賛成の人が70%に
上った反面（実際に作
成している人は3・2
%と少数）、事前指示
書に従った治療を行う

ることの賛否も問うて
います。これに対し
ても一般国民の70%が
否定的でした。

事前指示書の法制化
が難しい理由の一つと
して、事前指示書を作
成した時点とその指示

ることもよくあります。こうした現実を踏まえると、下手に法制化すると以前書いた事前指示書に後の自分が拘束されるといった事態を招きかねないのです。

前指示書の問題点などをしっかりと議論し、09年にその有効性と妥当範囲が法的に決定されました。日本でも法制化を含めて事前指示書についてのさらなる議論が必要です。

続・事前指示書

さえあります。ドイツでは上述したような事前指示書の問題点などをしっかりと議論し、09年にその有効性と受当範囲が法的に決定されました。日本でも法制化を含めて事前指示書についてのさらなる議論が必要です。

外来で診察していると、時々「こんなものが送られてきたが、どうしたら良いだろうか？」と「ジェネリック医薬品希望カード」と書かれたカードを差し出す患者さんがいます。また「薬局でジェネリック医薬品に変更するかと尋ねられたが、どうしようか迷った」などと言う患者さんもいます。ジェネリック医薬品は、新聞やテレビコマercialなどで最近よく耳にする言葉ですが、その実体は今一つ分からないというのが多くの患者さんの本音のようです。ジェネリック医薬品

ご近所のお医者さん

□
248
□

日野病院(日野町)

櫃田 豊さん



は後発医薬品の別称です。新しく開発・販売される薬、すなわち先発医薬品の特許が切れた後に製造・販売される医薬品であり、先発医薬品と同じ有効成分を含んでいます。ジェ

ネリック医薬品の最大の特長は、その価格の安さです。日本ジェネリック製薬協会のホームページ(<http://www.jga.or.jp/>)にアクセスすると、先発医薬品を自己負担分を除いた薬の代は健康保険や国民保険などから支払われ、公的な医療保険の支出も抑えることができます。そのため、国は「ジェネリック医薬品希望カード」や薬局での「代替調剤」などさまざまな取り組みを行い、利便性を高めています。ジェネリック医薬品を巡って

ジェネリック医薬品を巡って

48〜3万149円の使用促進を図っています。価格差が生じます。従って、自己負担3割の方では1年間で4544〜9044円の負担軽減になります。

ジェネリック医薬品は、新聞やテレビコマercialなどで最近よく耳にする言葉ですが、その実体は今一つ分からないというのが多くの患者さんの本音のようです。ジェネリック医薬品

日本ジェネリック製薬協会のホームページ(<http://www.jga.or.jp/>)にアクセスすると、先発医薬品を自己負担分を除いた薬の代は健康保険や国民保険などから支払われ、公的な医療保険の支出も抑えることができます。そのため、国は「ジェネリック医薬品希望カード」や薬局での「代替調剤」などさまざまな取り組みを行い、利便性を高めています。ジェネリック医薬品を巡って

ジェネリック医薬品の特長は、その価格の安さです。日本ジェネリック製薬協会のホームページ(<http://www.jga.or.jp/>)にアクセスすると、先発医薬品を自己負担分を除いた薬の代は健康保険や国民保険などから支払われ、公的な医療保険の支出も抑えることができます。そのため、国は「ジェネリック医薬品希望カード」や薬局での「代替調剤」などさまざまな取り組みを行い、利便性を高めています。ジェネリック医薬品を巡って

ジェネリック医薬品は先発医薬品と同等の治療効果を有し、しかも低価格であるため、薬剤費の自己負担の軽減や医療費の削減に大きな効果が期待できます。しかし、そのシェアは2011年9月時点で22・8%(数量ベース)であり、思ったほど普及していません。ジェネリック医薬品メーカーの大部分が準大手、中小企業であり、薬剤の安定供給や情報提供に問題があること、日本では医療保険制度が充実しているため薬剤の自己負担自体が少ないことなどが理由として挙げられて

ご近所のお医者さん

□
253
□

日野病院(日野町)

櫃田 豊さん



いますが、最大の理由は治療効果の同等性に対する不安のようです。

私の周りでも、先発医薬品をジェネリック医薬品に変更後、薬の効果が下がったり、逆

あるのはなぜでしょう。それは、いくつかのジェネリック医薬品では形や大きさ、薬効成分以外の添加物などの違いで、薬剤の溶けやすさや薬効成分の吸収のされ方が先発医薬品とは異なるためと考えられています。

各パラメーターについて、ジェネリック医薬品と先発医薬品の差は1998年から溶出試験(数種類のpHの異なる溶液の中で、

続・ジェネリック医薬品を巡って

ジェネリック医薬品の製造販売を承認している厚生労働省は治療効果の同等性を保証するため、ジェネリック医薬品メーカーに生物学的同等性試験を課しています。健康者に先発医薬品とジェネリック医薬品を飲み比べたという事です。国やジェネリック医薬品メーカーのさらなる努力が求められます。

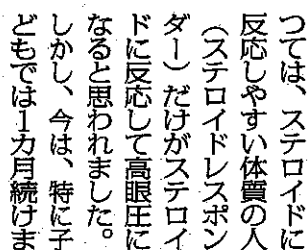
ご近所のお医者さん
(毎日新聞鳥取版)

玉井 嗣彦 名誉病院長

普通、眼圧は15mmHg（水銀柱）ぐらいですが、正常の人でもステロイド点眼を一月続けると、5%程度の人が20〜30mmHgに上昇します。か

221

玉井 嗣彦名誉病院長



可逆性で、投与の中止
ステロイド緑内障は
で2〜3カ月以内に正
初期には痛みもなく、
常化します。しかし、
視力も良好ですから卒

そのまま継続します
と、専門的になって恐
縮ですが、眼球隅角部
にある房水流出路の変
見が遅れがちで、視野
がかなり狭くなってか
ら見つかることがあります。
いったん生じた

性による房水流出抵抗の増大によって、視神経障害を伴う「ステロイド緑内障」が生じてきます。

るものではなく、ステロイドの投与量と投与期間によっては、全ての人に眼圧上昇の可能性があると考えられて

ステロイドによる眼
庄上昇は、点眼によっ
て最も生じやすいので
すが、眼軟膏の眼瞼塗
布のほか、内服や吸入
インとして使用前から
眼科での眼圧検査をし
ておくことが必要だと
思います。あわせて、
その後の眼圧のフォロ

ン、クリームによって治療は、原則としてステロイドの中止、減

ステロイド緑内障は初期には痛みもなく、緑内障に対する薬物、手術療法を行います。

見が遅れがちで、視野がかなり狭くなってから見つかることがあり、昇の危険性が低い0・1%のフルオロメトド

と眼圧上昇
の点眼や、幼児用の
顔面にも使用可能な皮

視野障害は不可逆性なので、ステロイドの継続的な投与例では、必ず眼圧は上昇するものだと思うって、ベースラ

インとして使用前から目に28 mmHgと予期眼科での眼圧検査をしておくことが必要だと思ひます。あわせて、報告例もありますので、予断は許されません。その後の眼圧のフォロー。

かつて「街の灯り」が
とてもきれいなヨコハ
マブルーライト・ヨコ
ハマ」という歌がはや
った時代がありました
が、青色LED(発光ダイ
オード)によるスマ
ートフォンやパソコン
の画面に加え、白熱電
球の買い替えとしてL
ED電球が使われ始め
た今日、ブルーライト
が夜の街以外にも氾濫
するという風景は珍し
くなくなっています。
ブルーライトは、4
60ナノ前後の青色可
視光を指しますが、ブ
ルーライトは視覚レベ
ルとサーカディアン
(概日)リズムの二つ
の側面で、人体に与え

ご近所の お医者さん

□
226
□

日野病院(日野町)

玉井 嗣彦 名誉病院長



る影響が最近話題にな
っています。
以前から紫外線など
のエネルギーの高い波
長は網膜に障害を起こ
すので、紫外線防止の
方策がいろいろとられ
てきましたが、可視光

線であるブルーライト
では光障害は起きない
という考え方が支配的
で、対策は何もとられ
てきませんでした。
網膜中央の黄斑部に
多く存在する黄斑色素
(ルテイン)が、過剰
に近づけば近づくほど
大量のブルーライトを
浴びることになりま
す。その際、長時間浴
びたり、高齢者であっ
たり、酸化力が落ち
酸化ストレス制御が弱
い目の状態、例えば老
化色素(リボフスチン)
目を近づけて用いるこ
をコントロールしてい
るので、昼夜逆転のよ
うなリズムの狂いが問
題視されています。
この乱れは、メタボ
リックシンドローム、
不眠症などの大きな社
会問題につながるこ
が十分予想されます。

ブルーライトの問題点

なブルーライトを吸収
し、錐体に光障害が及
ぶことがないように、
生体のサングラスの役
目をしていると考えら
れていたからです。
しかし、目に入るブ
ルーライト量は目から
の距離の2乗に反比例
するため、LED照明
などが大量に黄斑部に
蓄積している状態で
は、ブルーライトを吸
収して細胞傷害毒性を
発揮するので、拙速に
無害とはいえず、ブル
ーライトカット用のパ
ソコンメガネが201
2年の1年間で100
万個も売れる実績につ
き、逆に入居間はし
っかりと可視光線が目
に入るようにした方が
よいとされています。
ブルーライトに反応
するメラノプシン含有
ガングリオン光受容体
が視床下部視交叉上
核を介して生体リズム

ご近所の
お医者さん

231

玉井 嗣彦名誉病院長



白内障手術
ブルーライ
ンに目の中に
人工レンズの
植込まれてい
る紫外線カット
系のレンズ下

白内障手術の新展開

知症がある患者さんにアン（概曰）リズムのでも、睡眠障害が改善
積極的に白内障手術を乱れにすると考えられされ、歩行速度まで速

的な領域の疾患に對しても、眼科医が積極的に関わっていく必要があるかも知れません。

視力良好者の4・6%に對して13・5%と、高齢の視覚障害者と、高齢の視覚障害者

カディアンリズムを正に常にする第一歩ですが、若年者と違つて老人になると水晶体の加齢によるブルーライトの改善の上で、白内障の手術に新しい展開を期待したいと思ひます。

ご近所の
お医者さん

236

玉井嗣彦名誉病院長



学童の近視予防

く②近業の程度が強いほど速く③戸外活動により抑制され④IQや学歴が高いほど速くなる——ことなどが明らかになっています。

戸外活動による近視抑制効果は、最近手に

児童たちは、そうでない児童対照群と比較して、1年後に近視または視力低下が有意に減ましといし、児童が屋外で過ごすよう指導す

る、あるいは必要に応じて昼光スペクトル灯などを使用することを

保護者や教育関係者に

屈折力レンズの装用

は季節ごとの日照時間の差が夏18時間、冬7時間と大きいのです

これらの結果から、学童の近視予防には学校の取り組みが望ましいとし、児童が屋外で過ごすよう指導する、あるいは必要に応じて昼光スペクトル灯などを使用することを保護者や教育関係者に

ある米国のアール・スミス教授開発の光学的予防法としての「累進屈折力レンズ」の装用

の進展が抑制された結果であろうと推察されています。

大学時代より親交の



が、日照時間が最短の時期での近視の学童の眼軸長（眼軸長が延長すると近視が悪化）の延長は平均 0.19 ミリの対して、最長の時期では平均 0.12 ミリだったと報告しています。

台湾とデンマークで学童対象に調査したもので、前者では、休み時間に一日当たり80分間、屋外で過ごさせた

それぞれ研究者は、それぞれの効果は、従来予想されてきたような調節の緩和のみによるものではなく、強力な太陽光線を浴びることによりドパミン分泌が増えること、縮瞳により高次収差が減り、より明瞭な網膜像が得

は、いまだ本邦では目の目を見ていませんが、従来の点眼・コンタクトレンズ装用療法に比べて、重大な副作用がない面からも今後の検討課題と考えます。

学童の近視予防は、いまだ眼科医を悩ます永遠のテーマです。

日常の眼科診療とは縁のないテーマで恐縮ですが、コーヒーブレイクを兼ねて「1日4〜5杯のコーヒーで寿命が延びる」といった見出しで昨年話題になった米国の学術誌に掲載された論文を目にする機会を得たので、ご紹介したいと思います。

ご近所の お医者さん

□ 241 □

日野病院(日野町)

玉井嗣彦名誉病院長



本論文は、1995〜96年の間に、米国6州(カリフォルニア、フロリダ、ルイジアナ、ニュージャージー、ノースカロライナ、ペンシルベニア)および二つの大都市圏(アトランタ、ニューヨーク)の5杯以上と5杯未満の飲酒の量も多く、食べ物の肉は白身より赤身が多い傾向にあるので、た。従って、1日4〜5杯のコーヒーで死亡率が1番減る要因としては、ポリフェノール成分が関わっている可能性が指摘されています。

1杯のコーヒーから

1の飲用者の方が男女ともに死亡率が高く、飲む対象者で、がん、心疾患、呼吸器疾患、脳卒中、外傷および事故、気管支炎に1日に4〜5杯の飲用者に対して1・60倍、女性で1・51倍、特になんがんとがん、敗血症、寄生虫症など、糖尿病、その他の他は、福音のデータでは死亡は2倍以上となって低く結果が得られまし。人生、1杯のコーヒーは▽飲まない▽1日1杯▽2〜3杯▽4〜5杯▽6杯以上の5杯以上の飲用者で同様の結果が得られまし。成分が関わっている可能性が指摘されています。

2013年(平成25年)12月10日(火)

鳥 取

27

早くも師走となり、時の流れの早さに驚く日々ですが、私は故平沢興氏が「生きよう今日も喜んで」の著書の中で述べておられるように「今が楽しい。今がありがたい。今が喜びである。それが習慣となり、天性となるような生き方こそ最高です」の心境です。

前置きが長くなりましたが、今なお眼科診療を担当していますので、最近の眼科領域での話題について、少し触れたいと思います。

近年の医療は、科学的エビデンス(根拠)に基づいた医療の実践・促進の観点から、標

ご近所のお医者さん

□
246
□

日野病院(日野町)

玉井嗣彦名誉病院長



準化治療を行う方向で検討がなされてきました。その結果、無作為割り当てによるエビデンス試験で、効果が劣るとの烙印が押されてしまった治療法は、た

あることを忘れては、や治療効果が乏しいと判定されている、光に反応する薬剤注射後に病変部にレーザー照射する「光線力学療法」が、今日の標準化治療であるVEGF(血管内皮細胞増殖因子)阻害などの多因子疾患では、近年検出可能な害薬硝子体内注射の展や技術開発で、遺伝

個別化医療への展望

った「疾患感受性遺伝子」が、特にその治療結果に大きな影響をもたらす。しかし、実際の臨床現場では、エビデンスとは逆の治療効果も見られ「エビデンスとは、あくまで母集団における治療結果の平均値に対する評価で

「抗VEGF療法」より有効なことが内外の文献上で立証されているようになりました。その一端を母校鳥取大学付属病院の「遺伝子診療科」が担っている。エビデンスの名のもとに全ての患者さんに画一的な標準化治療をすすめるが、難しいのは得られた情報をどう判断し対処に結び付けるかだと思われま

ご近所の
お医者さん

玉井嗣彦名誉病院長



電池パネルのようにあります。また、最初の画像は術的に克服できること
自己発電を可能とし 従来のように顔に付け
た上で、それを配列し たGoogleで受け、近
たシリコンチップを網 たGoogleで受け、近
膜下に埋め込み、眼外 赤外線レーザー画像
との連結を切り離す を眼内のチップに投射
システムを考案しまし しますが、眼球運動に
た。 応じて適格な位置に安
るケーブルもなく、眼

ご近所の
お医者さん

☐ 256 ☐

玉井嗣彦名誉病院長



その他の新聞記事

病院長に聞く

鳥取医療の行方

<5>

日野、江府、伯耆の支える一助になりた3町で構成の一部事務」と話す。

組合が運営。米子市の「出かける医療と3倍の面積に暮らす1は。

万9千人(3町合計)「地域の要望もあり

の医療を支える。高齢10年前から本格的に始

化で交通弱者が多い地まった。外来に來られ

域事情を踏まえ、患者なくなったり、介護事

送迎車を走らせるなど業所などから要請があ

「出かける医療、近づたりした場合、訪問

く医療・福祉」が病院治療に移行する。内科

のコンセプト。檀田豊 医4人で年間約70人に

病院長(58)は「生活」対応。入院患者が常時

日野病院(日野町野田)

檀田 豊院長

病院データ

20診療科、病床数99床、常勤医師数8人



ひつだ・ゆたか 鳥取大医学部卒。専門は内科。鳥取大医学部付属病院勤務を経て、2006年7月から現職。

出かける医療 高齢者支援

70人いるのほぼ同数に6件程度回る。このだ。服薬管理や経過観察が中心で、私も1日

察が中心で、私も1日薬指導、訪問看護など延べ利用者は年間4千人にのぼる」

在宅緩和ケアにも力を入れている。

「近年、高齢化でが

だ。今年まで勤務して連携した包括的なケア考えたい」

いた外科医が、力を入が必要だ。入院機能をしてきた。過去6年間どう担保するかも課に看取りは10人以上題。現在、外科と整形で、それぞれにドラマ外科の常勤医が1人ずがある。モルヒネを投っている。がんの手術を与しながら亡くなる3含めて年間300件対日前まで畑仕事を続けでがん治療ができること友人や親せきや家族、とは住民にとって利点になった方も。病院ではだるうが、この体制を見られない光景だっどこまで維持できるか」

「高齢化、人口減少

今後、重点的に取り組み方針は。

「薬剤師が訪問する服薬指導は強化したい。きちんと服薬する人は本当に少なく、在宅医療を支える鍵となる。独居や高齢者世帯が多く、うつ病の増加など精神疾患も問題視している。対応しきれない。行政、社会福祉協議会、介護事業所がいていないので、対策を

2013年(平成25年)10月31日(木曜日)

日野病院が導入した最新鋭のMRI。11月1日から本格運用する



日野病院に最新MRI

画像より速く鮮明に

あすから
本格運用

日野病院組合日野病院(櫃田豊病院
長、日野町野田)が、最新鋭のMRI
(磁気共鳴画像装置)を導入し、11月
1日から本格運用を始める。従来備え
ていた旧世代型に比べて3倍の磁場強
度があり、より速くより鮮明な3D画
像が得られる。病院側は「質の高い地
域医療を提供したい」としている。

導入したMRIはG
Eヘルスケア製で、磁
場強度が1.5テスラ。
造影剤なしでも血管撮
影ができ、鮮明な画像
が得られることから、
初期の脳血管障害や見
逃しやすい脊椎・腰椎
の圧迫骨折、腹部領域
の疾患など全身の診断
に運び入れることがで

きるという。
日野病院は2000
年の新病院開設時にM
RIを導入。年間約7
00件の検査を行って
きたが、耐用年数を大
幅に超えているため、
約1億円を投じて更新
することにした。
佐々木健二・同病院
医療技術局局長(58)は
「いろいろな部位の検
査が可能になり、多様
な検査オーダーに対応
できるようになる。脳
ドックなど予防医学に
も活用したい」と話し
ている。

5、広報誌 せせらぎ

せせらき

No. 47

平成25年 5 月発行
題字 櫃田 豊 病院長



日本医療機能評価機構
認定第JC1483号

発行/日野病院組合 編集/日野病院広報委員会 〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332番地 TEL0859-72-0351
日野病院ホームページ <http://www.hinohp.com/> FAX0859-72-0089



日野病院の基本理念

- 一 地域住民のニーズにあった良質な医療、保健、福祉のサービスを行い、山間地中核病院として信頼される病院を目指す
- 二 自治体病院の職員としての自覚と使命感をもって、より良い患者サービスに努める

基本方針

1. 高齢者の疾病に対応する慢性疾患をはじめ、急性期医療にも取り組みます
2. 住民が安心して地域で暮らすことができるよう、救急医療に対応します
3. 安全な医療を提供するため、安全管理対策を推進します
4. 小児科医療を通じ子育て支援に協力します
5. 多機能に対応できるリハビリテーションを実践します
6. 出かける医療、近づいていく医療と福祉に努めます
7. 検診ドック事業・各種指導事業を積極的に展開します
8. 職員の人材育成に努め、地域に貢献します

訪問診察の今後の課題



日野病院病院長
櫃 田 豊

4月も下旬となりました。

ソメイヨシノの見ごろは終わり、代わって八重桜が満開を向かえています。新しい年度がスタートした日野病院では、

多くの新人が働いています。慣れない仕事で大変だと思いますが、1日も早く戦力になって欲しいと願っています。

さて、現在、私は最近の日野病院組合活動を振り返り、それらも果たしてきた意義や今後の課題などを検討しています。せせらぎ42号では診療所事業について述べさせていただきましたが、今回は訪問診察についてお話ししたいと思います。

日野病院は長年にわたり在宅療養の柱の1つとして訪問診察に取り組んできました。患者さんのリストが残っている平成15年度以降では、平成24年度までの10年間に250人に対し526回の訪問診察（往診を含む）を行いました。患者さんの数を経年的に見ると、平成15～17年が年間30～40人程度であったのに対し、平成18年度以降は60～70人と増加しました。その理由は、平成17年より日野病院の基本的な診療方針が「来ていただく医療」から「出かける医療、近づいていく医療」に変わったためです。

年間の訪問回数については平成19年度には730回に達しました。

この増加は担当医師の大きな負担となったため、平成20年度からは患者さん1人あたりの訪問回数を月2回から月1回以下に制限しました。その結果、訪問回数は徐々に減少し、平成24年度には450回程度となりました。

このように日野病院の訪問診察は量的には充実してきました。次の問題は、その質をどのように評価し、高めていくかということです。訪問診察の質を評価するためには、さまざまな指標（クリニカルインディケーター）が考えられますが、在宅死亡率もその1つです。

在宅療養を行っている患者さんやご家族は、落ち着いた状態であれば自ら入院したいと望むことはありません。入院するのは何らかの問題があったからで、それは治療やケアがうまくいっていない証拠です。逆に最後まで自宅で過ごして亡くなるということは、問題がうまく解決できていたこととなります。

日野病院の在宅死亡率は最近の6年間の平均では23.4%でした（癌の患者さんでは33.3%、癌以外の患者さんでは20.3%）。この結果は、平成17年に厚生労働省が発表した在宅等死亡率（全死亡に対する自宅、老人ホーム、介護老人保健施設における死亡の割合）の全国平均15.1%よりは上回っていますが、決して満足の行くものではありません。今後も在宅死亡率の上昇を目指して努力しなければなりません。

平成25年4月

風薫る5月を迎えて

— 個別化医療への展望 —

日野病院名誉病院長 玉井 嗣彦



早くも風薫る5月になりました。皆様方、お健やかに過ごしのことと思います。

時の流れは早いのですが、貝原益軒は「養生訓」の中で、「老後は、若き時より、月日の早き事、十倍なれば、一日を十日とし、十日を百日とし、一月を一年とし、喜樂して、あだに日を暮らすべからず」と、また「老後一日を楽しまずして、空しく過ごすはおしむべし。老後の一日、千金にあたるべし」とも述べています。

まだまだ老後を楽しむ余裕のない私ですが、平沢興氏が「生きよう今日も喜んで」の著書の中で述べておられるように、「今が楽しい。今がありがたい。今が喜びである。それが習慣となり、天性となるような生き方こそ最高です」の心境です。

さて、最近の眼科領域での話題について、少し触れたいと思いますが、これは各科の多くの疾患でも当てはまる事柄のようです。

近年の医療は、科学的エビデンス（根拠）に基づいた医療（Evidence-based medicine）の実践・促進の観点から、標準化治療の構築に積極的に取り組んできました。その方法論とは、ある疾患に対して二つの（あるいは複数の）治療法を無作為に割り当て、一定期間後の特定の臨床指標（主要評価項目）における治療効果を比較して、どちらが有効であるかを決定するというものです。その結果、効果が劣るとの烙印が押されてしまった治療法は医療関係者の注目から遠ざかり、ただ消え去るのみという結末を迎えることになります。

約70万人の人がかかっている中心の視力障害が著しい加齢黄斑変性（Age-related macular degeneration：AMD）の治療現場においても例外ではなく、それまで世界中で脚光を浴びた光に反応する薬剤を体内に注射した後に、病変部にレーザーを照射する“光線力学的療法”は欧米においては無作為割り当てによるエビデンス試験の結果、その後に登場したVEGF（血管内皮増殖因子）阻害薬硝子体内注射の“抗VEGF療法”に完全に取って代わられました。はたしてこれでいいのでしょうか。

実際の臨床現場においては、抗VEGF療法を度々行っても効果が十分でない症例に、光線力学的療法を施行したら著効したといったケースも意外と多く、エビデンスとはあくまで対象となる母集団における治療結果の平均値に対する評価であるといえます。

AMDの病態解明が進むにつれて本症の非常に多様な病態（病型）が広く認められ、またそれらが患者個人の遺伝的、環境的因子（加齢や食生活・喫煙など）に影響を受けることも明らかになってきました。

この種の多因子疾患においては、その発症に影響を与える“疾患感受性遺伝子”という特異な遺伝子の存在が近年明らかになっています。サブタイプも存在し、AMDではその遺伝子のサブタイプによっては上記二つの治療効果に有意差があることも判明しています。

エビデンスの名のもとに全ての患者さんに画一的な標準化治療を行うことへの限界も見え始めた今日、多くの疾患で遺伝子解析が進むようになりますと、近い将来、医学界は眼科領域に留まらず、各分野の多くの疾患で、患者個人を対象とした個別化医療への道を進むことになるでしょう。

みなさま、本年度も
よろしくお願いいたします

<訪問エリア>

日野町・江府町・日南町・伯耆町
新見市・新庄村

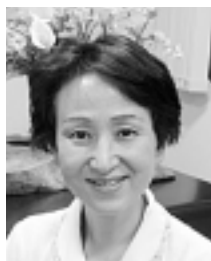
<連絡先>

訪問看護：72-2706

居宅介護：72-2723



新人メンバーの紹介



看護師長
かげやま みつえ
影山 光恵

今年度より、病院外来から訪問看護ステーションに異動となりました。原点に戻り人としての思いやりを大切に、思いを新たに地域に出かけ、皆様の住み慣れたお家での生活を応援していきたいと思っています。皆様、よろしくお願いいたします。



理学療法士
としげ ゆみこ
利重 弓子

この度、日野病院リハビリテーション室から訪問看護ステーションへ異動となりました。訪問リハビリを通し、皆様がより良い在宅生活を送れるようお手伝いさせていただきます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

《ご利用者満足度調査の報告》 平成25年2月に調査を行いました。

たくさんの回答を頂きありがとうございました。皆様からのご意見を紹介致します。

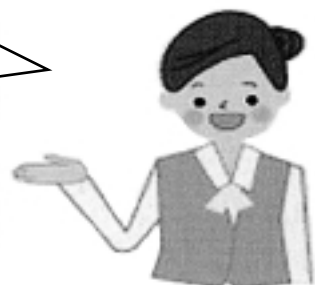
～訪問看護へのご意見～

- * 入院と同じように看護を利用できたので満足です。
- * 本人の健康状態が良くわかり、安心できます。
- * 主治医へ連絡を取るなど迅速な対応をしてもらえて良かったです。
- * 終末を迎えるに当たり、家族看護の手助けと病人の心の安らぎのため心強く感じました。



～ケアマネジャーへのご意見～

- * 利用者家族の不安や困り事に親身になって相談に乗って下さったり、利用者の視点でプランを立てて下さり大変助かっています。
- * 急な事が起きてもいつでも相談ができるので安心して介護しています。
- * 担当ケアマネさんが不在でも他のケアマネさんがすぐ対応して下さい喜びました。



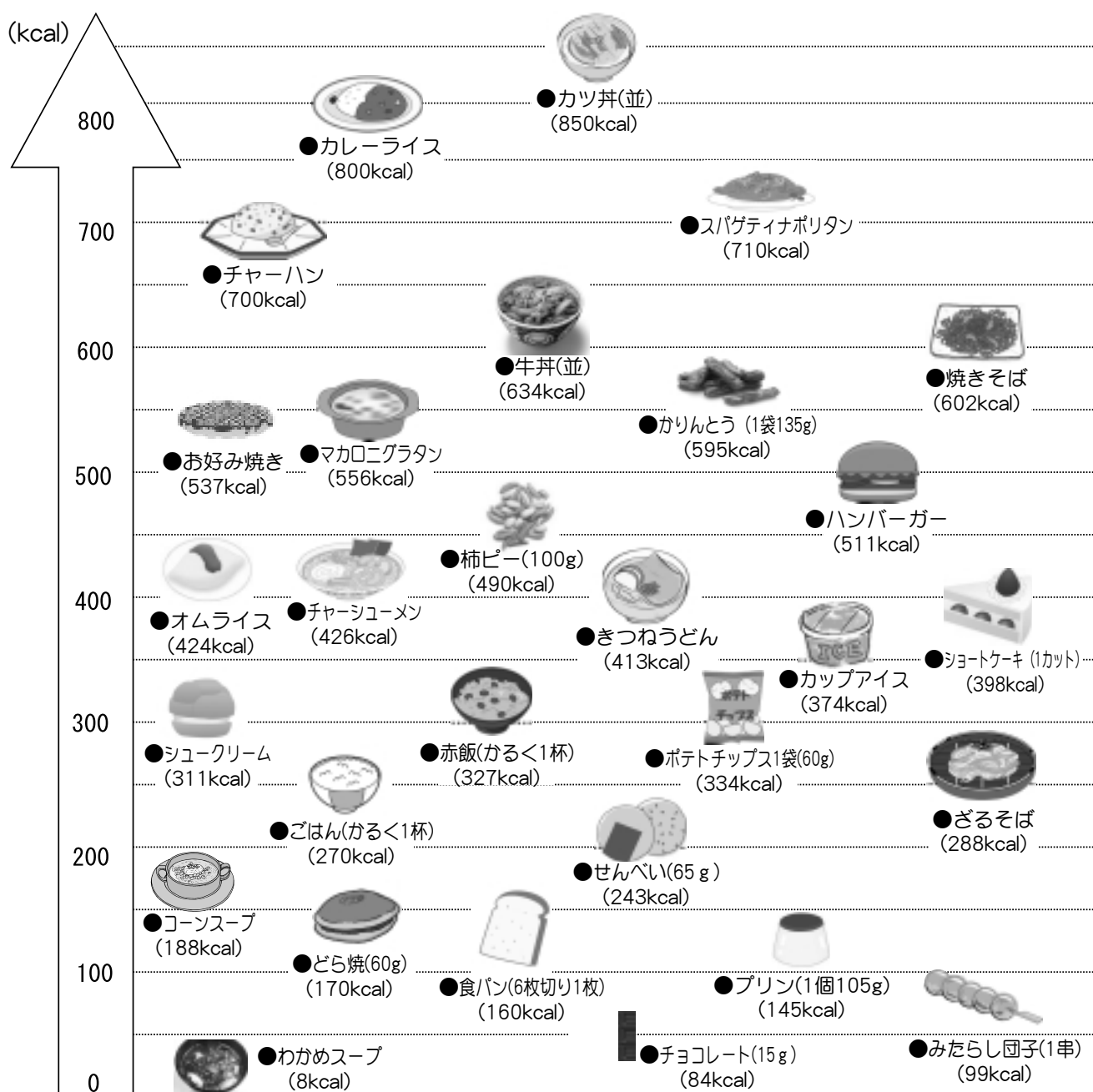
地域の皆様の『我が家で暮らしたい』という思いに添えるよう努めてまいります。今後とも、よろしくお願いいたします ☺

皆さんは、普段食べている食品のエネルギーがどのくらいあるかを知っていますか？
 栄養ニュース第1号では、自分に必要なエネルギー量を計算し、第2号では、消費エネルギーの目安について紹介しました。今回は、皆さんが普段よく目にしている食品のエネルギーを表で示しました。
 この表を参考に、ご自分の1日に必要なエネルギー量と照らし合わせてみてはいかがでしょうか。

例：1日の必要エネルギーが1,800kcalの人の場合・・・

1日3食なので、 $1,800(\text{kcal}) \div 3 = 600$ 一食当り600kcal

昼食にチャーハンとチャーシューメンを食べた場合、(下表の値より)700kcal + 426kcal = 1,126kcal。
 一食当りの目安の600kcalを526kcalも上回っており、摂りすぎということになります。



※上表はひとつの目安としてご覧ください。同じ食品でも、商品によってエネルギーが異なる場合があります。

★日野病院 栄養管理室★

介護老人保健施設あやめ

今年は雪も例年になく少なく、3月から暖かい日が続きました。全国的に桜の開花が早く、あやめの桜も3月末には咲き始め4月初旬には満開となりました。風が吹くと花びらが散りととても風情のある状況でした。

あやめでは、今まで以上の充実した介護・リハビリ・ケアを提供できる、地域連携により地域の皆様に喜ばれる施設としてまいります。

今後とも、あやめをよろしくお願い申し上げます。

《通所リハビリテーション》

毎年恒例の節分の豆まきを行いました。

皆様に二列に並んでもらうと職員扮する鬼の登場！豆入りのお手玉を鬼に向かって「鬼は～外！福はうち!!」と投げてくださいました。

一日目の鬼は「痛い痛い飛んで行け～」と皆様の膝や腰をさすって病を持ち去り、二日目の鬼はパンツを狙って豆を投げられ泣き泣き退散していき皆様大爆笑でした。



《入所サービス》

『餅つき会』今年はいろいろありました。1月に予定していたところ、インフルエンザ予防のため延期、2月の旧正月に開催したところ、もち米の段取り悪く「つく」ことが出来ずとトラブル続き。それでも「餅をこねたい」との皆様の希望があり、再度実施。つき上がった餅を皆様慣れた手つきで上手にこね、たちまち出来上がりました。

後はぜんざいで美味しくいただきました。



《花トリピー訪問》

今年9月に開催される、全国都市緑化とっとりフェアのキャラバン隊として花トリピーさんが来所され、利用者の皆様と色紙でペンダントを作ったりと楽しいひと時を一緒に過ごしました。



★ご相談

江府町大字武庫475番地

介護老人保健施設あやめ

T E L 0859-75-3230 ・ F A X 0859-75-3280

新規採用医師紹介



内科
北谷 新

診察日

火・金曜日
(午前中)

内科の北谷と申します。昨年度までは鳥取県岩美郡の岩美病院に勤務しておりました。出身は鳥取市で、鳥取県西部は暮らすのも初めてとなりますが、地域の医療に貢献できるように頑張りたいと思います。よろしく願います。



整形外科
柳楽 慶太

診察日

月・火・木・金
(午前中)

4月から赴任いたしました整形外科の柳楽（なぎら）と申します。関節を中心に外傷、脊椎疾患などマルチに診ていきたいと思っています。皆さんのお役に立てるよう頑張っていきますので、よろしく願います。

新規採用職員紹介



看護師
長住 早紀

この度、日野病院に看護師として勤務することとなりました。生まれ育った地域で、わからないことばかりですが、一人の医療スタッフとして頑張りたいと思います。



介護福祉士
北村 清香

私はずっとあやめで働いており、このたび正職員になりました。

正職員になり、さらに気を引き締め頑張っていこうと思っています。

今後ともよろしく願います。



理学療法士
西村 恵

日野の環境が好きです。温かい人柄も好きです。こちらで働くことができてうれしく思っています。皆様が笑顔で生活している様に楽しく、でも、しっかりとリハビリをしていきたいと思っています。どうぞ、宜しくお願いします。



介護福祉士
近藤 雅俊

施設で介護の仕事をするのは初めてのことで戸惑うこともありますが、先輩方から丁寧な指導をして頂き日々、頑張っています。まだまだ分からないことばかりですが、一歩ずつ前へ進んでいこうと思います。よろしく願います。

診察日予約の 変更について

内科・外科・整形外科の常勤医師の診察において、時間診察日の予約を行っていますが、予約日を変更することもできます。予約日を変更する場合は、前日までに下記にご連絡ください。なお、希望する日に変更できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

【予約変更の受付時間】

平日の午後2時から午後4時までの間

【各診療科直通電話番号】

◆内科	7 2 - 2 7 2 1
◆外科・泌尿器科	7 2 - 2 7 1 9
◆整形外科	7 2 - 2 7 2 0

整形椅子

整形外科診察室前にある1つだけ種類の違う椅子をご存知でしょうか？この椅子は、「腰や足が悪い人には、待合室にある椅子が低く、座りにくいです。もう少し高い椅子がありがたいです。」という患者様の声にお応えして設置しました。周りの椅子より高さがあり、肘置きもあるため、立ち上がりやすいと思いますので、みなさんで譲り合いながらご利用ください。



「看護の宅配便」が全国の自治体病院に発信！！

「看護の宅配便」の活動が「全国自治体病院協議会雑誌」に掲載されました。この雑誌を読まれた滋賀県の病院から視察も受け、日野病院の活動を県外に発信することにもなりました。「看護の宅配便」は今年度も地域の皆様にもっと、もっと喜んで頂けるよう頑張ります。（病院正面玄関横に掲示中）



◎薬局の処方について、足の悪い者には近いところですが大変負担です。
院内で頂くことはできないか検討をお願いします。
お薬を受け取られる際に、「ご不便をおかけしています。現在当院が行っている院外処方とは、厚生労働省が進める医薬分業（診療業務と調剤業務の分業）の制度に伴って行っています。行きつけの院外薬局（かかりつけ薬局）で薬をもらうことで、複数の医療機関や診療科からの薬の重複や飲み合わせのチェック、市販薬や健康食品等との飲み合わせのチェックなどができるほか、過去に服用された薬の記録も残るため、アレルギーや副作用が出た薬の確認もでき、より安心して薬を飲んでいただけるようになります。」
処方せんの有効期限は4日間、その間に代理の方に近くの院外薬局で受け取っていただくことも可能です。
院外薬局で薬を受け取られるメリットもたくさんあることをご理解いただき、ご協力をお願いします。

今後とも、患者様に喜ばれる病院となりますよう、職員一同がんばります。お気付きの点がございましたら、ご意見をお寄せください。

◎トイレできれいに手を洗っても、出る時ドアノブをつかみます。外へ出た所に消毒液を置いていただきたいと思います。
ご指摘をいただきありがとうございます。さっそく設置いたしました。
◎問診票を書く際、小さい字が見えにくいので、各外来の窓口に老眼鏡が置いてあればいいと思います。
中央処置室に老眼鏡を設置しました。必要な場合は、外来看護師に申し出てください。

患者様の声を受け、様々な点で改善をしています。これからお気付きの点がありましたらご意見をお寄せください。（院内には患者様の声をいただく箱を、外来・2階病棟・3階病棟に設置しています。）
また、日野病院のホームページの「ご意見箱」からもご意見をお寄せいただけます。



患者様の声
(改善点)



～看護の日 イベントで 「記念植樹」をしました～

5月10日、地域の皆様に見守られながら看護の日のイベントとして、「記念植樹」を行ないました。日野病院は、美しい緑と日野川のせせらぎに癒やされるすばらしい環境に恵まれています。この自然治癒力の高まる環境を大切にすることは、ふるさとを大切に思うこと、それは自分自身を大切にすることに繋がります。そんな気持ちを込めた植樹です。

今回植樹したドングリの木にはすばらしいエピソードがあります。平成11年秋、オシドリグループのもとへ鳥取県知事様から知事公舎のドングリが届きました。その中の数粒をオシドリグループが、大切に育てられ、平成19年1月にオシドリ観察と写真撮影のために日野町へお成りになった高円宮久子妃殿下がお手植えをされた木です。

今年は第64回全国植樹祭が開催される記念の年でもあります。その年にこのすばらしい木に出会えたこと、またこの木を大切に育ててくださいましたオシドリグループの皆様に出会えたことは、オシドリがとりもつご縁だと思います。これからは、日野病院のシンボルとして地域の皆様の健康を願いつつ大切に育てていきたいと思っています。



日野病院売店について

4月1日から日野病院売店をハイマートタッチ（代表者安達幸博）に委託することになりました。プロポーザル方式により公募し、提案書及びヒアリングを行い選定しました。期間は平成25年4月1日から平成30年3月31日までです。



連絡先

日野病院

鳥取県日野郡日野町野田332番地
TEL 0859-72-0351
FAX 0859-72-0089

黒坂診療所

鳥取県日野郡日野町黒坂1243-1番地
TEL 0859-74-0351
FAX 0859-74-0351

二部診療所

西伯郡伯耆町二部1554番地4
TEL 0859-62-0351
FAX 0859-62-0351



切り取り線

〈編集後記〉

今年、5月26日に開催される「全国植樹祭」は、毎年春季に天皇皇后両陛下ご臨席のもとに行なわれる国土緑化運動の中心的行事です。この記念の年に、日野病院をとりまく環境をちよつと見回してみましよう。山々の新緑と日野川のせせらぎ、そして田んぼでそよぐ稲の緑、本当にすばらしい！この景色に癒やされ、この空気に癒やされ、今年も頑張れるパワーを頂きました。

(小)

日野病院 外来診療案内

最新版 H.25.6～

午前 午後 休診

			受付	月	火	水	木	金	土	
									第2週	第4週
内 科	一 診	午前	櫃田 豊	櫃田 豊	細田 譲 (第1・3週)	櫃田 豊	松波馨士			
		午後			藤岡洋平※4 (第2・4週)					
	二 診	午前			今本 龍	中下聡子※4	中本成紀			
		午後			今本 龍		中本成紀			
	三 診	午前	松波馨士	北谷 新	熊野健太郎	熊野健太郎	北谷 新	熊野健太郎	松波馨士	
		午後								
	総合診療内科	午前				大学医師				
		午後				大学医師				
外 科		午前	大学医師	佐藤尚喜	大谷眞二	大学医師	佐藤尚喜			
整 形 外 科		午前	柳樂慶太	柳樂慶太	岡野 徹	柳樂慶太	柳樂慶太			
眼 科		午前	玉井嗣彦	玉井嗣彦※1	上田麻奈美	玉井嗣彦	春木智子			
小 児 科 アレルギー科		午前	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗	
		午後 ※3	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗 (第2・4・5週)	頭本一朗	頭本一朗			
専門診療科 (大学医師)			午前	禁煙外来 櫃田 豊※5	女性診療科 秦 幸吉	消化器内科 今本 龍	耳鼻科 竹内裕美	呼吸器内科 中本成紀	心臓外科 西村元延※2	心臓外科 西村元延※2
				泌尿器科 本田正史	皮膚科 足立又は後藤 (第1・3週)	血液内科 細田 譲 (第1・3週)	脳神経内科 中下聡子※4		血管外科 佐伯宗弘※2	ペースメーカー 白谷 卓※2 (偶数月のみ)
						糖尿病外来 藤岡洋平※4 (第2・4週)	総合診療内科 大学医師			
			午後			消化器内科 今本 龍	総合診療内科 大学医師	呼吸器内科 中本成紀		
						糖尿病外来 藤岡洋平※4 (第2・4週)		心療内科 山内崇平		
						女性診療科 大学医師 (第1週)				

(注) 医師の出張等により、担当医師等が変更になる場合があります。詳しくはホームページ・正面玄関の掲示板等でご確認ください。

自動再来受付機による受付時間 ●午前＝7時30分～11時30分 (一部8時30分～10時30分 ※6) ●午後＝正午～16時

診療開始時間 ●午前＝9時～ (一部9時30分～ ※2) ●午後＝14時～

電話による内科または ●午前＝10時～10時30分 (当日の午前受付のみ) *受付電話番号 0859-72-2733 (専用)
整形外科の受付時間

休診日 ●日曜日・祝日 ●毎月第1・3・5土曜日及び第2・4土曜日の午後 ●8月14日・15日 ●12月29日～1月3日

- ※1 火曜日の眼科受付時間は10時30分までです。
- ※2 診察開始時間は9時30分からです。
- ※3 午後から医師が健診のため不在になることがあります。詳しくはお電話でお問い合わせください。
- ※4 完全予約制です。受診希望の方は、まず内科を受診して医師にご相談ください。
- ※5 初診は予約が必要です。2回目からは内科受診となります。
- ※6 初診の方・常勤医師 (内科・外科・整形外科のみ) の診察予約日以外に受診の方

この広報誌は、患者様のご希望により、構成町 (日野町・江府町・伯耆町) の全戸に配布しています。

外来診療案内ポケット版

午前 (受付時間は、7時30分から11時30分まで) (H.25.6月～)

診療科目	月	火	水	木	金	第2土	第4土	備考
内 科	一診	櫃田	櫃田	(糖尿病)	櫃田	松波		
	二診			今本	(脳内)	(呼吸器)		
	三診	松波	佐々木	熊野	熊野	佐々木	熊野	松波
	総合診療内科			(大学)				
外 科	佐藤	佐藤	大谷眞	(大学)	佐藤			
整 形 外 科	谷田	谷田	岡野	谷田	谷田			
眼 科	玉井	玉井	唐下	玉井	川口			
小 児 科	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本	
そ の 他 (大 学)	禁煙外来	女性診療科	糖尿病外来	耳鼻科	呼吸器			
	泌尿器科	皮膚科	消化器内科	脳神経内科		心臓外科		
						血管外科		
						ペースメーカー		偶数月

午後 (受付時間は、12時から16時まで)

診療科目	月	火	水	木	金	備考
内 科			(大学)	総合診療内科	(大学)	
小 児 科	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本	
その他(大学)			糖尿病外来 消化器内科 女性診療科		心療内科 呼吸器	

※医師の出張等により、診察日・担当医師が変更になる場合があります。

(切り取って財布等に入れてご利用ください)

切り取り線

せせらび

No. 48

平成25年9月発行
題字 櫃田 豊 病院長



日本医療機能評価機構
認定第JC1483号

発行/日野病院組合 編集/日野病院広報委員会 〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332番地 TEL0859-72-0351
日野病院ホームページ <http://www.hinohp.com/> FAX0859-72-0089



写真：松本利秋氏（11ページに関連記事）

日野病院の基本理念

- 一 地域住民のニーズにあった良質な医療、保健、福祉のサービスを行い、山間地中核病院として信頼される病院を目指す。
- 二 自治体病院の職員としての自覚と使命感をもって、より良い患者サービスに努める。

基本方針

1. 高齢者の疾病に対応する慢性疾患をはじめ、急性期医療にも取り組みます
2. 住民が安心して地域で暮らすことができるよう、救急医療に対応します
3. 安全な医療を提供するため、安全管理対策を推進します
4. 小児科医療を通じ子育て支援に協力します
5. 多機能に対応できるリハビリテーションを実践します
6. 出かける医療、近づいていく医療と福祉に努めます
7. 検診ドック事業・各種指導事業を積極的に展開します
8. 職員の人材育成に努め、地域に貢献します

病院機能の充実を目指して



日野病院病院長
檀 田 豊

今年の夏、日本列島は連日の猛暑に見舞われています。さらに、“ゲリラ豪雨”も頻発し、つい先日（8月23日）には島根県江津市で降り始めたらの総雨量が474mmと、同市における8月の平年雨量の3.3倍に達したと報道されました。市内の全世帯に避難勧告が出され、一部の住民の方々は避難所で不安な時間を過ごしたとのことでした。

日野病院の元病院長で現済生会江津総合病院病院長の堀江裕先生から「避難所を回っている」との連絡がありました。堀江先生のことながらの行動力に感心するとともに、豪雨災害に対する日野病院としての対策を早急に講ずる必要性を感じました。

さて、今年は9月以降に今後の日野病院に大きな影響を与えるであろう出来事が2つ控えています。その1つは日本医療機能評価機構による病院機能評価です。日野病院は平成19年に1回目を受審していますので、今回は2回目となります。1回目の審査が様々な病院に共通して適用される評価項目（第二世代Ver.5.0）で行われたのに対し、今回は一般病院1、一般病院2、リハビリテーション病院、慢性期病院、精神科病院の5つの機能種別に応じた評価項目で行われます（機能種別評価項目第三世代Ver.1.0）。日野病院は日常生活圏域の比較的狭い地域において地域医療を支える中小規模病院

を対象とする一般病院1を受審します。日ごろの私どもの活動がどのように評価されるのか、不安と期待を感じながら受審に向けての準備を進めています。

2つめはMRI装置の更新です。9月13日から現在の装置の解体、シールド工事が始まり、10月6日からの新しい装置の搬入組立を経て、11月1日に本稼動となる予定です。新しい装置では質の高い鮮明な画像が得られることは勿論、検査時間が短縮されます。また、可動式の撮像テーブルにより患者さんの安全、迅速な移動が可能となります。

現在のMRI装置は平成12年の新病院開設時に導入されました。既に耐用年数を大幅に超過し、交換部品の入手も困難になり始めていました。装置を更新するか否かについては、長い間様々な議論を重ねてきました。買換えには1億円程度の高額な費用がかかること、また、現在の診療点数ではその費用をペイすることが難しいことなどの問題点が挙げられました。その一方で、日野病院に設置されることで得られる利便性や救急医療への貢献などが利点として指摘されました。最終的には日野病院組合議会でご判断をいただき、更新が決定しました。費用面でご支援をいただいた構成町に対して、この場をお借りしまして心よりお礼申し上げます。

以上のように、日野病院はソフト面、ハード面の両面で病院機能の充実を目指して頑張っております。どうぞ、ご支援の程よろしくお願いいたします。

遺伝子検査を考える



日野病院名誉病院長 玉井 嗣彦

やっと秋めいてきましたが、今年の夏は例年になく猛暑で大変でしたね。皆様、体調管理はいかがでしたか。くれぐれもご自愛の上ご活躍下さい。

さて、前回本誌上で、「エビデンスの名のもとに全ての患者さんに画一的な標準化治療を行うことへの限界も見え始めた今日、多くの疾患で遺伝子解析が進むようになりますと、近い将来、医学界は眼科領域に留まらず、各分野の多くの疾患で、患者個人を対象とした個別化医療への道を進むことになるでしょう」と述べました。

その直後、これを裏付けるような報道が5月14日付の「ニューヨーク・タイムズ」でありました。アメリカの女優、アンジェリーナ・ジョリーさん（37歳）が、「遺伝性の乳がんを予防するため、両乳腺を除去する手術を受けた」というものです。

健康診断時受けた遺伝子検査で、乳がんや卵巣がんの発症率が高くなる可能性がある「BRCA1」という遺伝子に変異があることを知った彼女は、「がんの発症率は個人差があるが、医師の説明では乳がんは87%、卵巣がんは50%と推定される。そこで、手術をすることで、乳がんになるリスクを最小限（5%未満程度）に抑えることができると判断した」と冷静に分析していますが、彼女の母親が乳がんにかかったことがあり、2007年に56歳で早死にしたことも影響しているかもしれません。

しかし、明日を予知する後述の本格的な「長寿遺伝子検査」はなされていないので、彼女の運命については神のみぞ知る状態ですが、勇気ある選択として、全世界で俄然注目されました。

長寿遺伝子は別名「サーチュイン遺伝子」といいますが、細胞分裂の度に短くなっていく染色体の末端にある老化に関係する構造物「テロメア」の長さを再び伸ばす働きがあり、この「テロメアを伸ばす力」を数値化し、測定するのが長寿遺伝子検査です。

世界で初めて日本で開発され、現在、全国63の病院で行われています。検査方法はいたって簡単で、たった2.5ミリリットルの血液を採取するだけです。解析結果は、3、4週間ほどで出ます。

検査結果はサーチュイン遺伝子の活性度で示され、極めて低い30以下から極めて高い100台までの8段階に分けられます。暫定平均値51.1が平均寿命（2012年時点で男性約79.94歳、女性約86.14歳）を表し、51.1より高ければ長生きするし、51.1より低ければ早死にすることになります。この検査で、数値が80台以上になれば確実に長生きするという具合で、とにかく、検査をすれば、いや応なしに「己の寿命」が分かるという仕組みです。

しかし、サーチュイン遺伝子の活性度は、ストレス、食事内容、赤ワイン、飲酒、たばこ、運動、睡眠などの諸因子の結果しだいで数値が大きく左右することが指摘されており、より活性度を上げる生活習慣を普段より身につけることが長寿の秘訣であるかもしれません。

6年連続で黒字決算となりました！

平成24年度決算のご報告

去る8月30日に開催された日野病院組合議会において平成24年度の決算が認定されました。その内容を報告します。

○ 病院事業等（日野病院、在宅介護支援事業所、黒坂・二部診療所）

収益は、前年度と比べ外来患者数・入院患者数ともに減少した影響により減収となりました。一方費用は、退職給与引当金を追加で50,000千円引きあてたこと等により増加しましたが、38,560千円の黒字決算となりました。また、今年度決算をもって、最高599,583千円（平成18年度）あった累積欠損金が解消され、30,569千円の剰余金が発生いたしました。

○ 介護老人保健施設事業（あやめ）

平成24年度で施設運営を開始してから7年目を終えました。前年度と比べ利用者数では入所者が増加したものの、短期入所、通所リハビリテーションが大きく減少しました。収益は、入所者増の影響で増加しました。費用も、材料費・経費等の増により増加しましたが、5,176千円の黒字決算となりました。

日野病院組合事業決算概要

○ 病院事業等（日野病院、在宅介護支援事業所、黒坂・二部診療所）

（単位：千円）

（単位：千円）

区 分		2 3 年 度	2 4 年 度	増 減	備 考
収 益	医業収益	1,190,449	1,170,969	△19,480	入院収益、外来収益、公衆衛生活動収益等
	介護サービス収益	51,221	56,579	5,358	訪問看護、訪問リハビリ収益等
	医業外収益	388,446	390,356	1,910	負担金交付金、補助金等
	収益合計	1,630,116	1,617,904	△12,212	
費 用	医業・介護サービス費用	1,462,511	1,543,131	80,620	給与費、材料費、経費、委託費、研究研修費等
	医業外費用	38,318	36,213	△2,105	企業債利息、消費税等
	費用合計	1,500,829	1,579,344	78,515	
決算額		129,287	38,560	△90,727	

資金不足比率 ※	該当なし	該当なし		(流動負債等-流動資産等) /営業収益×100
資金不足負担金発生までの額	462,928	501,614	38,686	マイナスとなった場合にのみ負担金(追加分)が発生
年度末退職給与引当金残高	199,624	250,403	50,779	引当額106,607千円 退職金支払額55,828千円（7名）

○ 介護老人保健施設事業（あやめ）

（単位：千円）

区 分		2 3 年 度	2 4 年 度	増 減	備 考
収 益	介護サービス収益	384,409	390,269	5,860	介護報酬収益、利用者負担収益等
	介護サービス外収益	323	325	2	主治医意見書、認定調査等
	収益合計	384,732	390,594	5,862	
費 用	介護サービス費用	334,787	337,263	2,476	給与費、材料費、経費、委託費、研究研修費等
	介護サービス外費用	48,155	48,155	0	江府町への負担金
	費用合計	382,942	385,418	2,476	
決算額		1,790	5,176	3,386	

資金不足比率 ※	該当なし	該当なし		(流動負債等・流動資産等) / 営業収益 × 100
年度末退職給与引当金残高	3,521	3,807	286	引当額4,169千円 退職金支払額3,883千円 (2名)

※地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項（平成19年法律第94号）の規定による。

○患者数（利用者）診療単価、及び稼働率等

1.病院事業

項目	患者数（人）			1人1日当たり診療単価（円）			病床利用率（％）		
	23年度	24年度	増減	23年度	24年度	増減	23年度	24年度	増減
(1) 入院診療	26,631	25,668	△ 963	29,872	29,449	△ 423	73.5	71.0	△ 2.5
(2) 外来診療	41,893	38,613	△ 3,280	7,369	8,496	1,127			

2.在宅介護支援事業

項目	利用者数（人）			1人1日当たり単価（円）		
	23年度	24年度	増減	23年度	24年度	増減
(1) 訪問看護等	4,182	5,108	926	12,248	11,077	△ 1,171

3.診療所事業

項目	患者数（人）			1人1日当たり診療単価（円）		
	23年度	24年度	増減	23年度	24年度	増減
(1) 黒坂診療所	1,157	905	△ 252	3,710	4,487	777
(2) 二部診療所	94	97	3	4,187	4,568	381

4.介護老人保健施設事業（あやめ）

項目	患者数（人）			稼働率（％）		
	23年度	24年度	増減	23年度	24年度	増減
(1) 入所	22,865	25,258	2,393	89.2	98.9	9.7
(2) 短期	2,020	1,081	△ 939	55.2	29.6	△ 25.6
(3) 通所	7,113	6,776	△ 337	76.2	73.1	△ 3.1

○ 部門別各種統計（抜粋）（単位：件または人）

手術件数	23年度	24年度	差引
外科	75	65	△ 10
整形外科	155	110	△ 45
眼科	151	140	△ 11
泌尿器科	0	0	0

内視鏡検査	23年度	24年度	差引
胃カメラ	655	695	40
胃透視	23	16	△ 7
大腸ファイバー	77	132	55
大腸透視	1	0	△ 1
気管支鏡	12	18	6
胃ろう造設術	18	12	△ 6

超音波診断検査	23年度	24年度	差引
腹部エコー	642	589	△ 53
心甲乳エコー	237	246	9

薬局状況	23年度	24年度	差引
服薬指導(人数)	571	378	△ 193
服薬指導(件数)	1,084	643	△ 441
訪問服薬指導	108	100	△ 8
処方箋枚数	10,010	11,141	1,131
薬剤数	27,036	30,693	3,657
注射箋枚数	14,976	14,190	△ 786

栄養管理室状況	23年度	24年度	差引
入院時延べ食数	66,148	64,536	△ 1,612
外来透析食数	881	806	△ 75
栄養指導	532	541	9

検査室状況	23年度	24年度	差引
血液検査	17,889	18,980	1,091
尿検査	5,785	5,346	△ 439
心電図	1,740	1,727	△ 13
呼吸機能	435	562	127
眼底カメラ	277	292	15
脳波	15	19	4
血圧脈波	61	58	△ 3

訪問看護状況	23年度	24年度	差引
実人員	373	455	82
延べ人員	1,822	2,062	240

居宅支援	23年度	24年度	差引
件数	775	741	△ 34

訪問リハビリ	23年度	24年度	差引
実人員	515	586	71
延べ人員	2,360	3,046	686

放射線室状況	23年度	24年度	差引
単純撮影	5,563	5,729	166
骨塩定量	321	578	257
乳房撮影	36	29	△ 7
C T 検査	1,657	1,732	75
M R I 検査	640	838	198

人工透析状況	23年度	24年度	差引
実人員	157	178	21
延べ人員	1,734	1,938	204

理学療法状況	23年度	24年度	差引
運動器リハ(I)	8,689	9,463	774
運動器リハ(II)	5,020	3,383	△ 1,637
呼吸器リハ(I)	1,529	1,960	431
脳血管リハ(II)	11,023	12,877	1,854
脳血管リハ(II)廃用	3,020	2,192	△ 828
退院時(前)指導	380	319	△ 61
徒手(器具)的処置	2,618	1,597	△ 1,021

作業療法状況	23年度	24年度	差引
運動器リハ(I)	1,275	881	△ 394
運動器リハ(II)	1,220	564	△ 656
呼吸器リハ(I)	78	248	170
脳血管リハ(II)	2,647	2,666	19
脳血管リハ(II)廃用	1,277	284	△ 993

言語聴覚療法状況	23年度	24年度	差引
脳血管リハ(II)	3,657	4,048	391
脳血管リハ(II)廃用	398	254	△ 144
摂食機能療法	737	785	48

検診実施状況	23年度	24年度	差引
人間ドック	179	209	30
脳ドック	88	74	△ 14
生活習慣病検診	136	128	△ 8
婦人がん検診	20	72	52
予防接種	1,722	1,542	△ 180



連絡先

＊居宅介護支援事業所 0859－72－2723
＊訪問介護ステーション 0859－72－2706

＊認知症の予防トレーニングについて＊

みなさんがよくご存知の認知症。認知症は最新の医学では完治できないと言われていますが進行を遅らすこと、予防することができると言われてしています。今回は認知症の予防に効果的な運動とトレーニング方法をいくつかご紹介します！



作業療法士
道下 真紗美

認知症の予防法

運 動

- ・ストレッチ
- ・ラジオ体操
- ・散歩、ウォーキング
- ・ゲートボールやグラウンドゴルフなど

トレーニング

- ・将棋、編み物、刺繍、塗り絵、写生、短歌、俳句などの趣味活動
- ・パズル
- ・簡単な計算問題
- ・文字を書く、音読をする

認知症の予防法で大切なのは脳に刺激を与えること、他人と関わり合えること、趣味として楽しみながら行うことです。

何か良い方法はないかとお困りの方はお気軽にご相談ください。

民生児童委員会定例会に参加して

～顔の見える関係作りの大切さ～

地域包括支援センターからお誘いがあり、7月期民生児童委員会定例会に参加させていただきました。



ケアマネージャー
細田 悦子



今回の定例会では、当事業所の紹介と民生委員さんとの意見交換を行いました。家族形態が、独居・日中独居・高齢者のみの家庭・親子2人世帯に変わってきている昨今、介護保険のサービス事業所のみでは介護が必要な在宅高齢者の生活を支えきれなくなっています。

地域で高齢者の方が生活していくために、顔の見える関係作りを大切に、民生委員さんと連携をはかることが必要だと思いました。

「カロリーゼロ」「シュガーレス」「砂糖不使用」。糖尿病予備軍や太り気味でエネルギー量が気になっていて…という人はどれを選ぶと良いのでしょうか？一見、どれにもカロリーや糖分が「0」のように感じますが、実際は完全に「0」ではなく下記のように表示できるのです。

「カロリーゼロ」

食品100g(飲料なら100ml)あたりの熱量が5kcal未満であれば表示できます。

「シュガーレス」

砂糖や果糖、乳糖といった糖類が100g(飲料なら100ml)に0.5g未満しか含まれていなければ表示できます。「ノンシュガー」や「無糖」も同じ意味です。

「砂糖不使用」

単に砂糖を使っていないという意味。果糖、乳糖を含んでいても表示できます。

どうして甘いの？



?



「ノンシュガー」などの表示がある食品の甘味成分は、糖アルコールですが、それに非糖系甘味料のアスパルテームやステビアなどで補っている場合が多いです。この非糖系甘味料はショ糖の150～400倍の甘さです。

人工甘味料って？

人工甘味料にはアスパルテームやステビア、キシリトールなどがあります。これらはよく清涼飲料水や菓子に使われています。これらはヒトの消化管では消化吸収されずエネルギーにならないため、血糖コントロールが必要な糖尿病患者の方たちの砂糖の代替食品として使われています。しかし、摂り過ぎは考えものです。

人工甘味料の多用に注意！

- ①多用により甘味に鈍感になり、より甘味を欲し、人工甘味料不使用の食品の摂取増加にも繋がってしまい、血糖コントロールが困難になります。
- ②人工甘味料の安全性についてはまだ研究されているところなので、摂り過ぎに注意。つまり、料理に利用する程度とし、菓子や清涼飲料水の摂り過ぎは**禁物!**

低カロリー、血糖値上昇に関与しないからといって、これらの甘味料をむやみに摂るという食習慣にならないようにしましょう。



介護老人保健施設あやめ

夏休みも終わり暦の上では秋になりましたが、まだまだ暑い日が続いています。

当施設は今年で開所から7年が経過しました。利用者様の尊厳を守り安全・安心な環境を提供し、利用者様が「自分らしく暮らすこと」を支援することを目標に職員一同取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

《通所リハビリテーション》

7月は毎年恒例の七夕です。利用者様一人ひとりに願い事を短冊に書いていただき飾り付けていきました。

また、夏は暑さで食欲がなくなってきましたが、目先を変えて主菜バイキング、おやつバイキング、ソフトクリーム、流しそうめんと日々趣向を凝らしてお食事、おやつを提供させていただきました。おかげさまで大好評でした。

引き続き利用者様に喜んでいただける企画を考えてまいります。



《入所サービス》

今年も恒例の夕涼み会を開催しました。今年は利用者様の自慢の咽を披露していただいたり、職員の歌・踊りやたこ焼きなどで楽しんでいただきました。

利用者様からは「元気をもらいました。」とたくさんの拍手と歓声をいただきあっという間のひと時でした。

また、お化粧品教室、お茶会、おやつ作り、花回廊等へのお出かけなどなど行事を行っています。



《あやめグループの皆様》

あやめグループの皆様には、真砂土と石がごろごろしていた空地を長年かけて立派な花壇に仕上げていただきました。

また、毎月花壇の整備にお世話になり、季節の花を植え付けていただき、利用者様に楽しんでいただいています。



★ご相談

江府町大字武庫475番地

介護老人保健施設あやめ

TEL 0859-75-3230・FAX 0859-75-3280

お世話になりました、岡野先生

この8月に、鳥取大学医学部附属病院から派遣いただいた整形外科の岡野徹先生が、山陰労災病院に異動されました。岡野先生には、長年にわたり、主に毎週水曜日の外来診察、手術指導のためにご尽力いただきました。次に岡野先生からのご挨拶を掲載いたします。

日野病院は とても素敵な病院です



整形外科
岡野 徹 先生

大学人事の都合により、7月一杯で毎週水曜日の診療に通えなくなりました。日野病院の皆様と患者さんには大変ご迷惑をかけることになり、申し訳ございませんでした。私は、平成14年から週一回外来と手術をさせていただくことになり、10年間以上通ったことになりました。

どの医療が大学病院と同じレベルで享受できる病院は、どこにもないと思います。それは医師をはじめとしたすべての医療スタッフの方々の努力の賜物であるでしょう。また大学病院からとても近いという地理的条件もあるかもしれません。私自身、外来スタッフ、手術スタッフ、放射線部、薬剤部、検査部、理学療法部、事務部門の方々に、たくさんのお願いをしました。そして、皆さんは快く対処して下さいました。皆さんのおかげで物事がスムーズに運び、大変助けられました。

日野病院は鳥取県にとっても、大学病院にとっても非常に大切な病院です。整形外科の常勤医は、大学整形外科教室の都合で何年か毎に変更となります。しかし、これまでの先生をみればわかると思いますが、能力も高く、人柄も良い若い医師が派遣されています。病院の方々から大変気を遣っていただいていますし、日野病院の患者さんは温かいひとばかりで、常勤医も助かっています。彼らは、ほとんど1人で対処しなくてはいいけないため、大変な心労だと思いますが、これからの温かく見守ってあげてください。大学の整形外科教室とその同

門達がしっかりサポートいたします。

患者の皆さん、私を大変かわいがっていただき、本当にありがとうございます。皆さんとは、世間話をたくさんさせていたいただきました。自分の母親のような、家族のような、親戚のような感じで接していただきました。皆さんとお会いできなくなるのは、とても寂しい思いです。私は、米子市内で働いていますし、鳥取県の医療がより良くなるように頑張りますので、よろしく願います。これからも日野病院のスタッフを信頼して、「とても素敵で信頼できる日野病院」が益々すばらしい病院となるようにご協力をお願いいたします。

ありがとう ございました

岡野先生よりテレビを寄贈していただきました。心より感謝申し上げます。

なお、このテレビは整形外科外来前に設置して、患者の皆様にご利用していただけるようにしております。



改善 患者様の声 (改善点)



このコーナーでは、患者さまからいただいた意見（お褒めやお礼の言葉・苦情・提案等）の中から提案や改善項目に対する回答を紹介しています。

患者様の声を受け、様々な点で改善をしています。これからお気付きの点がありましたらご意見をお寄せください。（院内には患者様の声をいただく箱を、外来・2階病棟・3階病棟に設置しています。）また、日野病院のホームページの「ご意見箱」からもご意見をお寄せいただけます。

◎外来トイレに、手ふきペーパーかエアタオルを設置してください。

ポケットが付いていない病衣を採用しているため、病棟にはペーパータオルを設置していますが、外来患者の皆様には、お手持ちのハンカチの使用をお願いしています。

なお、外来トイレの前に消毒液を設置していますのでご利用ください。

◎食事の時に配られるお茶ですが、少し熱く高齢者には飲みにくいように思います。もう少し適温で、飲みやすいように配っていただけたらと思います。

ご意見をいただきありがとうございます。

ご意見のとおり、お茶の提供については、食事時間の30分前に提供し、食事の時に丁度よい熱さとなるように、熱いお茶を出すようにしていましたので、提供した時点では熱すぎて飲めない状況でした。

先日、栄養管理室が行った嗜好調査でも「熱いお茶は飲めないで、朝もらったお茶を1日かけて冷まして飲んでいきます」といった意見もありました。

今後は、少し温度を下げ提供したいと思えます。

また、夏季の間は水分を摂りやすいよう、冷たいお茶も同時に用意することにしましたので、どうぞご利用ください。

今後とも、患者様に喜ばれる病院となりますよう、職員一同がんばります。お気付きの点がございましたら、ご意見をお寄せください。

ねうまつり

7月20日（土）に開催された「ねうまつり」に今年も日野病院組合職員互助会として約50名の踊り子連が参加しました。祭には最高の天気でしたが、例年以上の暑さと踊りの量に、日頃運動不足の体は悲鳴をあげていました。それでも踊り終えた後は、みんな笑顔でした。

たくさんのご声援と拍手、またご祝儀を頂きましたことに厚くお礼を申し上げます。



看護相談コーナー

6月から、正面玄関ホールで『看護相談コーナー』を始めました。

現在は新患受付や自動再来機の使用法、車椅子への移乗介助、診療科のご案内などを行うことが多いです。今後は、外来通院中の患者さんやそのご家族のどなたでも病気に関する事や検査・治療に関する疑問や、退院後の生活での困りごとなど、お気軽に声をかけていただけるコーナーにしていきたいと思ひます。担当者は看護局長・外来看護師が対応させていただきますが、内容によっては医師または専門職も対応いたします。どうぞ、お立ち寄りください。



MRIを更新します

(9/13~10/31)

(導入作業期間中はMRI検査ができません)

日野病院は、MRI装置の更新を行います。

MRI装置は、CT装置とともに画像診断の重要な検査装置として、整形外科をはじめ神経内科や心療内科（認知症診断）等、各診療科の診療に欠かせない医療機器です。今回更新するMRI（1.5テスラー）は、診断応力の高い画像の提供ができるようになり、検査時間も短縮（約60分→約40分）できます。

現在、導入作業を行っており、11月1日から本稼働する予定です。導入作業期間中は、MRI検査ができないため、急患対応や診察の一部にご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力のほどお願い申し上げます。



〈編集後記〉
今年例年より早く梅雨明けが発表され、8月には猛暑が続きました。そのためか、秋の到来が待ち遠しく感じられました！天高く馬肥ゆる秋。食べ過ぎに注意して、紅葉・読書と・・・秋を楽しみたいですね♪
(松)

切り取り線

日野病院組合ニュース

夕涼み会について

8月2日に夕涼み会を開催しました。今年はバザー、喫茶コーナー、ヨーヨー釣りなど、それぞれ皆様楽しんでいただいた後、江府町プラナニフラ教室の生徒の皆様によるフラダンスを披露していただきました。普段から踊っておられる効果でしょうか、生徒の皆様肌ツヤもよく、ハツラツと踊っておられました。

なお、バザーの売り上げ金の一部は24時間テレビチャリティに寄付しました。

ご協力ありがとうございました。



日野病院「再チャレンジきょうしつ」



1. 研修目的：看護の仕事から一端離れている看護師・准看護師の再就職の支援を行う。
2. 研修日程：10月、11月（第1月曜日）
3. 研修場所：日野病院 第一会議室
4. 対象：看護師の免許を取得しており、看護の仕事からしばらく離れている看護師、准看護師の方
5. 服装：軽装（白衣貸与）
6. 参加費：無料
7. 申し込み先：日野病院 看護局 小村 総務課 頭本まで TEL0859-72-0351（代表）
開催の2週間までにお申し込み下さい。

*下記のプログラムを準備しておりますが、個人の希望にも対応いたします。

8. 日程

時 間	内 容	時 間	内 容
10:00~10:10	オリエンテーション	13:00~13:30	=感染防止対策= ・標準予防策について ・手洗いについて ・針刺し事故防止対策について
10:10~10:30	日野病院看護局の概要（看護の動向）	13:30~14:00	=スキンケア= ・褥瘡予防について （ポジショニング、ドレッシング材） ・栄養（胃ろう）について
10:30~11:00	=医療安全= ・医療従事者が遭遇しやすいヒヤリ・ハット事例について	14:00~14:10	休憩
11:00~12:00	=看護技術= ・静脈注射・輸液の基礎知識 ・静脈注射の実際 ・医療器機類の操作方法と注意点 （輸液ポンプ・シリンジポンプ） ・気管内吸引手技	14:10~15:00	=一次救急= ・一次救命の実際
12:00~13:00	*昼食（食事は病院で用意します） *看護スタッフと意見交換など		

連絡先



日野病院
鳥取県日野郡日野町野田332番地
TEL 0859-72-0351
FAX 0859-72-0089

黒坂診療所
鳥取県日野郡日野町黒坂1243-1番地
TEL 0859-74-0351
FAX 0859-74-0351

二部診療所
西伯郡伯耆町二部1554番地4
TEL 0859-62-0351
FAX 0859-62-0351

日野病院 外来診療案内

最新版 H.25.10～

午前 午後 休診

		受付	月	火	水	木	金	土	
								第2週	第4週
内 科	一 診	午前	櫃田 豊	櫃田 豊	細田 譲 (第1・3週)	櫃田 豊	松波馨士		
		午後			藤岡洋平※4 (第2・4週)				
	二 診	午前			今本 龍	中下聡子※4	中本成紀		
		午後			今本 龍		中本成紀		
	三 診	午前	松波馨士	北谷 新	熊野健太郎	熊野健太郎	北谷 新	熊野健太郎	松波馨士
		午後							
	総合診療内科	午前				大学医師			
		午後				大学医師			
外 科		午前	大学医師	佐藤尚喜	大谷眞二	大学医師	佐藤尚喜		
整 形 外 科		午前	柳樂慶太	柳樂慶太	大学医師	柳樂慶太	柳樂慶太		
眼 科		午前	玉井嗣彦	玉井嗣彦※1	上田麻奈美	玉井嗣彦	春木智子		
小 児 科 アレルギー科		午前	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗
		午後 ※3	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗 (第2・4・5週)	頭本一朗	頭本一朗		
専門診療科 (大学医師)		午前	禁煙外来 櫃田 豊※5	女性診療科 秦 幸吉	消化器内科 今本 龍	耳鼻科 竹内裕美	呼吸器内科 中本成紀	心臓外科 西村元延※2	心臓外科 西村元延※2
			泌尿器科 本田正史	皮膚科 足立又は後藤又は堤 (第1・3週)	血液内科 細田 譲 (第1・3週)	脳神経内科 中下聡子※4		血管外科 佐伯宗弘※2	ペースメーカー 白谷 卓※2 (偶数月のみ)
					糖尿病外来 藤岡洋平※4 (第2・4週)	総合診療内科 大学医師			
		午後			消化器内科 今本 龍	総合診療内科 大学医師	呼吸器内科 中本成紀		
					糖尿病外来 藤岡洋平※4 (第2・4週)		心療内科 山内崇平		
					女性診療科 大学医師 (第1週)				

(注) 医師の出張等により、担当医師等が変更になる場合があります。詳しくはホームページ・正面玄関の掲示板等でご確認ください。

自動再来受付機による受付時間 ●午前＝7時30分～11時30分 (一部8時30分～10時30分 ※6) ●午後＝正午～16時

診療開始時間 ●午前＝9時～ (一部9時30分～ ※2) ●午後＝14時～

電話による内科または ●午前＝10時～10時30分 (当日の午前受付のみ) *受付電話番号 0859-72-2733 (専用)
整形外科の受付時間

休診日 ●日曜日・祝日 ●毎月第1・3・5土曜日及び第2・4土曜日の午後 ●8月14日・15日 ●12月29日～1月3日

※1 火曜日の眼科受付時間は10時30分までです。

※2 診察開始時間は9時30分からです。

※3 午後から医師が健診のため不在になることがあります。詳しくはお電話でお問い合わせください。

※4 完全予約制です。受診希望の方は、まず内科を受診して医師にご相談ください。

※5 初診は予約が必要です。2回目からは内科受診となります。

※6 初診の方・常勤医師 (内科・外科・整形外科のみ) の診察予約日以外に受診の方

この広報誌は、患者様のご希望により、構成町 (日野町・江府町・伯耆町) の全戸に配布しています。

外来診療案内ポケット版

午前 (受付時間は、7時30分から11時30分まで) (H.25.10月～)

診療科目	月	火	水	木	金	第2土	第4土	備考
内 科	一診	櫃田	櫃田	(血・糖・尿)	櫃田	松波		
	二診			今本	(脳内)	(呼吸器)		
	三診	松波	北谷	熊野	熊野	北谷	熊野	松波
	総合診療内科				(大学)			
外 科	(大学)	佐藤	大谷眞	(大学)	佐藤			
整 形 外 科	柳樂	柳樂	(大学)	柳樂	柳樂			
眼 科	玉井	玉井	上田	玉井	春木			
小 児 科	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本	
そ の 他 (大 学)	禁煙外来 泌尿器科	女性診療科 皮膚科	糖尿病外来 消化器内科 血液内科	耳鼻科 脳神経内科	呼吸器	心臓外科		
						血管外科	ペースメーカー	偶数月

午後 (受付時間は、12時から16時まで)

診療科目	月	火	水	木	金	備考
内 科			(大学)	総合診療内科	(大学)	
小 児 科	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本	
その他(大学)			糖尿病外来 消化器内科 女性診療科	心療内科 呼吸器		

※医師の出張等により、診察日・担当医師が変更になる場合があります。

(切り取って財布等に入れご利用ください)

切り取り線

せせらお

No. 49

平成26年 1 月発行

題字 櫃田 豊 病院長

発行／日野病院組合 編集／日野病院広報委員会 〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332番地 TEL0859-72-0351
日野病院ホームページ <http://www.hinohp.com/> FAX0859-72-0089



日本医療機能評価機構
認定 第JC1483号



(9 ページに関連記事)

あけましておめでと
うございます。
ご家族おそろいで新
しい年をお迎えになら
れたことと思います。
さて私たちの日野病
院も自治体運営に移行
し再出発したのが平成
8年の3月であり、18
年目の春を迎えること
になりました。そして
あの鳥取西部地震を経
験し旧病院は大きな被
害を受けたのが、平成
12年10月でした。幸い
なことに新病院を建設
中であり、完成を早め
て11月に現病院に移る
ことなり早13年が経過
しました。以来地域の
中核病院の役割を果た
しながら今に至ってい
ます。



日野病院組合管理者
景山 享 弘

新年のごあいさつ

しかし世の中も大き
く変化しつつあり、少
子高齢化が進み、人口
も減少しつつありま
す。これらに因應する
ためにも、医療・保健・
福祉の連携を強めて、
総合的な取組みを強め
る必要を感じていま
す。また、新病院建設
当時に整備された高度
医療機器も次々と更新
のときを迎えていま
す。今年度もMRIを
はじめとした高性能な
ものが導入されていま
す。地域に頼られる病
院として、そして安心
安全な地域を守る施設
として、櫃田病院長を
先頭にして職員が一丸
となつて取り組みます
ので、構成町を始めと
して住民の皆様よろし
くお願い申しあげま
す。この一年がよい年
となりますよう祈念し
新年のごあいさつとい
たします。

年頭のご挨拶

～日野病院の今日まで、そして明日から～



日野病院病院長
檀 田 豊

明けましておめでとうござい
ます。本年も変わリませず、日
野病院組合をよろしく願ひい
たします。

前回のせせらぎ48号でお知
せしましたが、日野病院は昨年
の9月12日と13日に日本医療機能評価機構による2回目の病院機能
評価を受審しました。その結果、12月6日付けで同機構による認定
病院の更新が認められました。平成19年の初回の審査と同様、留保
されることのない一発合格でした。

多くの評価項目のうち6割以上はA（適切に行われている）との
判定をいただきました。特に「褥創の予防・治療」と「必要な患者
に在宅などで継続した診療・ケアを実施」の2項目についてはS
（秀でている）と判定されました。従来より私どもが中山間地の中
核病院には必須と考え力を入れてきたこれらの機能が高く評価され
たことを、心から喜びたいと思います。

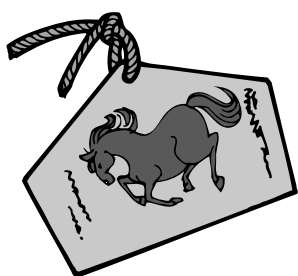
さて、本年は2年に1度の診療報酬改定が行われます。すでに新
聞、テレビなどで報道されているように、診療報酬全体では0.1%の

プラス改定でした。しかし、4月からの消費税率引き上げによる医
療機関の負担増加分に対する補填を差し引くと、実質は1.26%のマイ
ナス改定であり、医療機関にとっては厳しい内容となりました。

診療報酬改定は前回（12年度）から社会保障・税一体改革におい
て示された2025年の医療提供体制（いわゆる2025年モデル）の実現を強
く意識したものになっています。そのコンセプトは病院から在宅へ
の移行と急性期入院機能の再編です。

今年度の診療報酬改定では7対1病院を高度急性期と一般急性期
とに機能分化させるため、その入院基本料の算出要件が大幅に見直
されます。現在検討されているのは、特定除外制度と短期手術・検
査の平均在院日数算出対象からの除外、看護必要度基準における血
圧測定、時間尿測定などの削除などです。これらのうち特定除外制
度については、10対1病院にも適用されるようですので、日野病院
も少なからず影響を受けると予想されます。

昨年は、日野病院が中山間地の中核病院としてふさわしい機能を
有していることが再評価された年でした。今年は、そのような日野
病院を2025年モデルのなかでどのように位置付けるかを大いに議論し
なければならぬ年だと考えています。



新春所感

—白内障手術の新展開を夢みて—

日野病院名誉病院長 玉 井 嗣 彦



新年あけましておめでとうございます。日野病院に赴任後13度目の新春を迎えて、眼科専門医として眼科診療の一端を担わせていただいたことに、一入の感激を覚えます。

昨年末で手術開始後12年3カ月の月日が経過しましたが、その間手術室では、1208名（男性451名、女性757名、比率にして男性37.3%、女性62.7%）の主として加齢に伴う白内障手術、延べ1936件を施行しました。年齢は43歳から102歳の平均78.9歳でした。80歳以上の方は458名（全体の37.9%）で、性別では男性が150名の32.8%、女性が308名の67.2%を占めており、今日の女性優位の高齢化社会を反映する結果でした。ちなみに、当院での最高齢白内障患者は、男性で98歳、女性で102歳でした。

白内障手術患者の増加に従い、後発白内障患者も年々増加して現在226件で、手術開始後12年3カ月間の白内障関連手術件数は合計2162件を数えますが、後発白内障切開術は全て外来の特殊なカールツァイス社製のレーザー装置を用いて行い、視力の改善を得ました。

今まで、眼科では睡眠障害に加えて、うつ状態や認知機能に問題を起こしやすい患者さんを対象に積極的に白内障手術を行ってきませんでした。最近これらの症状が、白内障術後に有意かつ大幅に改善することが内外で報告され、注目されています。

うつ病の原因の一つに、460nm前後の青色可視光である「ブルーライト」不足によるサーカディアン（概日）リズムの乱れが考えられています。すなわち、若年者と違って老人になると、水晶体の加齢によるブルーライトの吸収、網膜への不十分な到達が、睡眠障害を招き、若年視力良好者の4.6%に対して、13.5%と高いうつ状態に落ち入るものと思われます。

従って、白内障手術に際して、ブルーライトを積極的に目の中に取り込む眼内レンズの開発も進んでいますが、従来の紫外線カットのみのレンズ下でも、睡眠障害が改善され、うつ状態の寛解とともに、歩行速度まで速くなった症例を、日野病院でもしばしば経験しています。その際、認知度の改善も散見されました。

ブルーライト問題がクローズアップされている今日、生体リズムの改善の上で、白内障手術に新しい展開を期待しつつ、上記の患者さん達には術後の管理の面などで、日帰り手術が困難な場合もありますので、本院では片眼で1週間、両眼で2週間前後の入院手術をお願いし、頑張っているところです。

関係各位の一層のご理解とご支援がなければ出来ない取り組みです。日野病院のより発展のためにも、今後ともよろしくお願い申し上げます。

まいる互版



地域みなさま、
あけましておめでとう
ございます。
平成26年も
よろしくお願い致します。

☺ 日野病院組合 * 在宅介護支援事業所

< 訪問エリア >

日野町・江府町・伯耆町・日南町
新見市・新庄村

< 連絡先 >

☆訪問看護ステーション

0859-72-2706

☆居宅介護支援事業所

0859-72-2723

お気軽にご相談下さい！

新規採用職員のご紹介



ケアマネジャー
ふじはら あつこ
藤原 敦子

この度、新規採用となりました。地域ならではの「あげ」「そげ」「こげだがあ」と皆さんからの知恵を教してもらいながらケアマネジャーとして話がしやすい存在になればと思います。どうぞよろしくお願い致します。



ケアマネジャー
おがた たかこ
緒形 崇子

ケアマネジャーとしてお仕事をさせていただくのは2年ぶりですが、最新情報の習熟に励むと共に、様々なご事情やお気持ちに寄り添っていきたいです。周囲の方々への感謝を忘れず頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

～ 難病患者さんやそのご家族の医療相談会に参加して～

「自分らしい生活」を送れるお手伝いを

平成25年11月28日に日野振興センターで行われた難病相談会に在宅介護支援事業所からケアマネジャー、看護師、リハビリスタッフに参加させて頂きました。

今回は、鳥取大学医学部附属病院神経内科の中下聡子先生より『パーキンソン病関連疾患の治療と日常生活について』のお話を伺いました。パーキンソン病の治療で大切な事は、自分に処方された薬を確実に飲む事と、適切で定期的な運動療法が重要だと説明されました。

交流会では、パーキンソン病の患者さんから「治療のおかげで今までどおりの生活ができています。」と症状を予防しながら、仕事や趣味（山登り、ボウリング、ゴルフ）など、日常生活を制限することなく過ごされている様子をうかがうことができました。



中下 聡子 先生

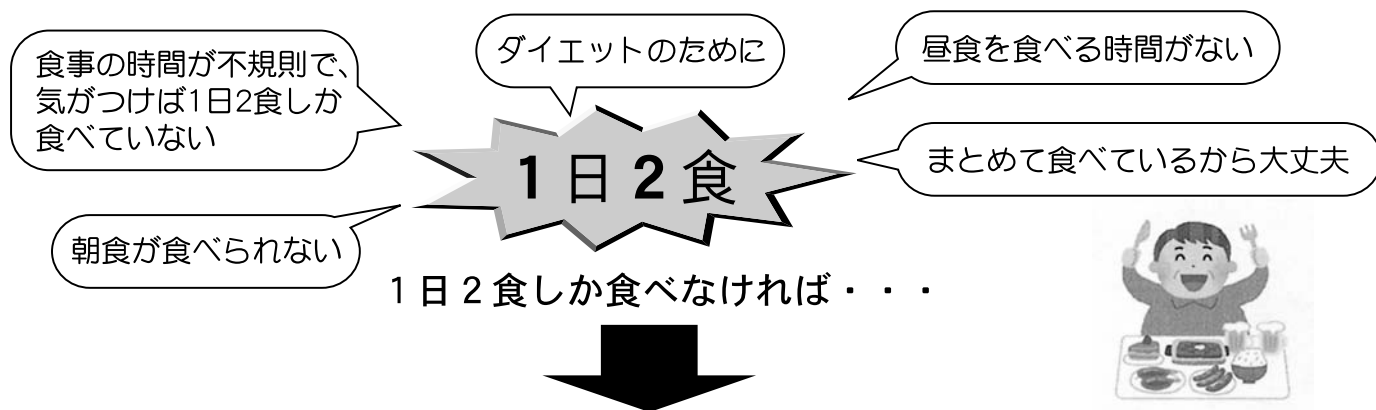
今後も在宅介護支援事業所では、難病の方に対して看護師による心身のケア（健康に対する相談、身の回りのお世話）、リハビリによる運動療法や住環境の確認・アドバイス、生活動作の支援を行います。また、ケアマネジャーによる介護や福祉の支援と地域との連携を図りながら、みなさまが住み慣れたお家で『自分らしい生活』を送れるようお手伝いをさせていただきます。どうぞ、お気軽にご相談下さい。

1日2食にすると、痩せる？

今回は**規則的に1日3食摂取することの重要性**について話したいと思います。

みなさんは1日2食にすると痩せられると思いますか？一残念ながら答えは「いいえ」です。

1日3食から2食にすることで、全体的に食事の量が減り、体重減少になるのではないかと考えたりしますが、私たちの生体リズムには一定の周期があります。**食事の回数と摂取エネルギーの関係は、肥満において重要な要因となっているのです。**



①健康的に過ごすために必要な栄養が足りない!

食事回数を減らすことにより必然的に食事の量が減り、それに伴ってたんぱく質やビタミン・ミネラルといった栄養素が不足してしまい、必要な栄養素が十分にとれなくなります。

②体が脂肪をためようとし、肥満になりやすくなります!

食事の回数を減らすことにより1日の中で空腹時間が長くなるため、糖新生(体内でアミノ酸からブドウ糖が作られること)が促進され脂肪が蓄積され、体重が増えてしまいます。

生活リズムがくずれていませんか？ご自分の生活を振り返ってみましょう。

鳥取県の食材を使ったレシピを紹介します。さつまいもを工夫して利用した料理のひとつです。

<芋ぼた> 栄養価(1個分) 160kcal程度

●材料 分量 (15~18個分)

さつまいも	200g	砂糖	50g	きな粉	適量
もち米	600g	塩	ひとつまみ	青のり	適量
水	200ml			あんこ	適量

●作り方

- ①さつまいもは5mmの厚さで輪切りにし、水にさらす。
- ②もち米は洗って、水に30分以上浸けてから、ざるにあげ水気をきる。
- ③炊飯器にさつまいもを広げて入れ、その上にもち米を広げてのせ、水を加えて炊く。
- ④炊き上がったたら10分蒸らし、砂糖・塩を熱いうちに入れ、すりこぎでつぶし、15~18等分に丸める。



介護老人保健施設あやめ

今年もインフルエンザやノロウイルスの流行の時期になりました。

利用者様には先月予防接種を実施し、また普段よりうがいや手洗いをお願いしています。職員も同様に予防策を徹底しているところです。

ご家族の皆様におかれましても、面会時の手指消毒・マスクの着用、体調不良の方の面会制限などご協力をお願いいたします。

《敬老会を開催》

9月16日の敬老の日に入所・通所全体で敬老会を開催しました。

今年のお祝い対象の方は入所で24名でした。内訳は長寿（百歳以上の方）5名、百寿の方3名、卒寿の方3名、米寿の方8名、傘寿の方4名、喜寿の方1名で最高齢は105歳でした。

通所では「白寿」「卒寿」「米寿」「喜寿」を迎えられた10名の方をお祝いしました。

また、今年のアトラクションは、下蚊屋・明神社の皆様による荒神神楽でした。以前より神楽が見たいという希望も多くお願いしました。

『いいものが見れた』、『何年ぶりだろうか』と大感激！最後に大黒様の登場。参加者への福をまいていただきました。ありがとうございました。

皆様ますますお元気でお過ごしいただきますようお祝いしました。

～あやめ川柳～

おしゃれな大山

春わみどりの着物きて

秋わ紅葉のすそもよう

冬わ白い帽子かぶり

多くのスキー者よんでくる

M.K 様

あやめ好いとこ一度はお出で

老いた心も自然に流れる

入所者様



★ご相談 江府町大字武庫475番地 介護老人保健施設あやめ
TEL 0859-75-3230・FAX 0859-75-3280

日野病院組合職員の給与等の状況（平成25年4月1日現在）

●職員の平均給料月額、平均年齢及び職員数（25年度当初予算より）

区 分	一般行政職	現 業 職	医 療 職	医療技術職	看 護 職	福 祉 職
平均給料月額	289,537円	259,138円	461,232円	259,505円	296,576円	203,660円
平均給与月額	328,296円	274,004円	1,051,123円	294,348円	349,373円	247,681円
平 均 年 齢	44.3歳	51.5歳	45歳	39.1歳	44.9歳	32.8歳
職 員 数	15人	4人	7人	29人	60人	15人

平均給料月額：職員の基本給の平均

平均給与月額：給料月額と毎月支払われる諸手当の額を合計したものの平均（期末勤勉手当は除く）

平成26年度 日野病院組合看護師育成奨学金奨学生募集！！

日野病院組合では、平成26年度の看護師育成奨学金の貸付けを希望される看護学生又は看護学生を目指している方を募集します。

将来、日野病院組合に就職した場合には奨学金の返還を免除する規定もあります。

関心のある方は、お気軽にお問い合わせください。

○募集期間：平成26年2月3日（月）から2月28日（金）まで

○応募・問合せ先：〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332

日野病院組合 事務局総務課 頭本（かしらもと）

TEL 0859-72-0351 FAX 0859-72-0089

資 格	看護を履修する学校等に在籍（応募時点では、入学見込で可）し、卒業後に看護師として日野病院組合に勤務する意思を有すること。ただし、高等学校及びその高等学校の専攻科において看護師を養成する課程を設ける学校等に在学する者にあつては、その学校等の専攻科に在籍する者に限る。	
募 集 人 数	若干名	
貸 与 額	月額50,000円以内（無利子）	
貸 与 期 間	貸付けを受けた月から卒業する月まで	
奨 学 金 の 返 還	期 間	貸付けを受けた期間の倍の期間
	金 額	月賦の均等払方法により、貸付けを受けた金額（月額）の半分の金額ずつを返還
返 還 の 免 除		貸付けを受けた金額の返還義務期間に日野病院組合に勤務した場合には、その勤務した期間について返還を免除します。 ※この奨学金の貸与が日野病院組合への採用を約束するものではありません。

あなたにあった場所がキッとある

看護師募集中

詳しくは日野病院まで

第10回鳥取県西部自治体病院看護研究発表会 一般公開講座の開催

11月16日、日野町文化センターを会場に、第10回鳥取県西部自治体病院看護研究発表会を開催しました。また、当日は10周年記念の一般公開講座（日野町共催）も併せて開催しました。

一般公開講座では、笑い療法士で島根大学医学部附属病院腎臓内科の伊藤孝史教授をお招きし、「笑いの雨が降りますように！」を演題に、相手に寄り添い、ほほえみを引き出すための7つのポイントと、笑いの処方箋など多くのことを教えていただきました。こちらは地域の方々にも参加していただき盛会でした。

午後からは、3病院6演題の看護研究発表において、活発な意見交換を行い、鳥取大学医学部保健学科成人・老人看護学講座の中條雅美教授に講評していただきました。充実した1日で、看護の質向上に繋がる大きな学びの会となりました。



日野病院組合ニュース

“日本医療機能評価” 認定！

当院は、安心して受診していただくために、医療の質の向上を目指して業務の見直しや機能水準を上げる取り組みを行い、平成20年に（財）日本医療機能評価機構の認定（Ver.5.0）を受けました。

この度、新しい基準（機能種別版評価項目Ver.1.0一般病院1）を再度受審し、平成25年12月6日付けで最新基準の認定を受けました。

その中で「在宅などで継続した診療・ケアを実施している」及び「褥瘡の予防・治療を適切に実施している」という2つの項目において≪S評価≫（秀でている）という非常に高い評価を受けました。これは、日頃から日野病院が実践している“出かける医療近づいていく医療”が、高く評価された結果です。

今後もより一層、患者様に適切で質の高い医療を、安心して受けていただけるよう、取り組んでまいります。



【領域別評価結果】

領 域	項目数	S	A	B	C	NA
1 患者中心の医療の推進	20	—	13	7	—	—
2 良質な医療の実践 1（主に看護系）	35	2	27	6	—	—
3 良質な医療の実践 2（主に医療技術系）	14	—	6	6	—	2
4 理念達成に向けた組織運営	19	—	10	9	—	—
（％）	100.0	2.3	63.6	31.8	—	2.3

※評価の定義 S：秀でている A：適切に行われている B：一定の水準に達している
C：一定の水準に達していない NA：該当なし

— 医療機能評価とは —

医療機能評価とは、（財）日本医療機能評価機構において病院が組織的に医療を提供するための基本的な機能で適切に実施されているかどうかを、所定の評価項目に沿って病院の活動を第三者の立場で評価するものです。その審査の結果、一定の水準を満たしていると認められた病院が「認定病院」となります。

地域に根ざし、安心・安全、信頼と納得の得られる医療サービスを提供すべく、常日頃から努力している病院が認定病院ということになります。

土曜休診について

— 平成26年4月から、土曜日は全て休診となります —

平成26年4月から、現在診察を行っている第2・第4土曜日（内科・心臓血管外科・小児科）の診察は休診となります。（心臓血管外科は曜日を変更して診察する予定です）

なお、急患については今まで通り対応いたします。

クリスマスイベント

12月20日、日野病院クリスマス会を開催しました。クリスマス会は、日野病院はんどべる部による演奏で幕開けとなりました。続いて、日野町民ミュージカル出演者による歌と踊りが行われました。子供たちの天使のような歌声と躍動感溢れる踊りに、会場は大いに盛り上がりました。最後に、萬屋Quartet ♪によるジャズコンサートが行われました。生のジャズ演奏に、会場全体がクリスマスムードに包まれ、素敵なクリスマスイベントとなりました。

患者様からも笑顔が溢れており、喜んで頂けたようでした。今後も、皆様に喜んで頂けるよう、ますます楽しいイベントを企画していきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。



〈編集後記〉

あけましておめでとうございます。
私事ですが、新年早々誕生日を迎え、悲しいのか？嬉しいのか？無駄に年を重ねてしまいました。
このままでもいいのかと奮起。ストレスを感じることも多い中、もっと人生をエンジョイして、素晴らしい2014年にするぞ！
（長）

連絡先

日野病院
鳥取県日野郡日野町野田332番地
TEL 0859-72-0351
FAX 0859-72-0089

黒坂診療所
鳥取県日野郡日野町黒坂1243-1番地
TEL 0859-74-0351
FAX 0859-74-0351

二部診療所
西伯郡伯耆町二部1554番地4
TEL 0859-62-0351
FAX 0859-62-0351



切り取り線

日野病院 外来診療案内

最新版 H.26.1～

午前 午後 休診

		受付	月	火	水	木	金	土	
								第2週	第4週
内科	一診	午前	櫃田 豊	櫃田 豊	細田 譲 (第1・3週)	櫃田 豊	松波馨士		
		午後			藤岡洋平※4 (第2・4週)				
	二診	午前			今本 龍	中下聡子※4	中本成紀		
		午後			今本 龍		中本成紀		
	三診	午前	松波馨士	北谷 新	熊野健太郎	熊野健太郎	北谷 新	熊野健太郎	松波馨士
		午後							
	総合診療内科	午前				大学医師			
		午後				大学医師			
外科		午前	大学医師	佐藤尚喜	大谷眞二	大学医師	佐藤尚喜		
整形外科		午前	柳樂慶太	柳樂慶太	岸本勇二	柳樂慶太	柳樂慶太		
眼科		午前	玉井嗣彦	玉井嗣彦※1	上田麻奈美	玉井嗣彦	春木智子		
小児科 アレルギー科		午前	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗
		午後※3	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗 (第2・4・5週)	頭本一朗	頭本一朗		
専門診療科 (大学医師)		午前	禁煙外来 櫃田 豊※5	女性診療科 秦 幸吉	消化器内科 今本 龍	耳鼻科 竹内裕美	呼吸器内科 中本成紀	心臓外科 西村元延※2	心臓外科 西村元延※2
			泌尿器科 本田正史	皮膚科 大学医師	血液内科 細田 譲 (第1・3週)	脳神経内科 中下聡子※4		血管外科 佐伯宗弘※2	ペースメーカー 白谷 卓※2 (偶数月のみ)
					糖尿病外来 藤岡洋平※4 (第2・4週)	総合診療内科 大学医師			
		午後			消化器内科 今本 龍	総合診療内科 大学医師	呼吸器内科 中本成紀		
					糖尿病外来 藤岡洋平※4 (第2・4週)		心療内科 山内崇平		
					女性診療科 大学医師 (第1週)				

(注) 医師の出張等により、担当医師等が変更になる場合があります。詳しくはホームページ・正面玄関の掲示板等でご確認ください。

自動再来受付機による受付時間 ●午前＝7時30分～11時30分 (一部8時30分～10時30分 ※6) ●午後＝正午～16時

診療開始時間 ●午前＝9時～ (一部9時30分～ ※2) ●午後＝14時～

電話による内科または整形外科の受付時間 ●午前＝10時～10時30分 (当日の午前受付のみ) *受付電話番号 0859-72-2733 (専用)

休診日 ●日曜日・祝日 ●毎月第1・3・5土曜日及び第2・4土曜日の午後 ●8月14日・15日 ●12月29日～1月3日

- ※1 火曜日の眼科受付時間は10時30分までです。
※2 診察開始時間は9時30分からです。
※3 午後から医師が健診のため不在になることがあります。詳しくはお電話でお問い合わせください。
※4 完全予約制です。受診希望の方は、まず内科を受診して医師にご相談ください。
※5 初診は予約が必要です。2回目からは内科受診となります。
※6 初診の方・常勤医師 (内科・外科・整形外科のみ) の診察予約日以外に受診の方

この広報誌は、患者様のご希望により、構成町 (日野町・江府町・伯耆町) の全戸に配布しています。

切り取り線

外来診療案内ポケット版

午前 (受付時間は、7時30分から11時30分まで)		(H.26.1月～)						
診療科目	月	火	水	木	金	第2土	第4土	備考
内科	一診	櫃田	櫃田	(血液・糖尿)	櫃田	松波		
	二診			今本	(脳内)	(呼吸器)		
	三診	松波	北谷	熊野	熊野	北谷	熊野	松波
	総合診療内科				(大学)			
外科	(大学)	佐藤	大谷眞	(大学)	佐藤			
整形外科	柳樂	柳樂	岸本	柳樂	柳樂			
眼科	玉井	玉井	上田	玉井	春木			
小児科	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本	
その他 (大学)	禁煙外来	女性診療科	糖尿病外来	耳鼻科	呼吸器	心臓外科		
	泌尿器科	皮膚科	消化器内科	脳神経内科		血管外科	ペースメーカー	偶数月
午後 (受付時間は、12時から16時まで)		月	火	水	木	金	備考	
内科				(大学)	総合診療内科	(大学)		
小児科	頭本	頭本		頭本	頭本	頭本		
その他(大学)			糖尿病外来			心療内科		
			消化器内科			呼吸器		
			女性診療科					

※医師の出張等により、診察日・担当医師が変更になる場合があります。

(切り取って財布等に入れご利用ください)

編集後記

平成25年度もあっという間に過ぎたような気がします。今年度も色々なことがありました。

平成12年日野病院が現在の場所に移転新築したのを機にMRI（0.5テスラ）を購入しましたが、年月の経過により高機能のMRI（1.5テスラ）に買い替える必要が生じたためMRIの更新を行いました。

このMRIは、採算を取ることができない高額医療機器ではありますが、この地域には必要不可欠な医療機器です。

更新を迷っている日野病院の背中を押していただき、購入にあたり構成町村から負担金をいただくことになりました。この場を借りて構成町の皆さんにお礼を申し上げたいと思います。診察だけでなく検診（脳ドッグ）などにも利用していきたいと思います。有難うございました。

また、平成20年4月21日に認定となった病院機能評価ですが、平成25年9月12日と13日の2日間にわたり審査を受け、最新のバージョンで再度認定病院となりました。（色々な意味、再認定の場に立ち会うことになろうとは思ってもみませんでした）

最後に、平成25年12月から夜間管理業務を民間に委託し、午後8時以降病院の施錠を実施しました。これで夜間病院に出入りする人を把握することができ、病院の安全が確保されることとなりました。

さて、経営状況は、平成19年度から7年連続の黒字決算となり、決算を終えて平成18年度末に約6億円あった累積欠損金が解消され、7千万円を超える累積剰余金を計上することができました。この間、職員の退職給与引当てを現金で実施し、その引当残高も目標額であった2億円を大きく上回っています。

しかし、周辺人口は毎年減少を続けており、入院患者数は横ばいとなったものの、外来患者数は減少の一途を辿っています。

2025年問題に対応するため、地域包括ケアシステムの構築が今後進んでいく中、日野病院も病床の変更等対応しながら運営していくことが求められます。

日野病院だけでなく、行政や地域の住民の皆さんと共に、日野病院のこれからを考えていかなければなりません。

日頃から日野病院を支えていただいている皆さんに心から感謝し、来年の年報もよい報告ができるよう職員一同、更にがんばっていききたいと思います。

おわりに、年報の編集にあたり資料の提供等協力いただいた関係者の皆さんにお礼申し上げます。

日野病院事務局長 生田 哲二

——— 発 行 ———

日野病院組合 日野病院広報委員会

〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田 332 番地

Tel : 0859-72-0351 Fax : 0859-72-0089

URL : <http://www.hinohp.com/>